

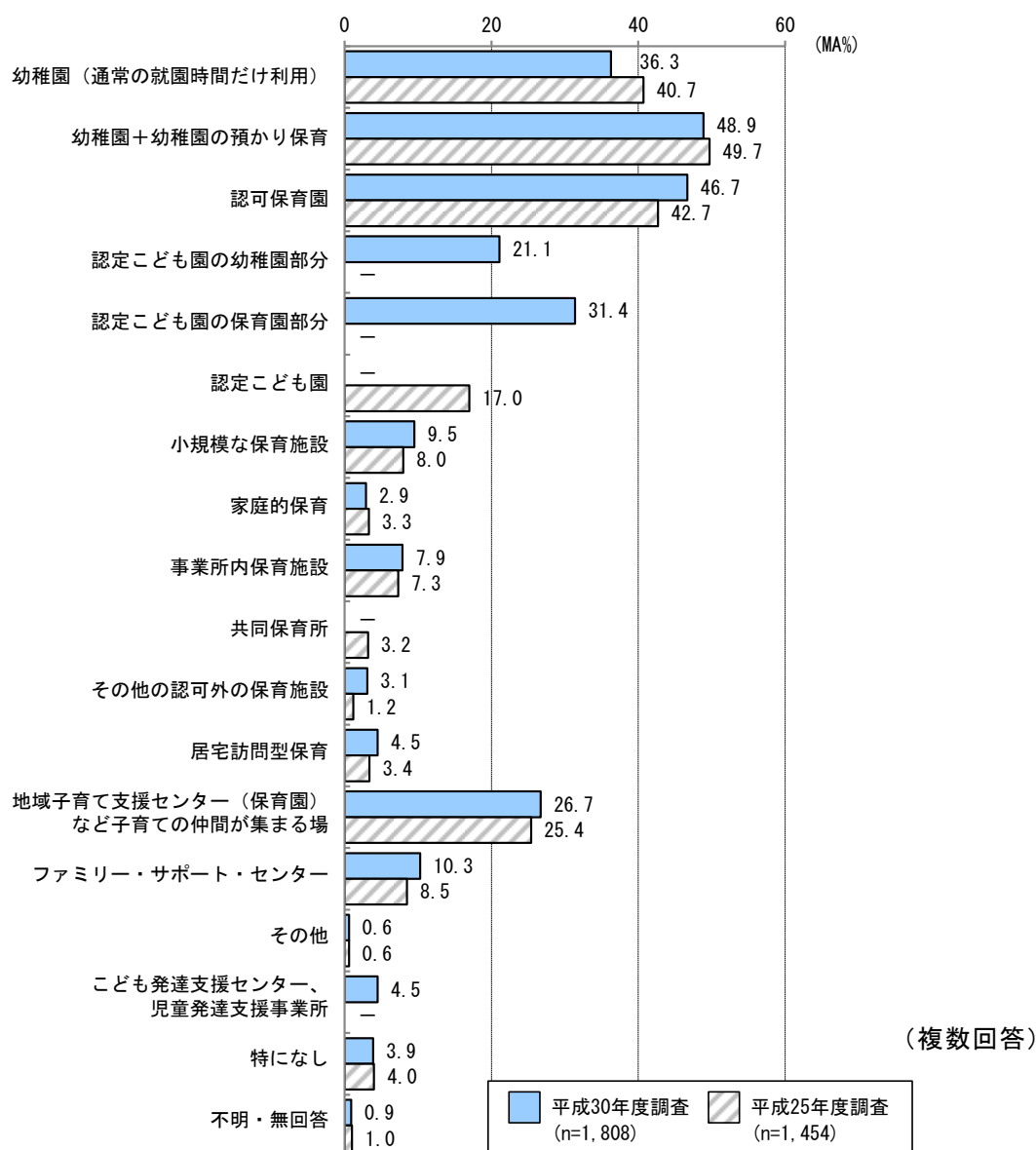
7 定期的に利用したい子どもを預かる施設やサービス

(1) 平日に「定期的に」利用させたい子どもを預かる施設やサービス

[就学前児童…問19]

問 保育園や幼稚園、認定こども園などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）にお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。

【図 7-1 平日に子どもを預かる施設やサービスの利用意向】



※「共同保育所」は平成25年度調査のみの選択肢

※平成25年度調査は認定こども園の幼稚園部分・保育園部分の区別はなかった

※「こども発達支援センター、児童発達支援事業所」は今回新たに追加した選択肢

平日に定期的に利用させたい施設やサービスについて、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」(48.9%)が最も多く、「認可保育園」(46.7%)、「幼稚園(通常の就園時間だけ利用)」(36.3%)が続く。

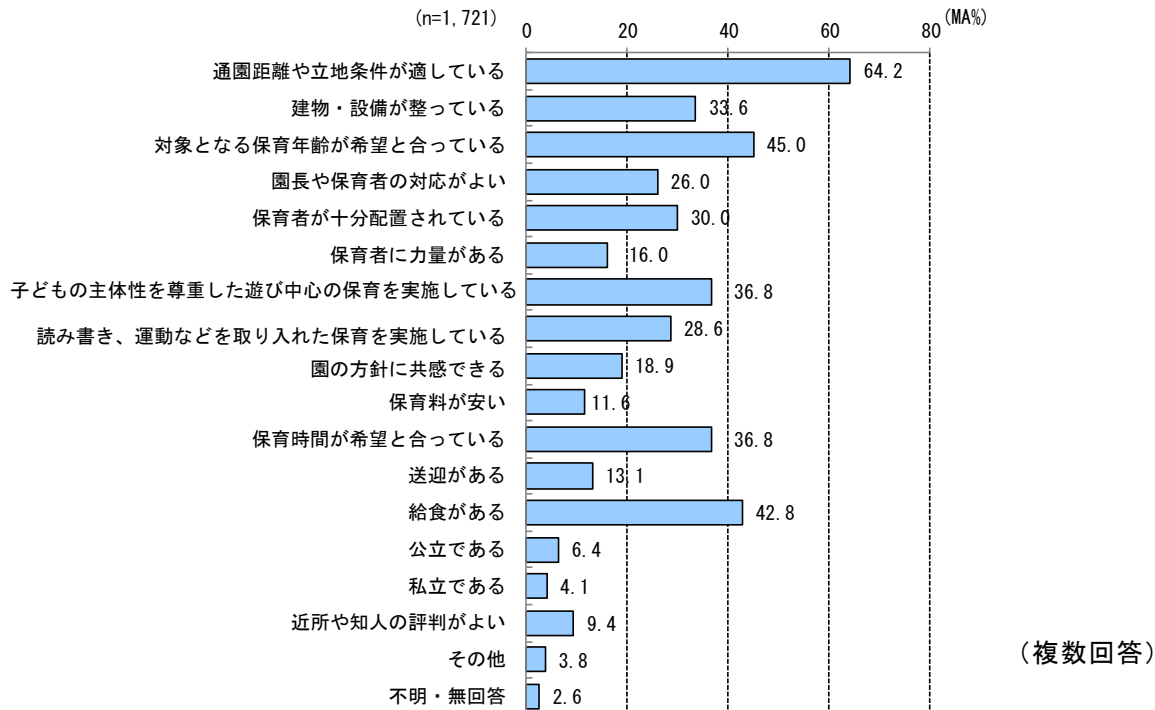
II. 調査結果

(2) 子どもを預かる施設やサービスを利用したい理由

[就学前児童…問19-1]

問 問19で回答した施設やサービスを利用したいと考える理由は何ですか。
(すべてに○)

【図 7-2 子どもを預かる施設やサービスを利用したい理由】

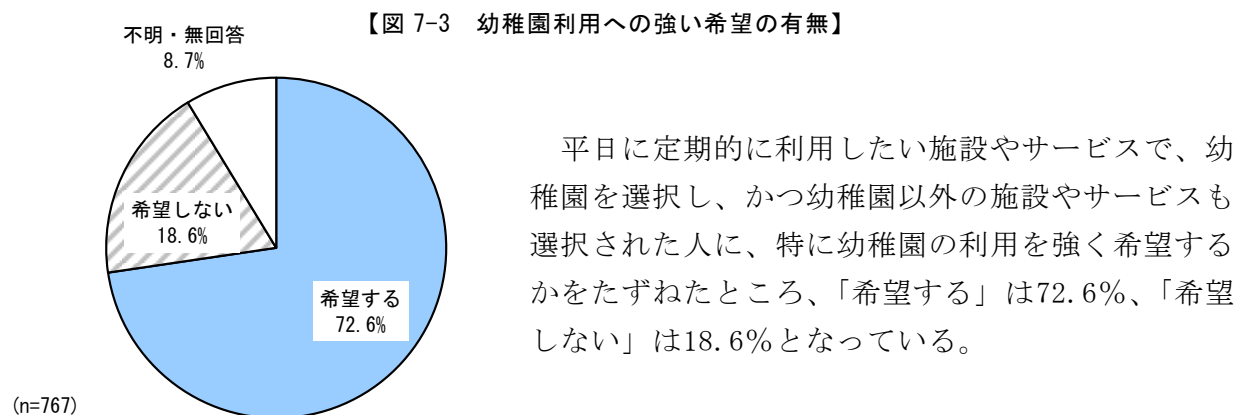


平日に定期的に利用したい施設やサービスを回答された人に、利用したいと考える理由をたずねると、「通園距離や立地条件が適している」(64.2%)が最も多く、「対象となる保育年齢が希望と合っている」(45.0%)、「給食がある」(42.8%)が続く。

(3) 特に幼稚園の利用を強く希望するか

[就学前児童…問19-2]

問 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)



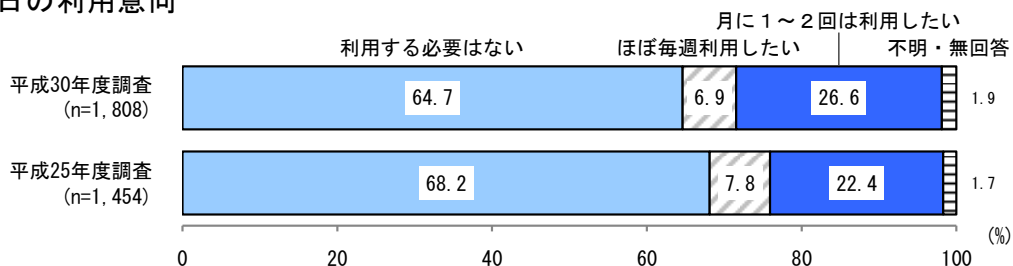
(4) 保育園や幼稚園、認定こども園などの、土曜日、日曜日・祝日の定期的な利用意向

[就学前児童…問20]

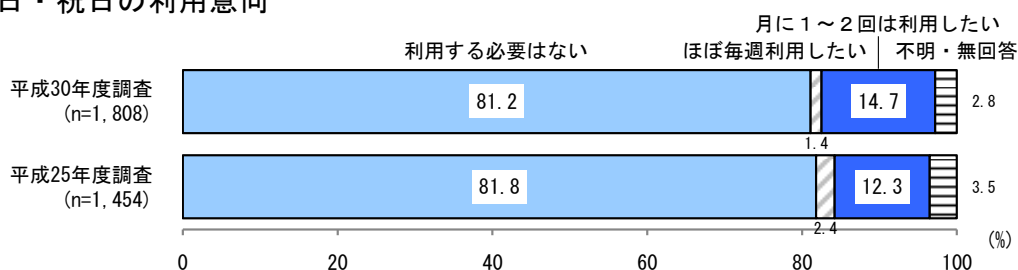
問 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、保育園や幼稚園、認定こども園などの利用希望がありますか。仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。(それぞれ1つに○) 希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。

【図 7-4 保育園や幼稚園、認定こども園などの、土曜日、日曜日・祝日の利用意向】

(1) 土曜日の利用意向



(2) 日曜日・祝日の利用意向

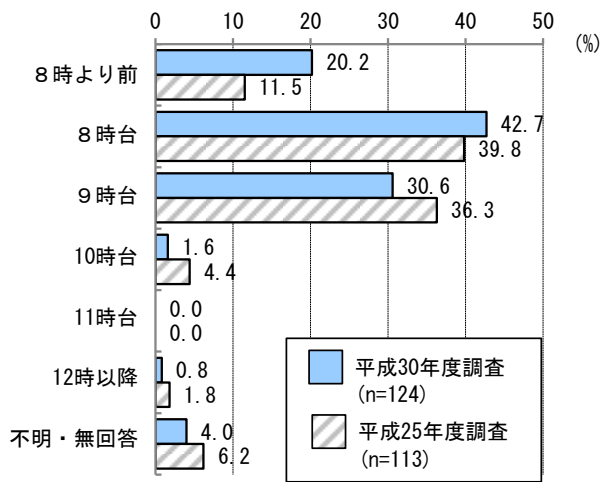


土曜日、日曜日・祝日の、保育所、幼稚園、認定こども園などの定期的な利用希望について、「利用する必要はない」は土曜日が64.7%、日曜日・祝日は81.2%となっている。「月に1～2回は利用したい」は土曜日が26.6%、日曜日・祝日は14.7%となっている。平成25年度調査と比べると、土曜日の「月に1～2回は利用したい」の割合が4.2ポイント高くなっている。

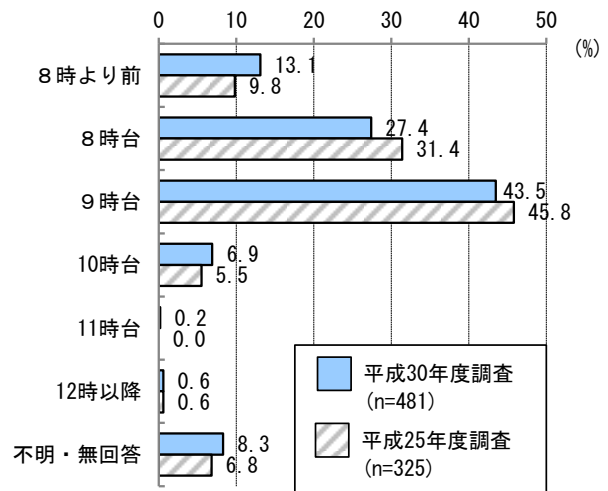
II. 調査結果

【図 7-4-1 保育園や幼稚園、認定こども園などの、土曜日の利用希望時間】

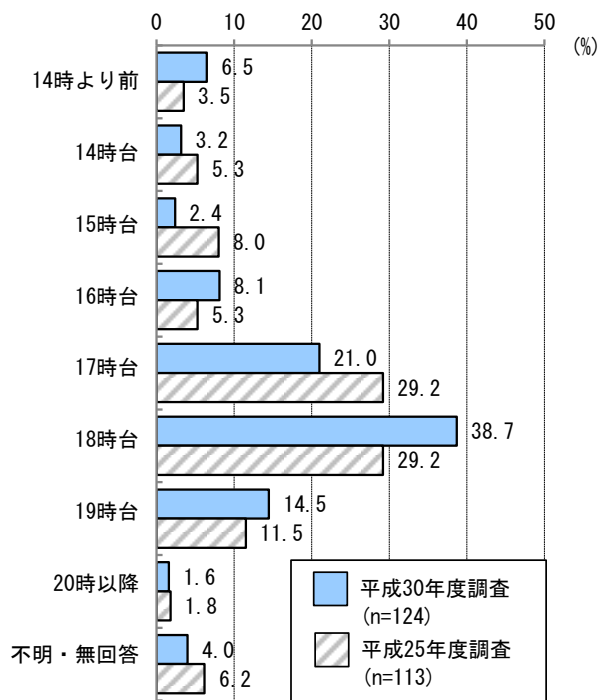
■ 土曜日にほぼ毎週利用したい時間帯 (開始時間)



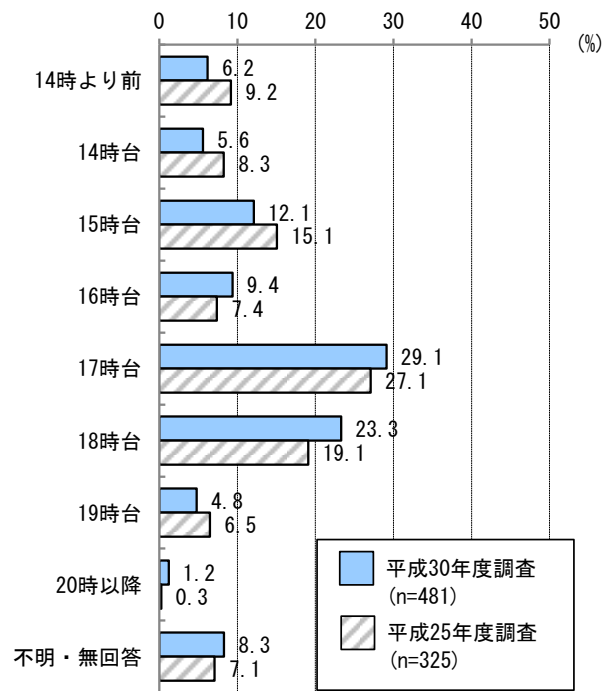
■ 土曜日に月1~2回利用したい時間帯 (開始時間)



■ 土曜日にほぼ毎週利用したい時間帯 (終了時間)

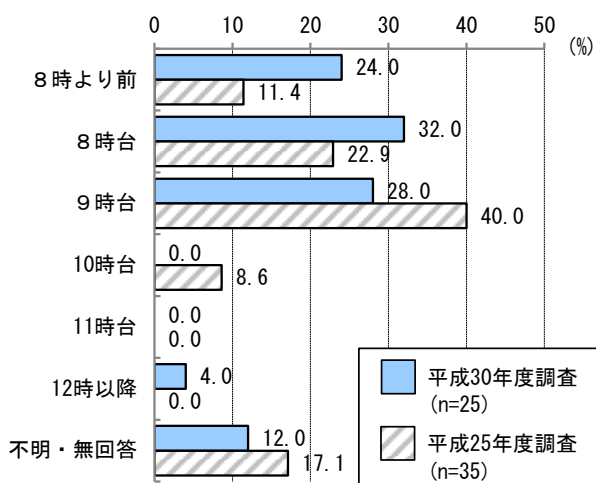


■ 土曜日に月1~2回利用したい時間帯 (終了時間)

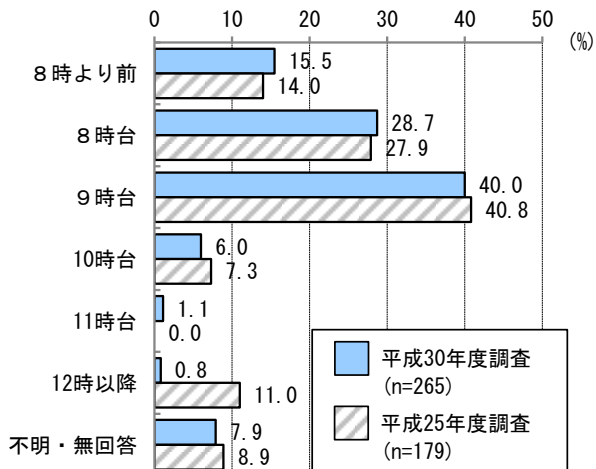


【図 7-4-2 保育園や幼稚園、認定こども園などの、日曜日・祝日の利用希望時間帯】

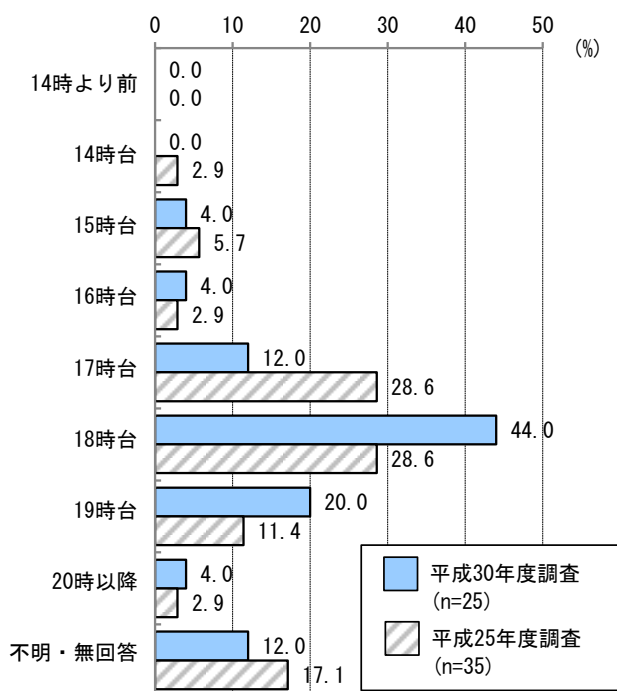
■ 日曜日・祝日にほぼ毎週利用したい時間帯
(開始時間)



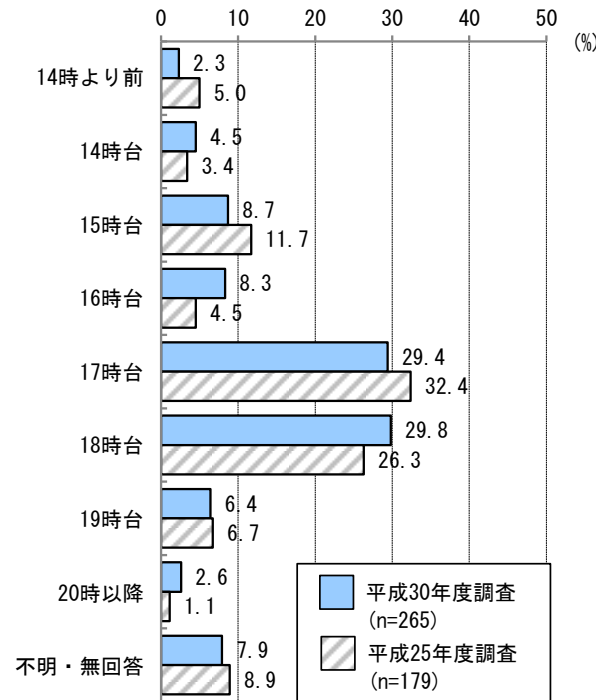
■ 日曜日・祝日に月1~2回利用したい時間帯
(開始時間)



■ 日曜日・祝日にほぼ毎週利用したい時間帯
(終了時間)



■ 日曜日・祝日に月1~2回利用したい時間帯
(終了時間)



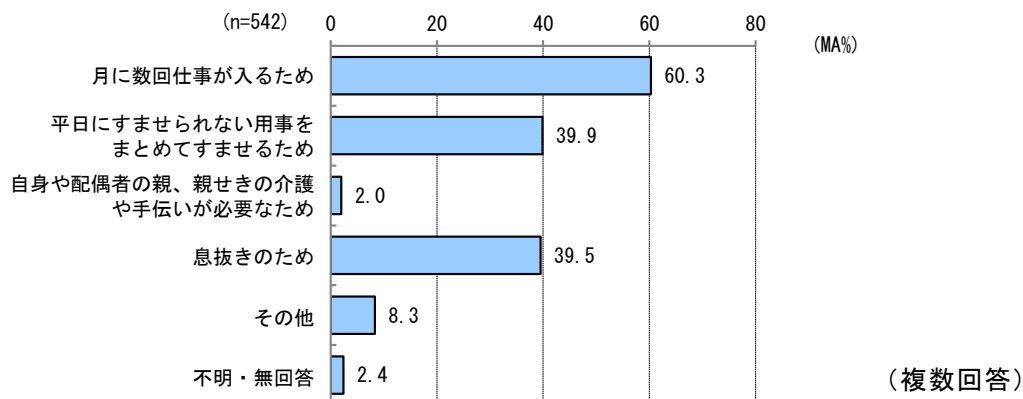
II. 調査結果

(5) たまに利用したい理由（月に1～2回は利用したいと回答した人）

[就学前児童…問20-1]

問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（すべてに○）

【図 7-5 毎週ではなくたまに利用したい理由】



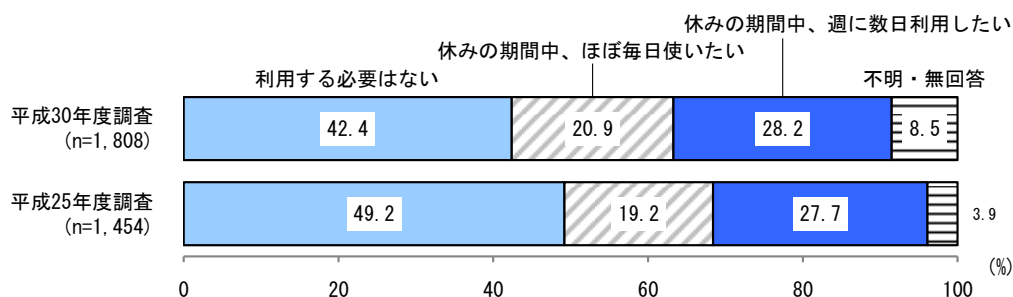
土曜日、日曜日・祝日に保育所、幼稚園、認定こども園などを月に1～2回は利用したいと回答した人に、毎週ではなくたまに利用したい理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」(60.3%)が最も多く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」(39.9%)、「息抜きのため」(39.5%)が続く。

(6) 長期休暇中の幼稚園の利用意向

[就学前児童…問21]

問 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。（1つに○）希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。

【図 7-6 長期休暇中の幼稚園の利用希望の有無】



長期休暇中の幼稚園の利用希望について、「利用する必要はない」(42.4%)が最も多い。「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合わせた『利用希望がある人』は49.1%となっている。

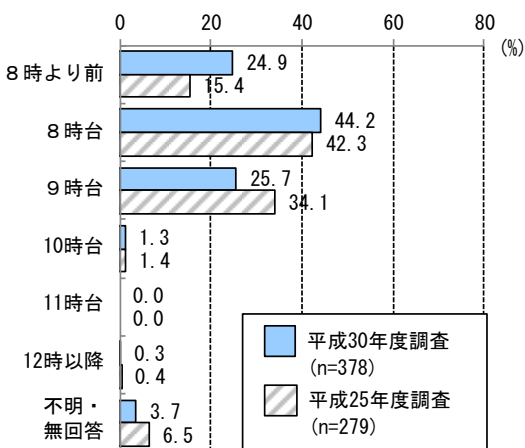
平成25年度調査と比べると、「利用する必要はない」の割合が6.8ポイント低くなっている。

【図 7-6-1 長期休暇中の幼稚園の利用希望時間】

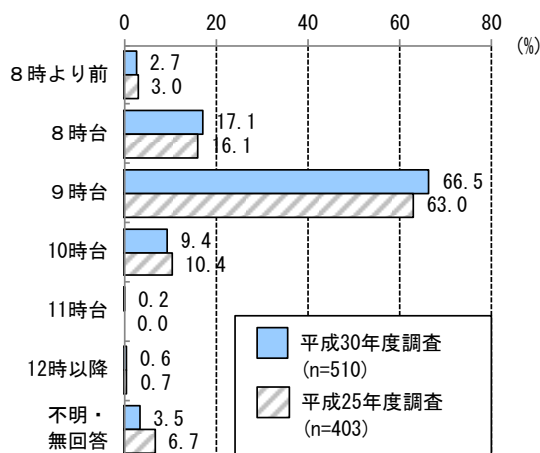
(1) 長期休暇中、ほぼ毎日使いたい

(2) 長期休暇中、週に数日利用したい

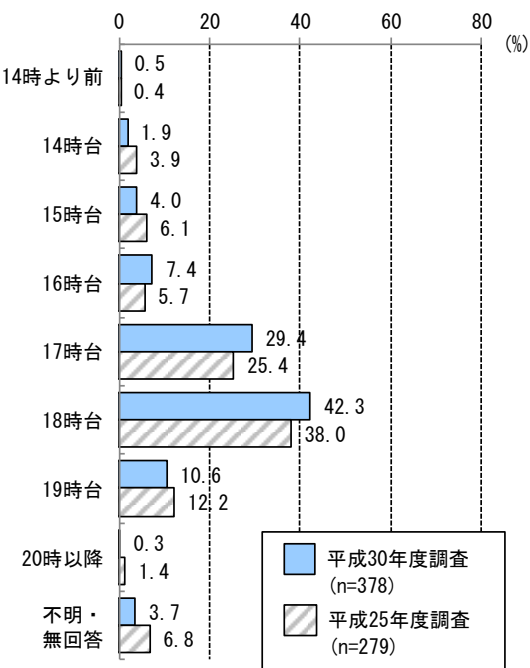
■ ほぼ毎日利用したい時間帯（開始時間）



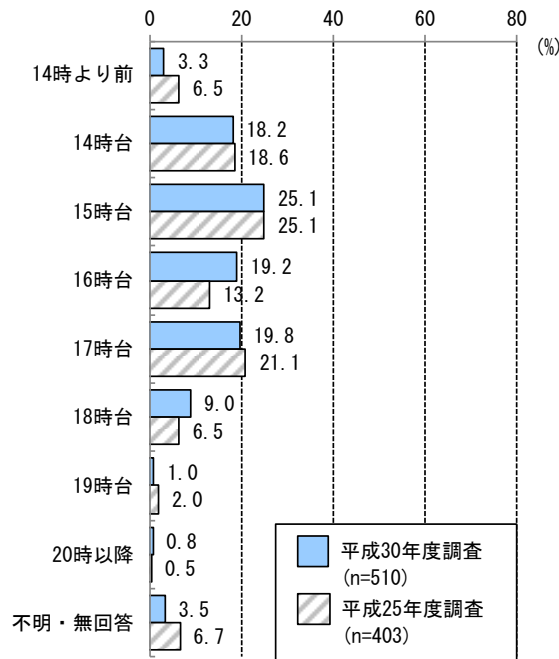
■ 週に数日利用したい時間帯（開始時間）



■ ほぼ毎日利用したい時間帯（終了時間）



■ 週に数日利用したい時間帯（終了時間）



II. 調査結果

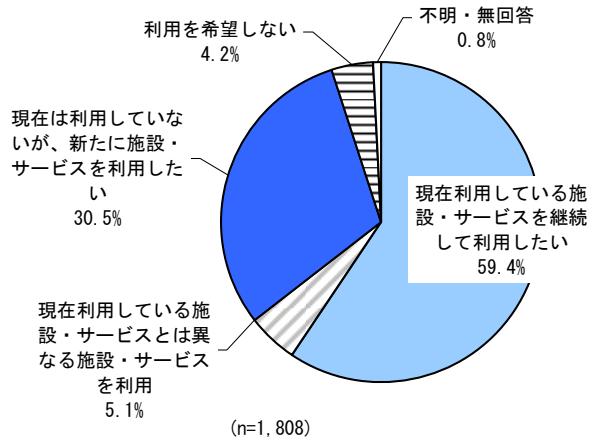
8 幼児教育・保育の無償化について

(1) 幼児教育・保育の無償化の実施による保育・教育施設やサービスの利用意向

[就学前児童…問22]

問 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、子どもを預かる施設やサービスを利用したいですか。(1つに○)

【図 8-1 幼児教育・保育が無償化された場合の利用意向】



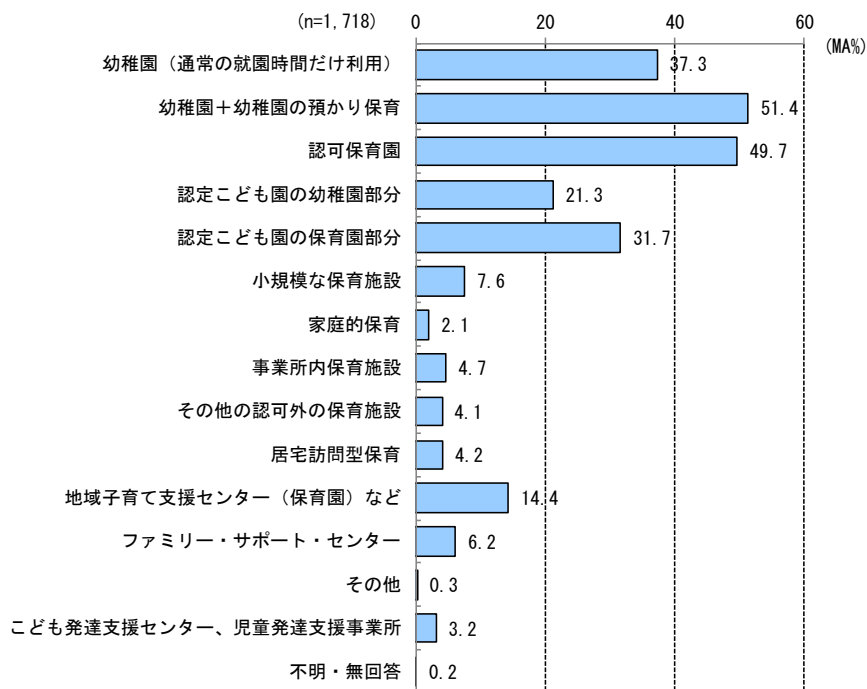
幼児教育・保育の無償化の実施による保育・教育施設やサービスの利用意向は、「現在利用している施設・サービスを継続して利用したい」(59.4%)が最も多く、過半数を占めている。次いで「現在は利用していないが、新たに施設・サービスを利用したい」(30.5%)が続く。

(2) 利用したい施設・サービス

[就学前児童…問22-1]

問 どの施設やサービスを利用したいですか。(すべてに○) (申込みの希望が叶う前提でお答えください。)

【図 8-2 利用したい施設・サービス】



利用したいサービスは、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」(51.4%)が最も多く、次いで「認可保育園」(49.7%)が続く。

(3) 希望する施設・サービスが、現在利用しているものと異なる理由

[就学前児童…問22-2]

問 幼児教育・保育の無償化前と無償化が実施された場合の利用を希望する施設・サービスが異なる方におうかがいします。異なる理由は何ですか。具体的にお書きください。

無償化前と無償化後で、利用を希望する施設・サービスが異なる理由について、主な意見の件数と内容は以下の通り。

- ◆今より長い時間働きたい、あるいはあらたに働きに出たいため。(22件)
 - ・保育料がネックで働くことをためらっていたが、無償化になれば、保育料を気にすることなく働ける。
 - ・時短勤務をしているが、延長保育が利用できるなら、もう少し長く働くことができる。
 - ・保育時間の長いところへ預けて働きたい。
 - ・無償化になった分を預かり保育料にまわせば、子どもを預けて働ける。

- ◆より充実した保育・教育を受けさせたいため。(15件)
 - ・幼稚園を利用したい。
 - ・様々な施設、サービスを利用して、子どもの成長、発達に良い影響を与えたい。
 - ・教育の質が高いところを選びたい。

- ◆保育料が高い、預かり保育料がかかるといった問題が解消されるため。(11件)
 - ・今は手が届かない高額な保育・教育も視野に入る。
 - ・無償化されるなら、私立などに通わせても負担が減る。

- ◆金銭的な理由でサービスの利用を控えていたが、無償化で余裕ができるなら利用したいと思うため。(10件)
 - ・余裕ができた分で、サービスの利用回数を増やしたい。
 - ・無償ならいろいろ試したい。あらたなサービスを利用できそうだと感じる。

- ◆経済的に選択肢が広がるため。(7件)
 - ・今通っているところは保育料の安さで選んだため、無償化されるなら他も検討したい。
 - ・もし認可保育園に入れなかった場合に、費用負担が減るなら幼稚園の利用も検討できる。

- ◆より長く預かってほしいため。(2件)

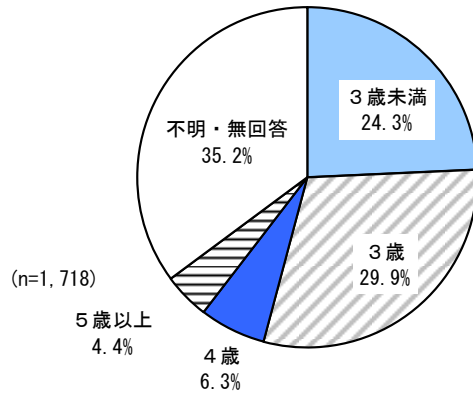
Ⅱ. 調査結果

(4) 利用を開始したい時期

[就学前児童…問22-3]

問 どの施設やサービスを利用したいですか。(すべてに○)(申込みの希望が叶う前提でお答えください。)

【図 8-4 利用を開始したい時期】



幼児教育・保育の無償化が実施された場合の利用を開始したい時期は、「3歳」(29.9%)が最も多く、次いで「3歳未満」(24.3%)となっている。

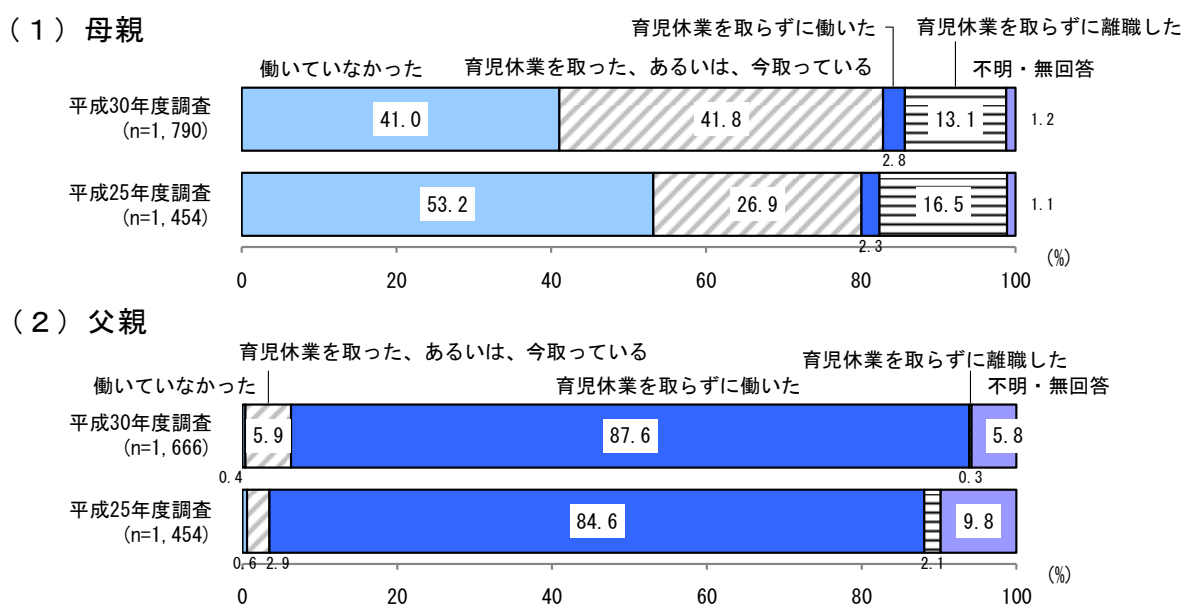
9 仕事と子育ての両立について

(1) 育児休業の取得状況【就学前児童】

[就学前児童…問23]

問 お子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。(それぞれ1つに○) 父親について、「2.」を選ばれた場合は、育児休暇を取得された、あるいは、取得予定の日数について枠内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」を選ばれた場合は、その理由を(育児休業を取らなかった理由) 枠内の選択肢の中からお答えください。(すべて記入)

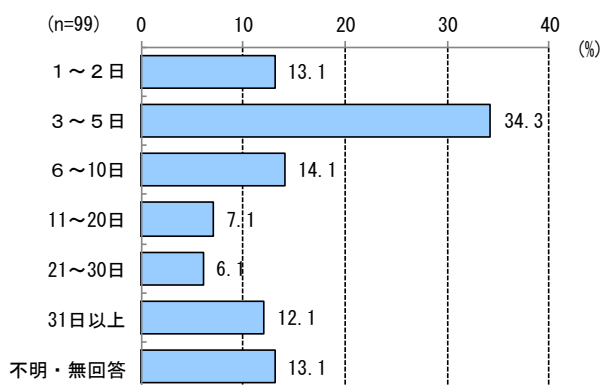
【図 9-1 育児休業の取得状況】



子どもが生まれたときの保護者の育児休業の取得状況について、母親は「育児休業を取った、あるいは、今取っている」(41.8%)が最も多く、次いで「働いていなかった」(41.0%)、「育児休業を取らずに離職した」(13.1%)が続く。父親は「育児休業を取らずに働いた」(87.6%)が最も多く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」(5.9%)が続く。

平成25年度調査と比べると、母親、父親とも「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が高くなっている。また母親は「働いていなかった」の割合が12.2ポイント低くなっている。

【図 9-1-1 父親の育児休業取得日数】

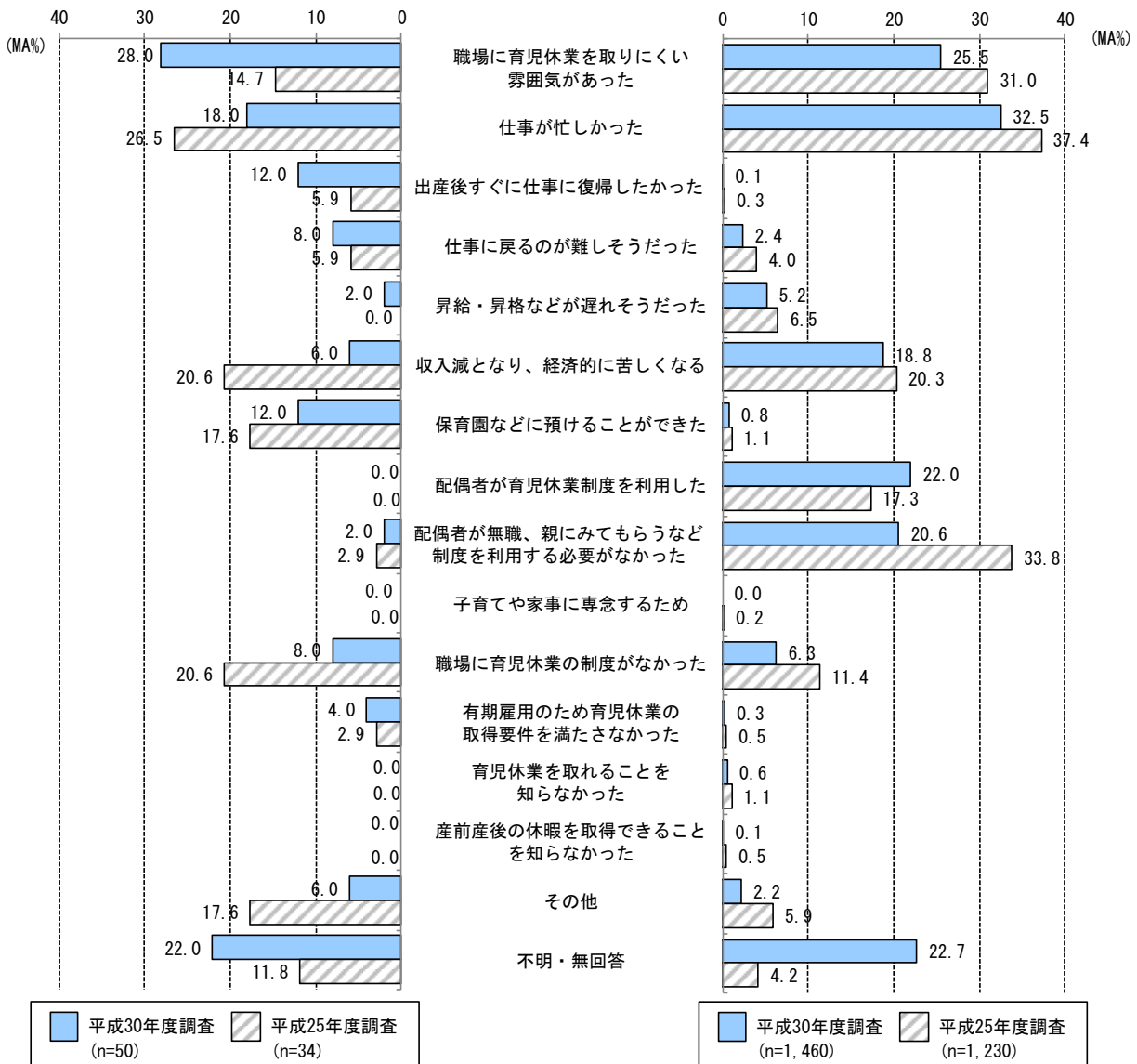


II. 調査結果

【図 9-1-2 育児休業を取らずに働いた理由】

(1) 母親

(2) 父親



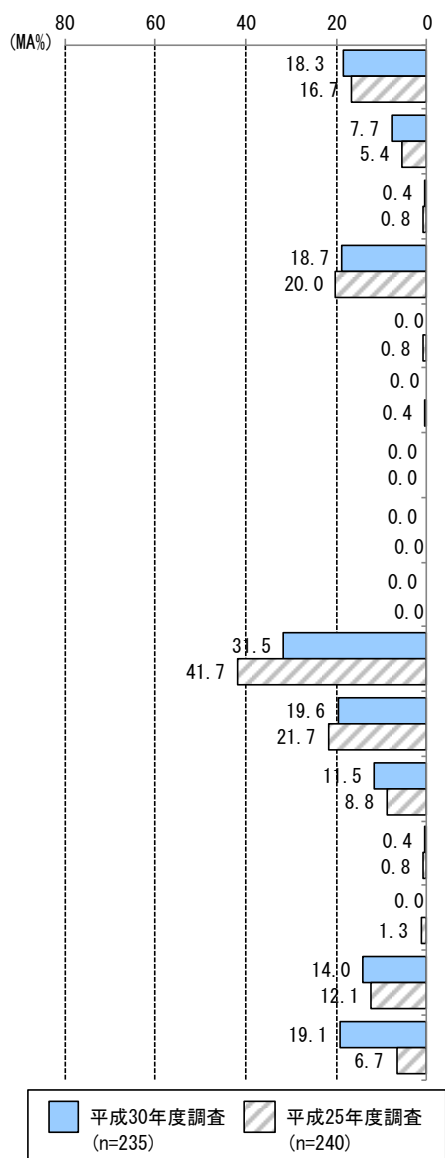
(複数回答)

育児休業を取らずに働いたと回答した人にその理由をたずねると、母親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(28.0%)が最も多く、次いで「仕事が忙しかった」(18.0%)が続く。父親は「仕事が忙しかった」(32.5%)が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(25.5%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(22.0%)が続く。

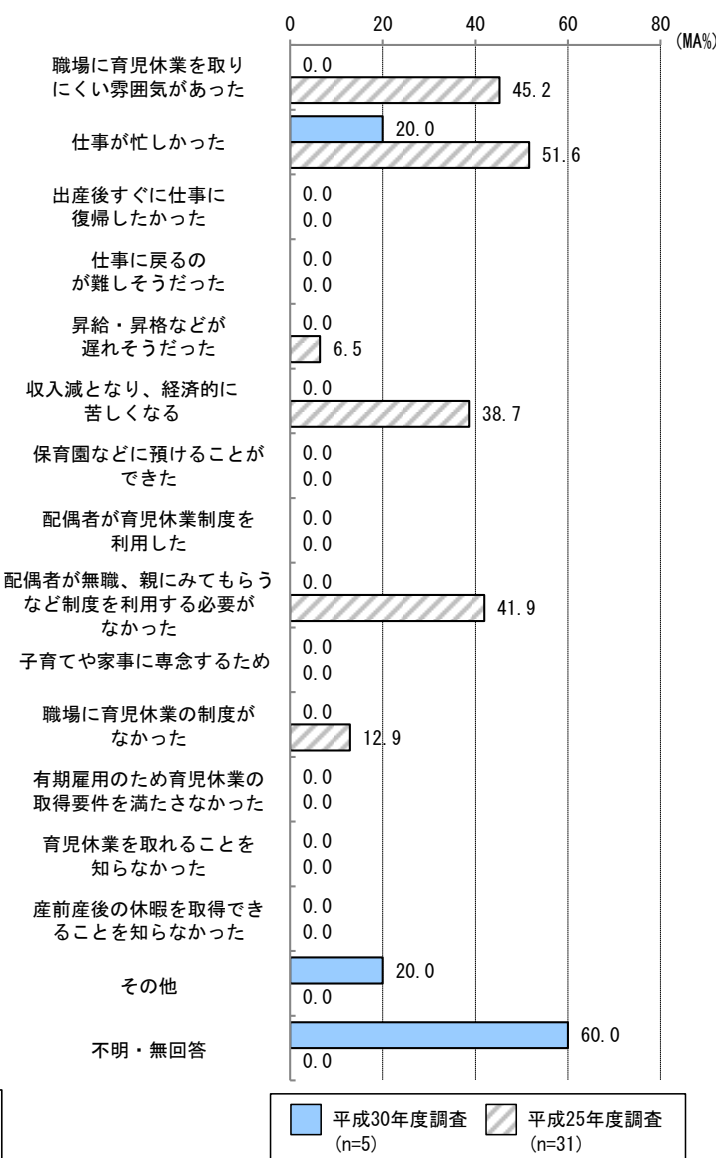
平成25年度調査と比べると、「職場に育児休業制度がなかった」の割合が、母親は12.6ポイント、父親は5.1ポイント低くなっている。また母親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が13.3ポイント高くなっている。父親は「配偶者が無職、親にみてもらうなど、制度を利用する必要はなかった」の割合が13.2ポイント低くなっている。

【図 9-1-3 育児休業を取らずに離職した理由】

(1) 母親



(2) 父親



(複数回答)

育児休業を取らずに離職したと回答した人にその理由をたずねると、母親は「子育てや家事に専念するため」(31.5%)が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」(19.6%)が続く。

II. 調査結果

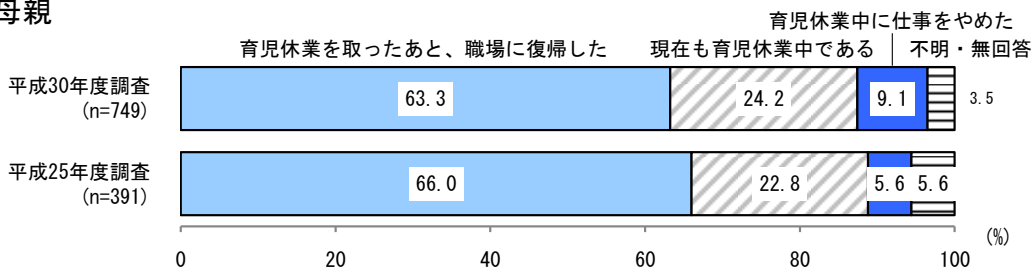
(2) 育児休業後の職場復帰の有無（育児休業を取得した人）【就学前児童】

[就学前児童…問23-1]

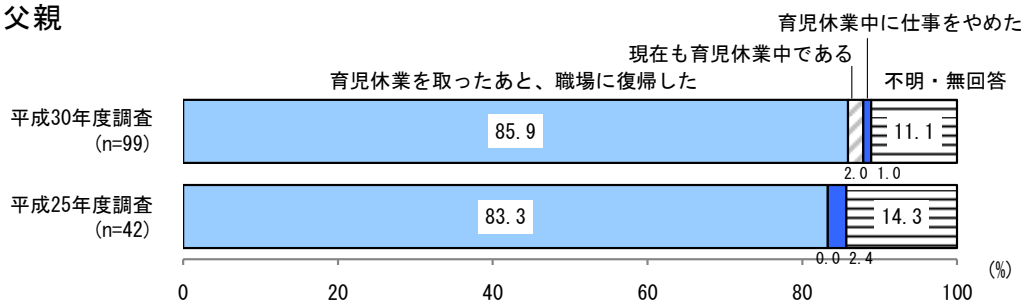
問 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。

【図 9-2 育児休業後の職場復帰の有無】

(1) 母親



(2) 父親



育児休業取得後の職場復帰について、「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」（母親：63.3%、父親：85.9%）が最も多い。

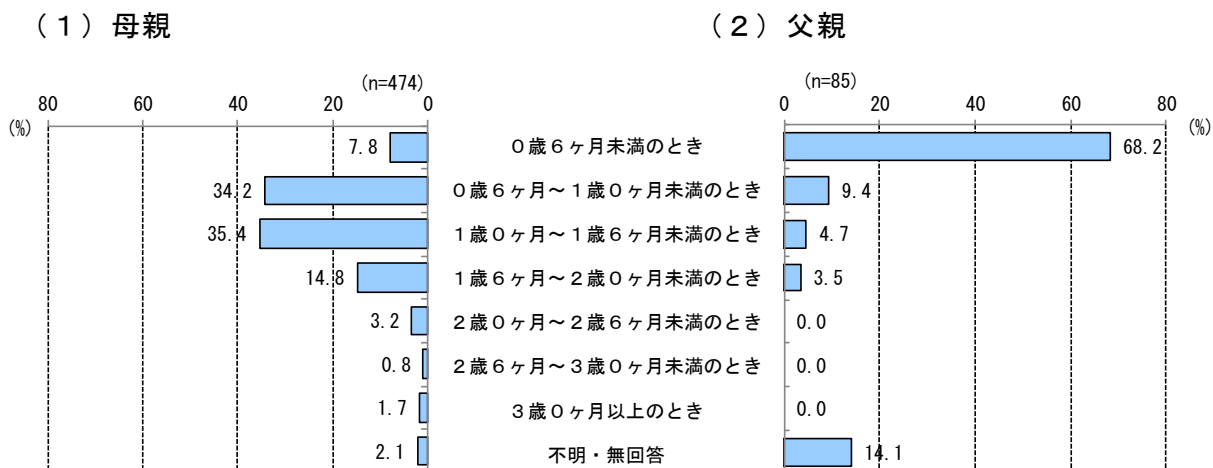
平成25年度調査と比べると、母親は「育児休業中に仕事をやめた」の割合が3.5ポイント高くなっている。

(3) 職場復帰したときの子どもの年齢（育児休業後に職場復帰した人）【就学前児童】

[就学前児童…問23-2]

問 育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。

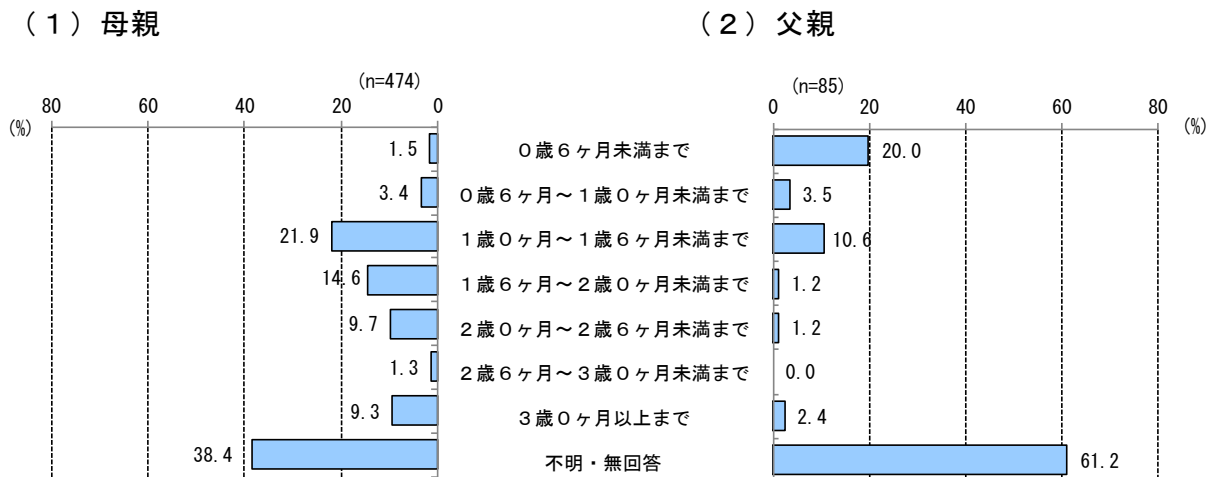
【図 9-3 職場復帰したときの子どもの年齢】



実際に職場復帰したときの子どもの年齢について、母親が「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満のとき」が35.4%で最も多く、次いで「0歳6ヶ月～1歳0ヶ月未満のとき」が34.2%となっており、1歳6ヶ月までに7割以上の人々が職場復帰している。父親は「0歳～6ヶ月未満のとき」が68.2%で最も多い。

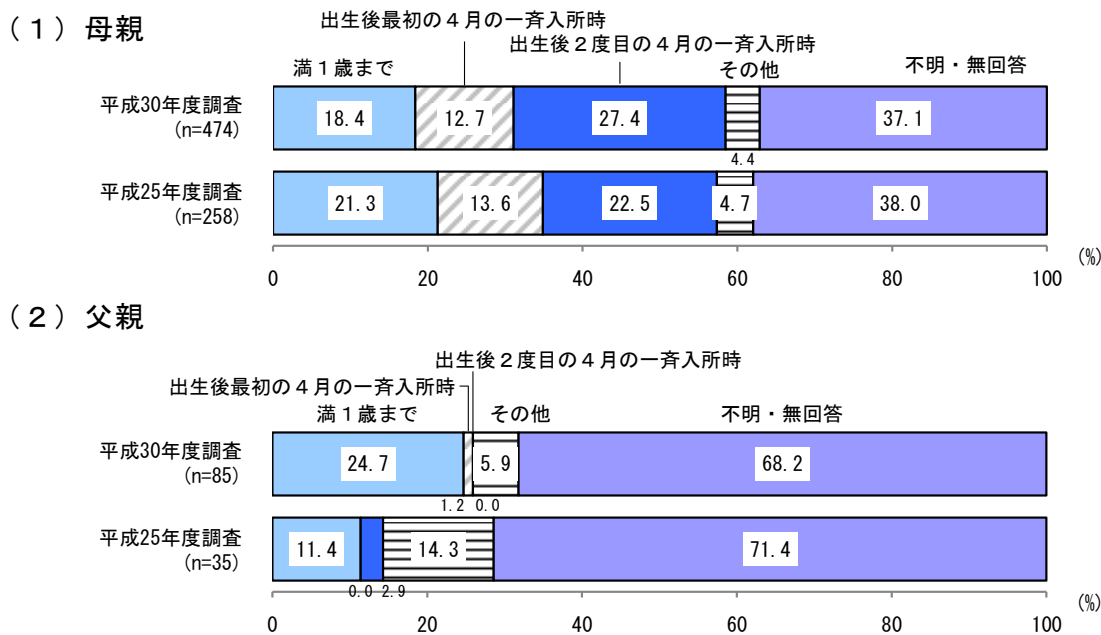
II. 調査結果

【図 9-3-1 取得を希望した子どもの年齢】



希望として子どもが何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったか、子どもの年齢については、母親は「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満まで」が21.9%で最も多く、次いで「1歳6ヶ月～2歳0ヶ月未満まで」が14.6%となっている。父親は「0歳6ヶ月未満まで」が20.0%で最も多くなっている。

【図 9-3-2 取得を希望した時期】



希望として子どもが何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったかについて、母親は「出生後2度目の4月の一斉入所時」(27.4%)が最も多く、次いで「満1歳まで」(18.4%)が続く。父親は「満1歳まで」(24.7%)が最も多い。

平成25年度調査と比べると、母親は「出生後2度目の4月の一斉入所時」が4.9ポイント高くなっている。父親は「満1歳まで」が13.3ポイント高くなっている。

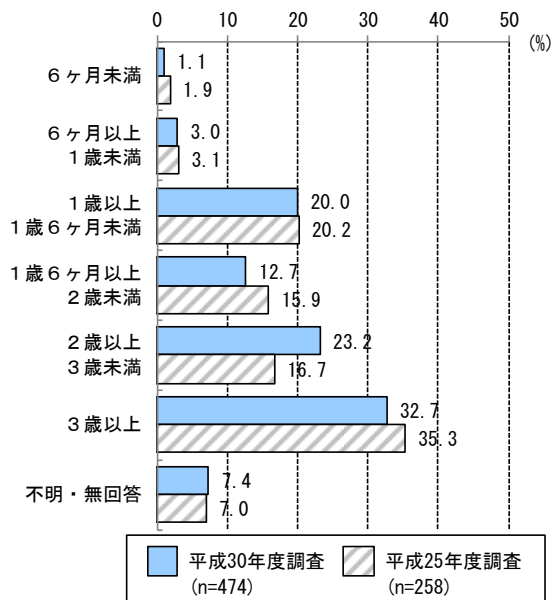
(4) 3歳まで休暇を取得できる場合の希望の子どもの年齢【就学前児童】

[就学前児童…問23-3]

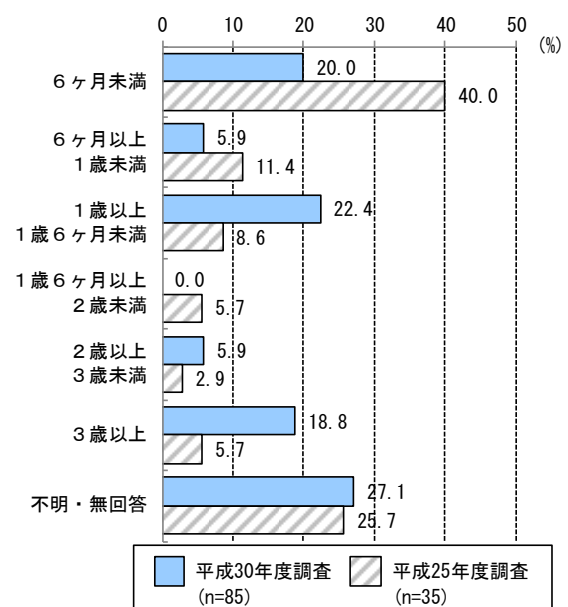
問 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

【図 9-4 3歳まで取得できる場合の希望の子どもの年齢】

(1) 母親



(2) 父親



職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として子どもが何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったかについて、母親は「3歳以上」(32.7%)が最も多く、次いで「2歳以上3歳未満」(23.2%)が続く。父親は「1歳以上1歳6ヶ月未満」(22.4%)が最も多く、次いで「6ヶ月未満」(20.0%)が続く。

平成25年度調査と比べると、母親は「2歳以上3歳未満」が6.5ポイント高くなり、父親は「1歳以上1歳6ヶ月未満」が13.8ポイント、「3歳以上」が13.1ポイント高くなっている。

II. 調査結果

(5) 子どもと一緒に過ごす時間とその満足度

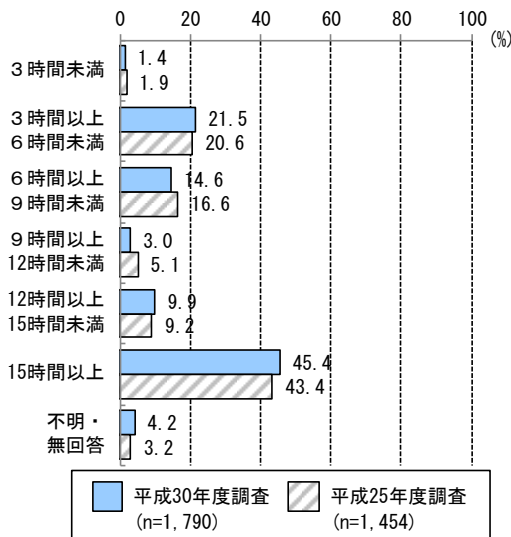
[就学前児童…問24、就学児童…問22]

問 子どもと一緒に過ごす時間は、1日当たりどのくらいですか。それぞれ1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。

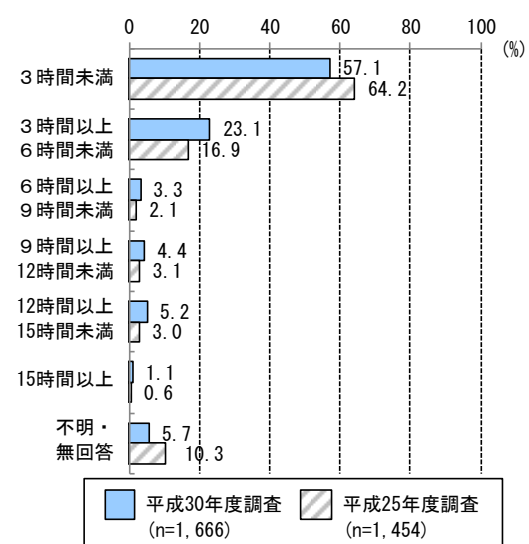
【図 9-5 子どもと一緒に過ごす時間と満足度（就学前児童）平日】

【就学前児童】

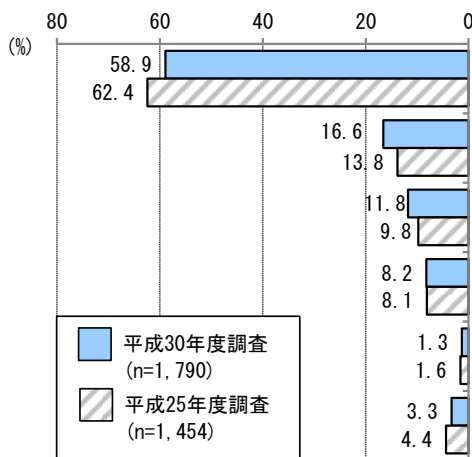
■母親の1日あたりの時間（平日）



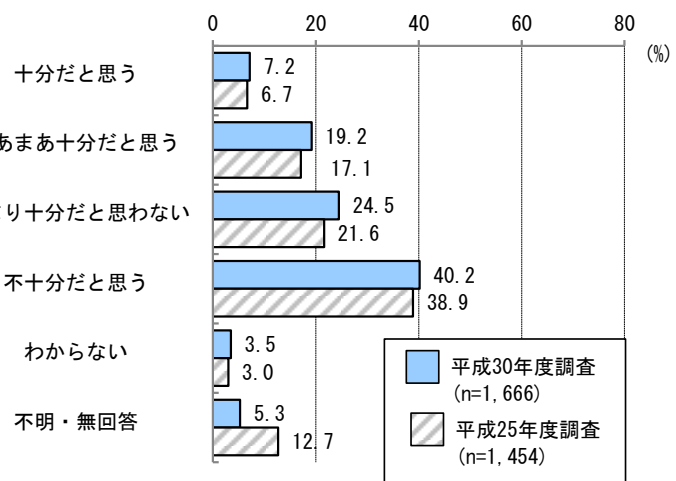
■父親の1日あたりの時間（平日）



■母親の満足度（平日）



■父親の満足度（平日）

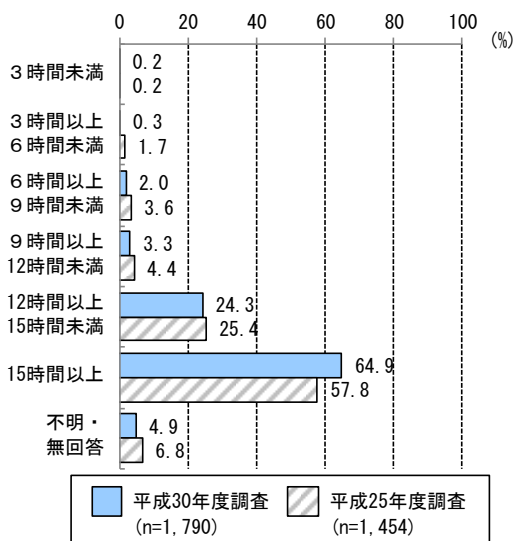


平日に就学前児童の子どもと一緒に過ごす時間の満足度について、母親は「十分だと思う」(58.9%)が最も多く、次いで「まあまあ十分だと思う」(16.6%)が続く。父親は「不十分だと思う」(40.2%)が最も多く、次いで「あまり十分だと思わない」(24.5%)が続く。

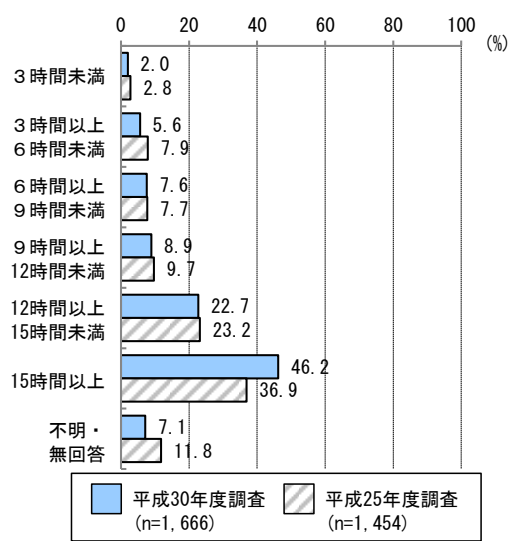
【図 9-5-1 子どもと一緒に過ごす時間と満足度（就学前児童）休日】

【就学前児童】

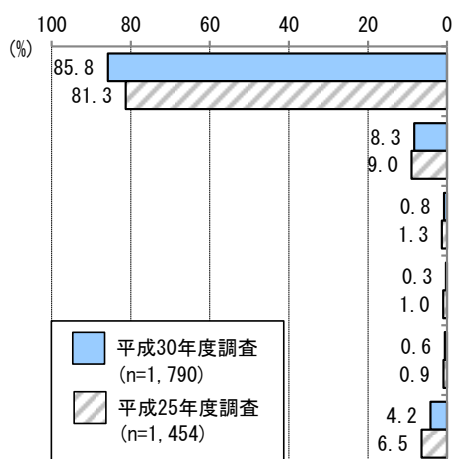
■母親の1日あたりの時間（休日）



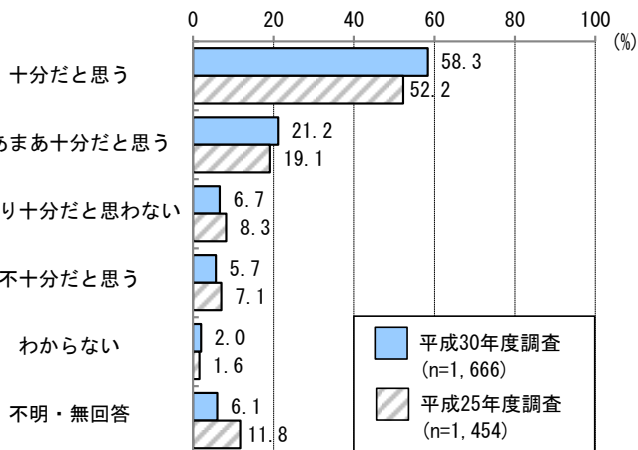
■父親の1日あたりの時間（休日）



■母親の満足度（休日）



■父親の満足度（休日）



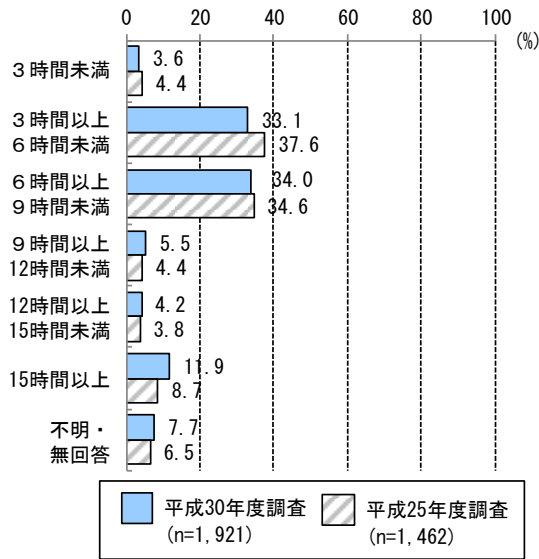
休日に就学前児童の子どもと一緒に過ごす時間の満足度について、母親、父親ともに「十分だと思う」（母親：85.8%、父親：58.3%）が最も多い。次いで「まあまあ十分だと思う」（母親：8.3%、父親：21.2%）が続く。

II. 調査結果

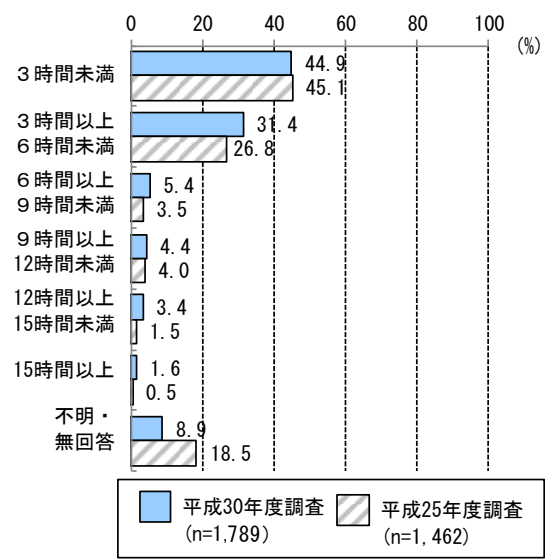
【図 9-5-2 子どもと一緒に過ごす時間と満足度（就学児童）】

【就学児童】

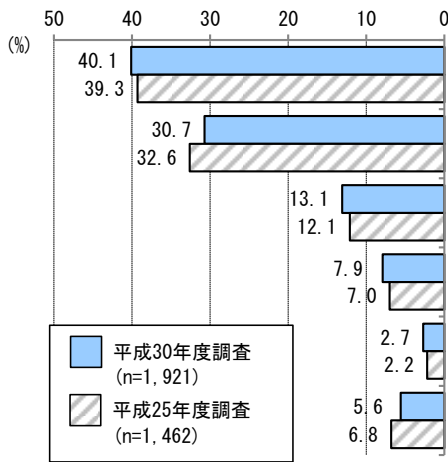
■ 母親の1日あたりの時間



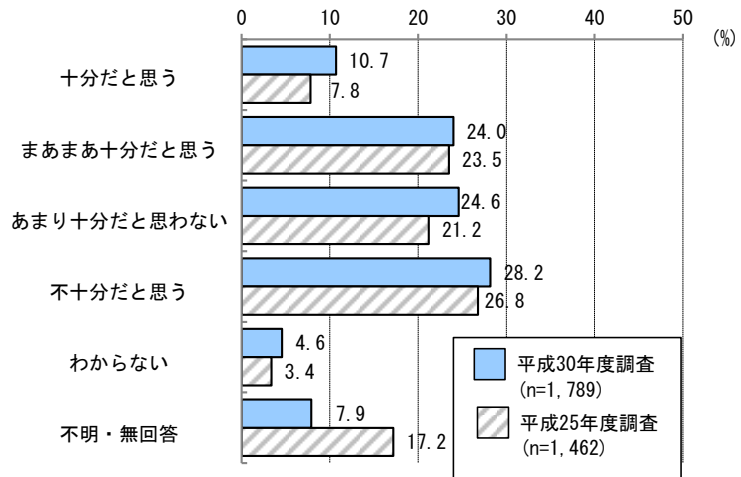
■ 父親の1日あたりの時間



■ 母親の満足度



■ 父親の満足度



就学児童の子どもと一緒に過ごす時間の満足度については、母親は「十分だと思う」（40.1%）が最も多く、次いで「まあまあ十分だと思う」（30.7%）が続く。父親は「不十分だと思う」（28.2%）が最も多く、次いで「あまり十分だと思わない」（24.6%）が続く。

(6) 家事の時間

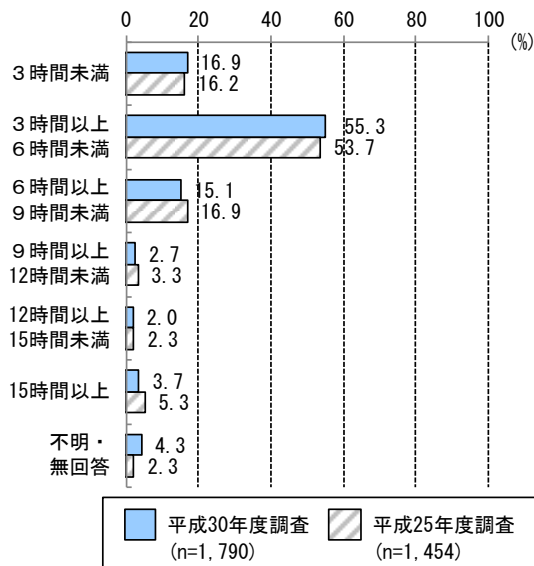
[就学前児童…問25、就学児童…問23]

問 家事を1日当たり何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

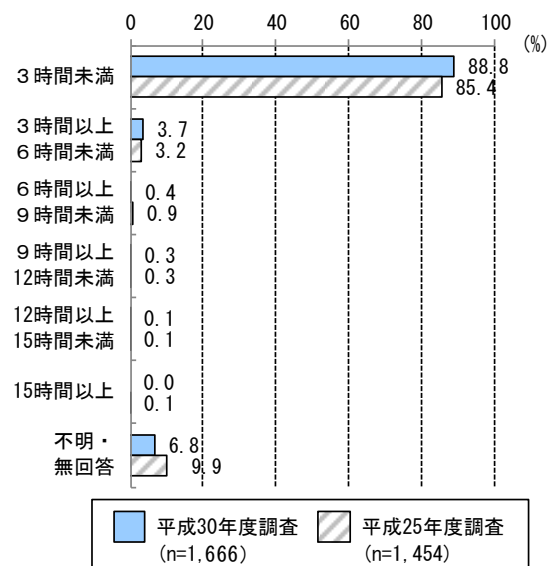
【図 9-6 1日当たりの家事をする時間】

【就学前児童】

(1) 母親

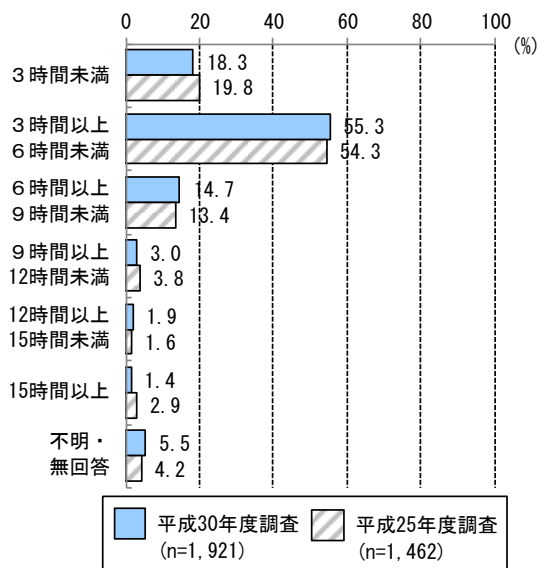


(2) 父親

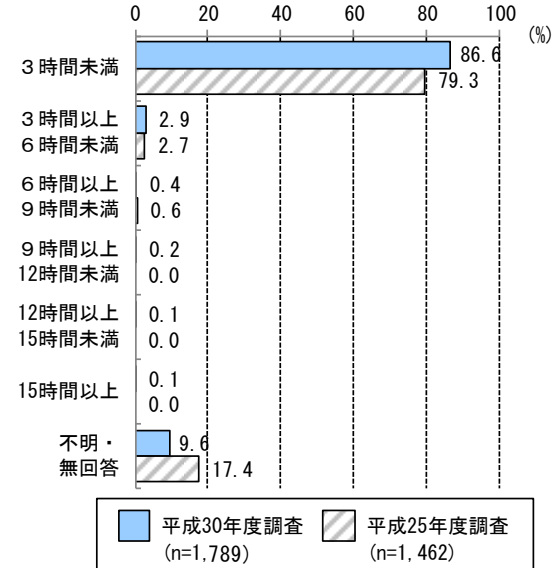


【就学児童】

(1) 母親



(2) 父親



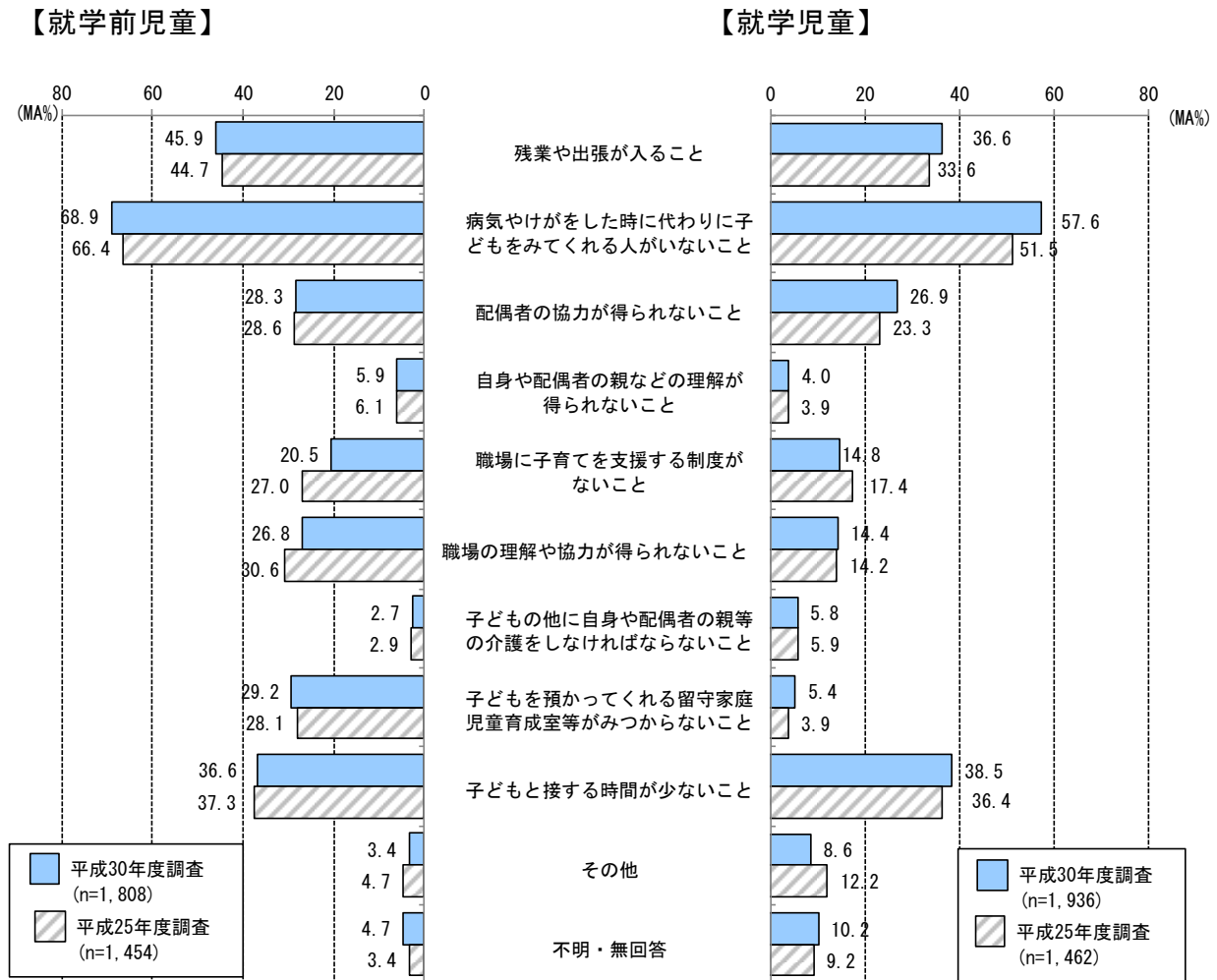
II. 調査結果

(7) 仕事と子育てを両立させる上での課題

[就学前児童…問26、就学児童…問24]

問 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。(すべてに○)

【図 9-7 仕事と子育てを両立させる上での課題】



(複数回答)

仕事と子育てを両立させる上での課題について、「病气やけがをした時に代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」(就学前児童：68.9%、就学児童：57.6%)が最も多い。次いで就学前児童は「残業や出張が入ること」(45.9%)、「子どもと接する時間が少ないこと」(36.6%)、就学児童は「子どもと接する時間が少ないこと」(38.5%)、「残業や出張が入ること」(36.6%)が続く。

10 小学校就学後の放課後の過ごし方（5歳以上の子ども）

（1）小学生になったとき、放課後に過ごさせたい場所（5歳以上の子ども）

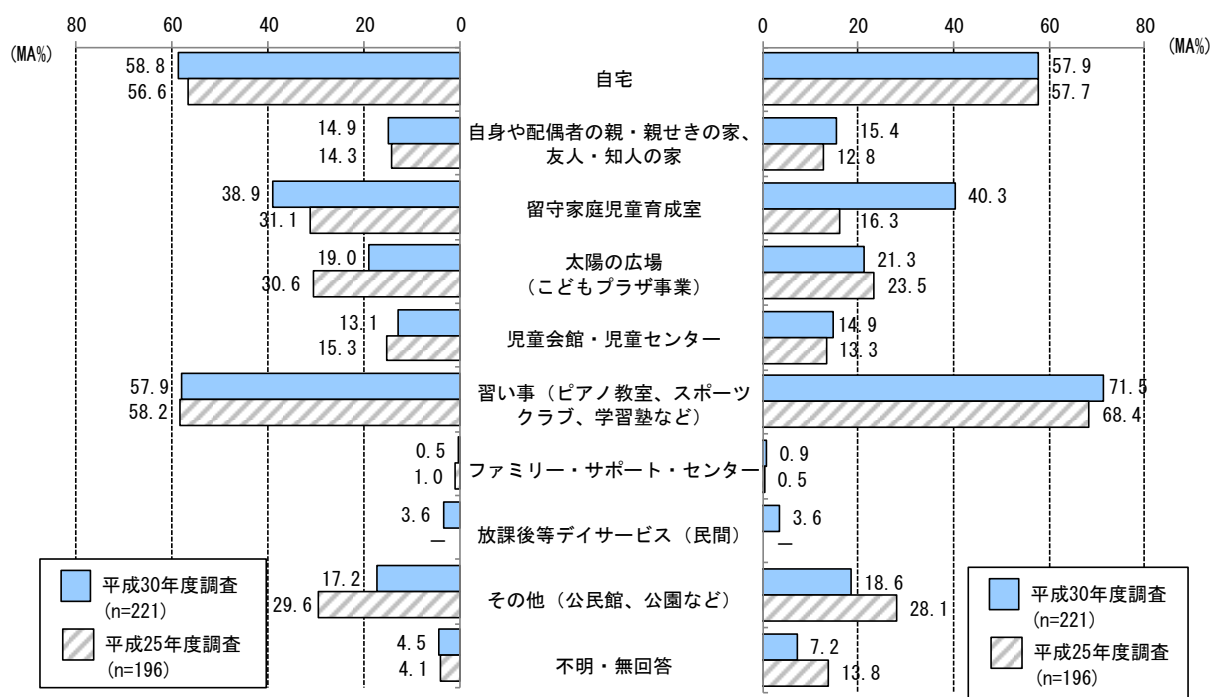
[就学前児童…問27]

問 小学校になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年）、高学年（4～6年）それぞれお答えください。（すべてに○）また、それぞれの希望する1週間の日数についてもお答えください。「留守家庭児童育成室」を選択された方は、利用を希望する時間についてもお答えください。

【図 10-1 小学生になったら放課後に過ごさせたい場所】

（1）小学校低学年（1～3年）

（2）小学校高学年（4～6年）



（複数回答）

※「放課後等デイサービス（民間）」は、今回新たに追加した選択肢

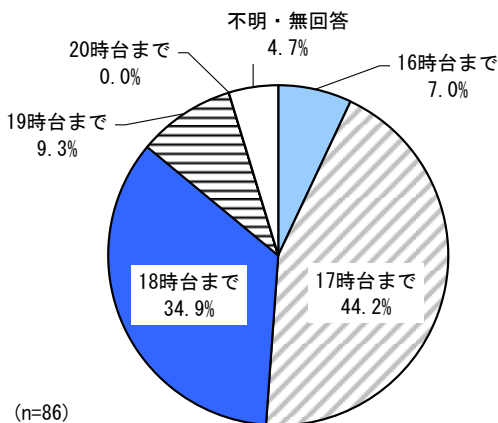
子どもが小学生になったら放課後に過ごさせたいと思う場所は、小学校低学年では「自宅」（58.8%）が最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（57.9%）、「留守家庭児童育成室」（38.9%）が続く。高学年では、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（71.5%）が最も多く、次いで「自宅」（57.9%）、「留守家庭児童育成室」（40.3%）が続く。

平成25年度調査と比べると、「留守家庭児童育成室」の割合が低学年は7.8ポイント、高学年は24.0ポイント高くなっている。

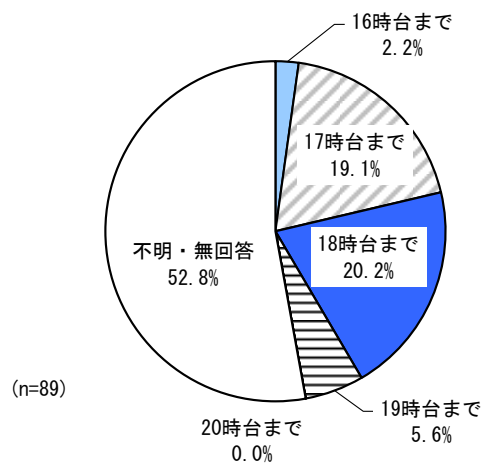
II. 調査結果

【図 10-1-1 留守家庭児童育成室の利用希望時間】

(1) 小学校低学年（1～3年）



(2) 小学校高学年（4～6年）



【表 10-1-2 放課後に過ごさせたい場所別過ごさせたい日数（就学前児童）】

(1) 小学校低学年（1～3年）

	(%)					
	1日	2日	3日	4日	5日	不明・無回答
①自宅 (n=130)	12.3	35.4	20.0	6.2	19.2	6.9
②自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家 (n=33)	48.5	39.4	0.0	0.0	3.0	9.1
③留守家庭児童育成室 (n=86)	4.7	0.0	10.5	11.6	66.3	7.0
④太陽の広場（こどもプラザ事業） (n=42)	61.9	16.7	7.1	0.0	9.5	4.8
⑤児童会館・児童センター (n=29)	41.4	20.7	20.7	6.9	0.0	10.3
⑥習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など） (n=128)	24.2	47.7	20.3	1.6	0.0	6.3
⑦ファミリー・サポート・センター (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑧放課後等デイサービス（民間） (n=8)	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5
⑨その他（公民館、公園など） (n=38)	39.5	36.8	13.2	2.6	0.0	7.9

放課後に過ごさせたい場所の1週間の利用希望日数について、小学校低学年では、『①自宅』は「2日」(35.4%)が最も多く、次いで「3日」(20.0%)、「5日」(19.2%)が続く。『③留守家庭児童育成室』は「5日」(66.3%)が最も多く、次いで「4日」(11.6%)、「3日」(10.5%)が続く。『⑥習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）』は「2日」(47.7%)が最も多く、次いで「1日」(24.2%)、「3日」(20.3%)が続く。

【表 10-1-3 放課後に過ごさせたい場所別過ごさせたい日数（就学前児童）】

(2) 小学校高学年（4～6年）

	(%)					
	1日	2日	3日	4日	5日	不明・無回答
①自宅 (n=128)	17.2	36.7	14.8	8.6	14.8	7.8
②自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家 (n=34)	41.2	35.3	2.9	0.0	0.0	20.6
③留守家庭児童育成室 (n=89)	0.0	9.0	6.7	4.5	28.1	51.7
④太陽の広場（こどもプラザ事業） (n=47)	36.2	17.0	6.4	0.0	4.3	36.2
⑤児童会館・児童センター (n=33)	15.2	27.3	6.1	3.0	3.0	45.5
⑥習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など） (n=158)	15.2	31.0	31.0	6.3	4.4	12.0
⑦ファミリー・サポート・センター (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
⑧放課後等デイサービス（民間） (n=8)	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
⑨その他（公民館、公園など） (n=41)	39.0	22.0	12.2	2.4	2.4	22.0

放課後に過ごさせたい場所の1週間の利用希望日数について、小学校高学年では、『①自宅』は「2日」(36.7%)が最も多く、次いで「1日」(17.2%)、「3日」「5日」(それぞれ14.8%)が続く。『③留守家庭児童育成室』は「5日」(28.1%)が最も多く、次いで「2日」(9.0%)、「3日」(6.7%)が続く。『⑥習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）』は「2日」「3日」(それぞれ31.0%)が最も多く、次いで「1日」(15.2%)が続く。

II. 調査結果

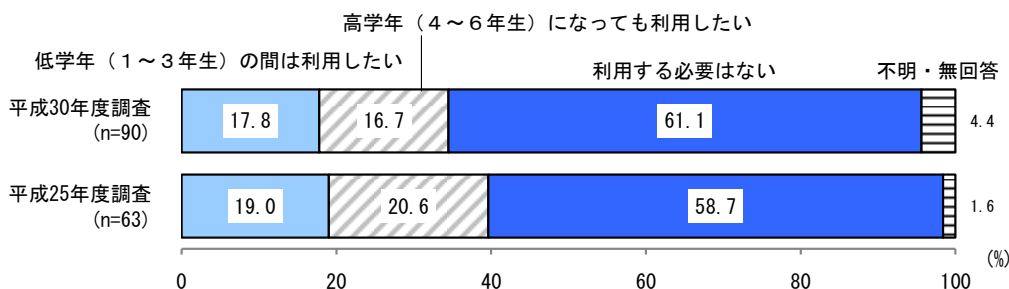
(2) 土曜日、日曜日・祝日の留守家庭児童育成室の利用意向（5歳以上の子ども）

[就学前児童…問28]

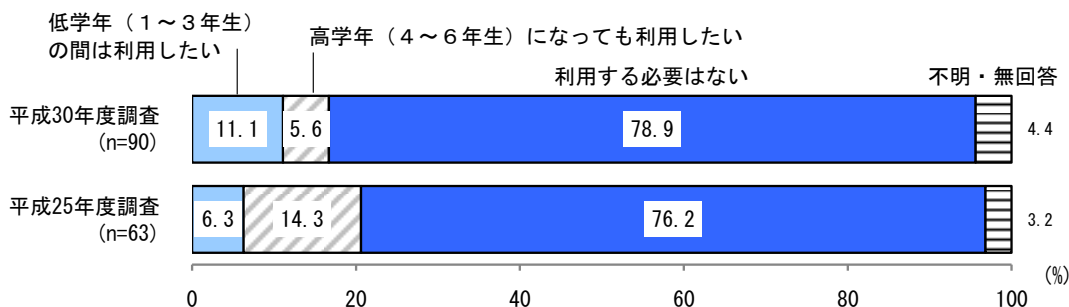
問 土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童育成室の利用希望はありますか。（それぞれ1つに○）また、利用したい時間帯をご記入ください。

【図 10-2 土曜日、日曜日・祝日の留守家庭児童育成室の利用意向】

(1) 土曜日



(2) 日曜日・祝日

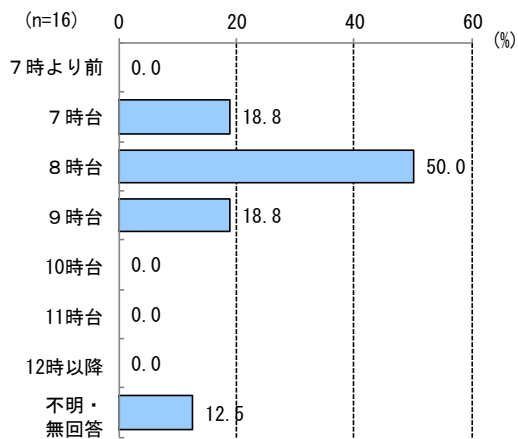


小学生になったら留守家庭児童育成室の利用希望がある人に、土曜日、日曜日・祝日の利用意向をたずねたところ、土曜日、日曜日・祝日も「利用する必要はない」が最も多く、土曜日が61.1%、日曜日・祝日が78.9%となっている。「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は土曜日が17.8%、日曜日・祝日が11.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は土曜日が16.7%、日曜日・祝日が5.6%となっている。

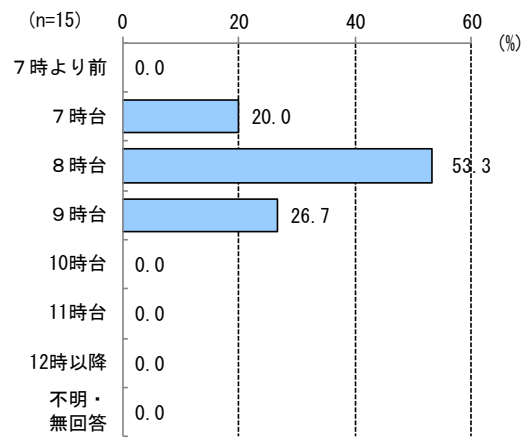
平成25年度調査と比べると、「利用する必要はない」の割合が土曜日は2.4ポイント、日曜日・祝日は2.7ポイント高くなっている。また、日曜日・祝日の「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が4.8ポイント高くなっている。

【図 10-2-1 土曜日、日曜日・祝日の留守家庭児童育成室の利用希望時間】

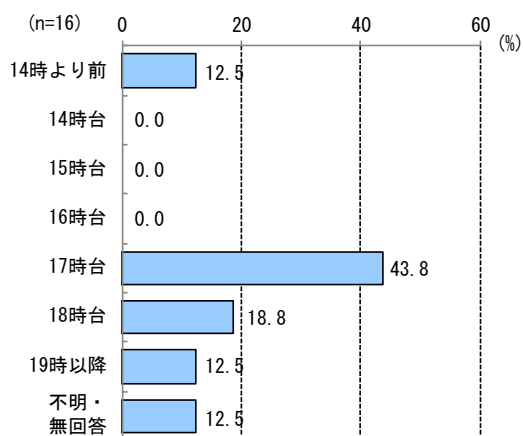
■<低学年>土曜日に利用したい時間帯
(開始時間)



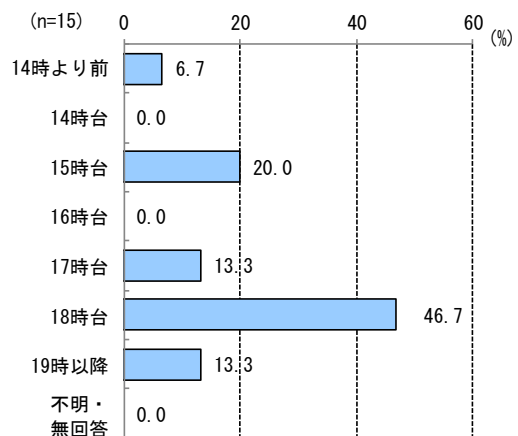
■<高学年>土曜日に利用したい時間帯
(開始時間)



■<低学年>土曜日に利用したい時間帯
(終了時間)



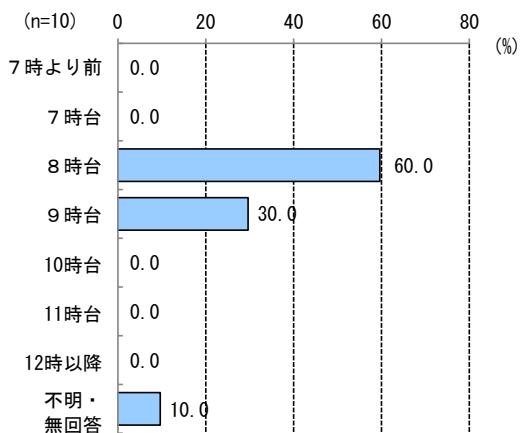
■<高学年>土曜日に利用したい時間帯
(終了時間)



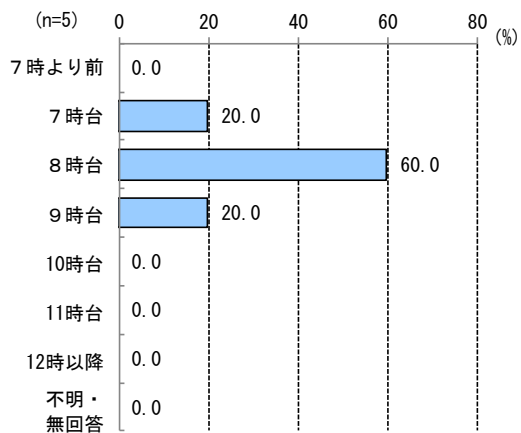
II. 調査結果

【図 10-2-2 日曜日・祝日の留守家庭児童育成室の利用希望時間】

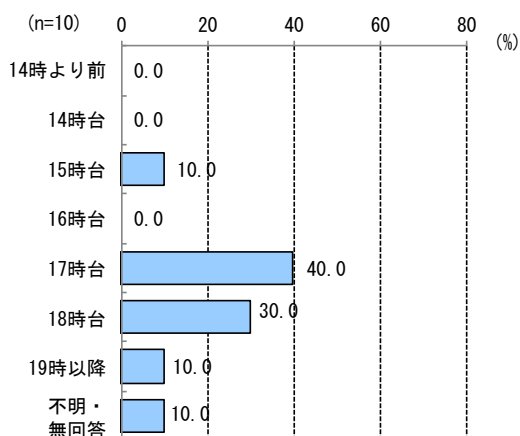
■<低学年>日曜・祝日に利用したい時間帯
(開始時間)



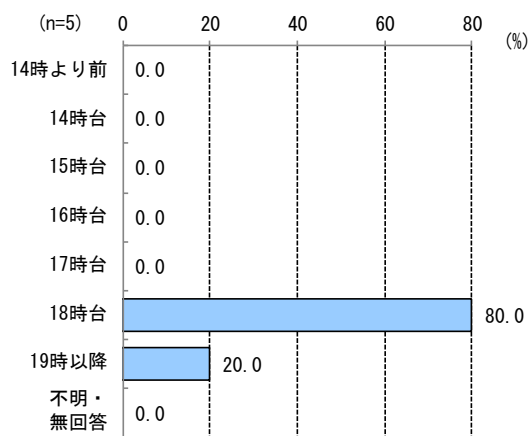
■<高学年>日曜・祝日に利用したい時間帯
(開始時間)



■<低学年>日曜・祝日に利用したい時間帯
(終了時間)



■<高学年>日曜・祝日に利用したい時間帯
(終了時間)

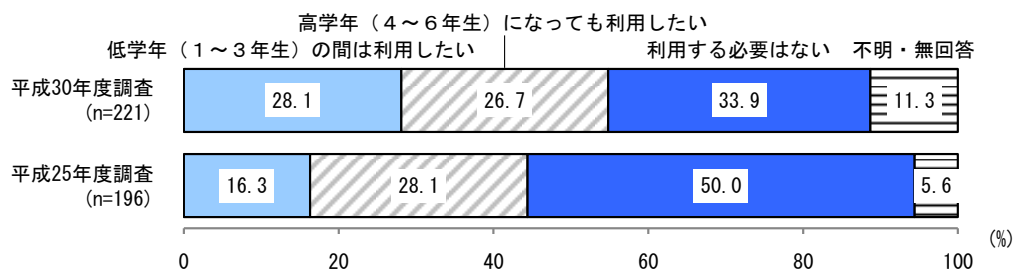


(3) 長期休暇期間中の留守家庭児童育成室の利用意向（5歳以上の子ども）

[就学前児童…問29]

問 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童育成室の利用希望はありますか。（1つに○）また、利用したい時間帯をご記入ください。

【図 10-3 長期期間中の留守家庭児童育成室の利用意向】



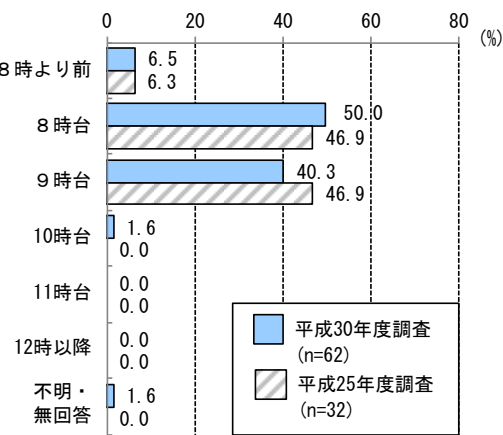
長期休暇期間中の留守家庭児童育成室の利用希望について、「利用する必要はない」(33.9%)が最も多く、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は28.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は26.7%となっている。

平成25年度調査と比べると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が11.8ポイント高くなっている。

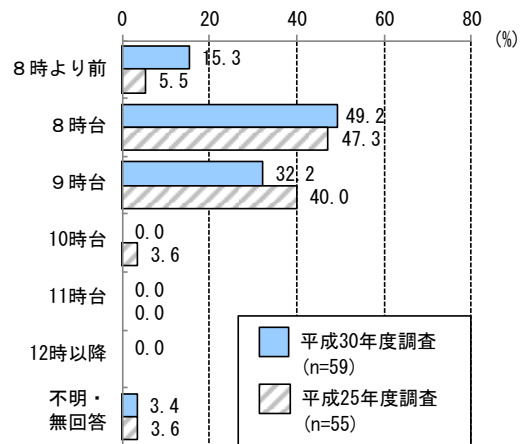
II. 調査結果

【図 10-3-1 長期期間中の留守家庭児童育成室の利用希望時間】

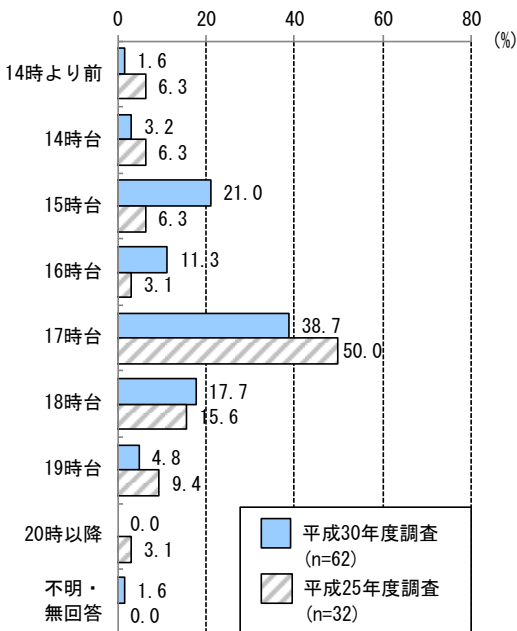
■ 低学年の間利用したい時間帯（開始時間）



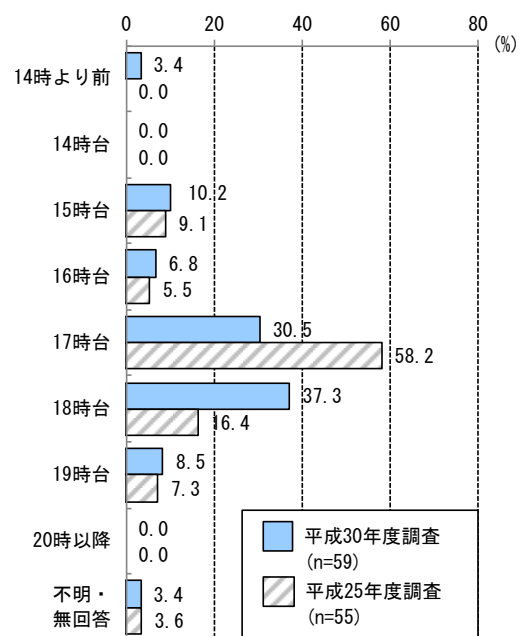
■ 高学年の間利用したい時間帯（開始時間）



■ 低学年の間利用したい時間帯（終了時間）



■ 高学年の間利用したい時間帯（終了時間）

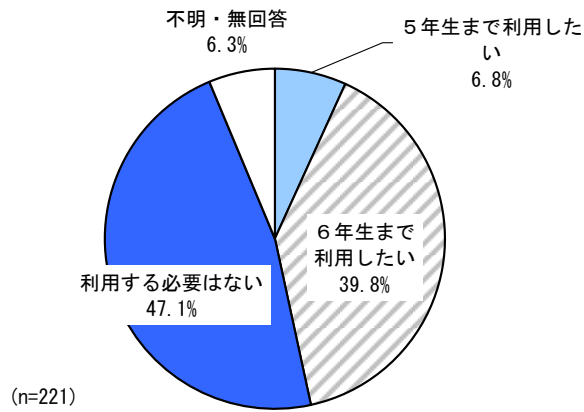


(4) 留守家庭児童育成室の高学年での利用意向

[就学前児童…問30]

問 現在、留守家庭児童育成室の利用は4年生までを対象としていますが、もしも高学年になっても利用できるとしたら、何年生まで利用したいですか。

【図 10-4 留守家庭児童育成室の高学年での利用意向】



小学4年生までが対象の留守家庭児童育成室が、小学6年生までになったとしたら、利用したいかについては、「5年生まで利用したい」が6.8%、「6年生まで利用したい」が39.8%、「利用する必要はない」が47.1%となっている。

11 不定期な一時預かりなどの利用について

(1) 不定期な一時預かりの利用状況

[就学前児童…問31] 定期的に保育園や幼稚園、認定こども園を利用していない方のみ回答

問 私用、ご自身や親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。保育園や幼稚園、認定こども園などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。

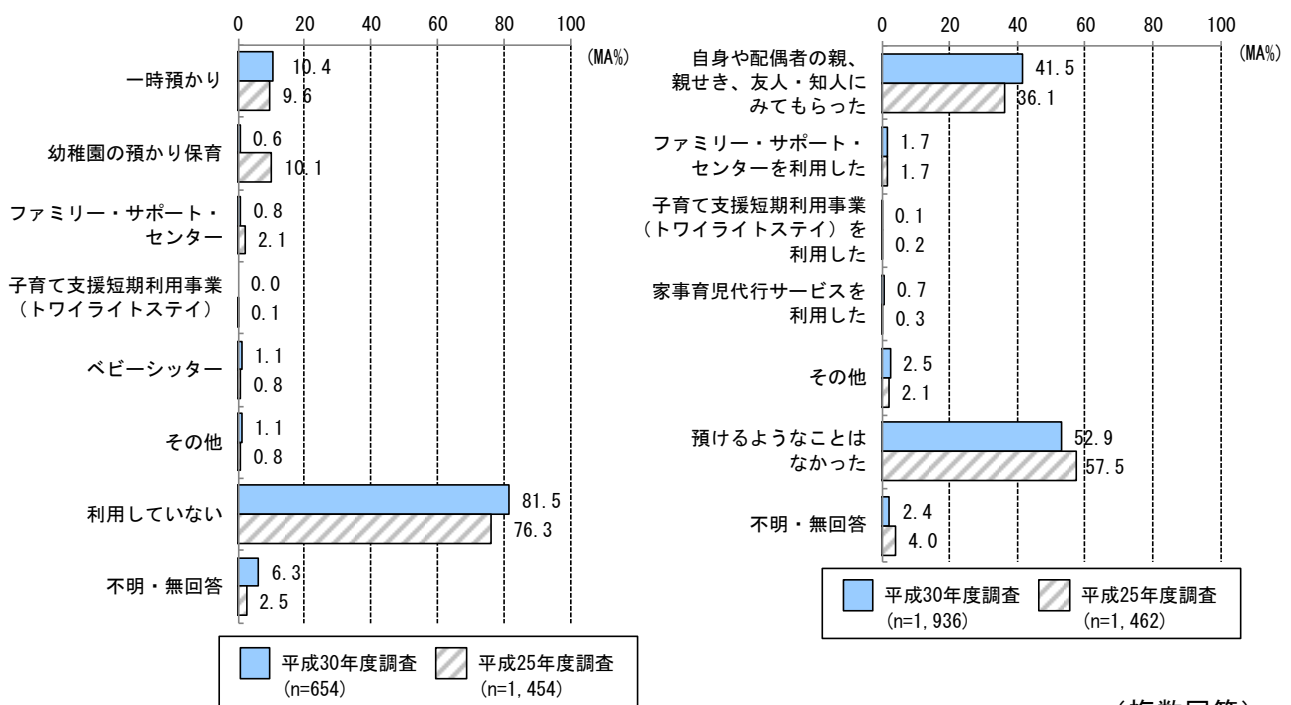
[就学児童…問20]

問 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。対処方法とその日数をお答えください。子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。

【図 11-1 子どもを預かるサービスの利用経験または家族以外の誰かに預けた経験の有無】

【就学前児童】

【就学児童】



(複数回答)

※就学前児童は、平成25年度調査は全員を対象に、平成30年度調査は利用していない方を対象とした。

私用、自身や親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスの利用、あるいは家族以外の誰かに預けたことがあるかについて、就学前児童は「利用していない」(81.5%)が最も多く、次いで「一時預かり」(10.4%)が続く。就学児童は「預けるようなことはなかった」(52.9%)が最も多く、次いで「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」(41.5%)が続く。

【表 11-1-1 子どもを預かるサービスの利用日数または家族以外の誰かに預けた日数（年間）】

【就学前児童】

	(%)						
	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 ～ 5 2 0 日	2 ～ 1 5 3 0 日	3 ～ 1 日 以 上	不 明 ・ 無 回 答
①一時預かり (n=68)	32.4	36.8	13.2	13.2	2.9	1.5	0.0
②幼稚園の預かり保育 (n=4)	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
③ファミリー・サポート・センター (n=5)	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
④子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ） (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑤ベビーシッター (n=7)	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
⑥その他 (n=7)	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6

就学前児童の子どもを預かるサービスの利用日数について、『①一時預かり』は「3～5日」（36.8%）が最も多く、次いで「1～2日」（32.4%）が続く。

【就学児童】

	(%)						
	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 ～ 5 2 0 日	2 ～ 1 5 3 0 日	3 ～ 1 日 以 上	不 明 ・ 無 回 答
①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (n=804)	35.1	25.4	14.2	4.2	4.4	5.7	11.1
②ファミリー・サポート・センターを利用した (n=33)	21.2	6.1	3.0	0.0	0.0	6.1	63.6
③子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）を利用した (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
④家事育児代行サービスを利用した (n=14)	35.7	35.7	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1
⑤その他 (n=49)	16.3	12.2	22.4	10.2	4.1	14.3	20.4

就学児童の子どもを家族以外に預けた日数について、『①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった』は「1～2日」（35.1%）が最も多く、次いで「3～5日」（25.4%）、「6～10日」（14.2%）が続く。『②ファミリー・サポート・センターを利用した』は「1～2日」（21.2%）が最も多くなっている。

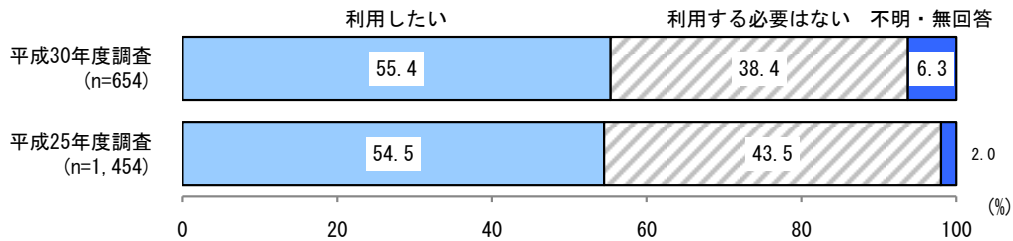
II. 調査結果

(2) 不定期な一時預かりの利用意向【就学前児童】

[就学前児童…問32] 定期的に保育園や幼稚園、認定こども園を利用していない方のみ回答

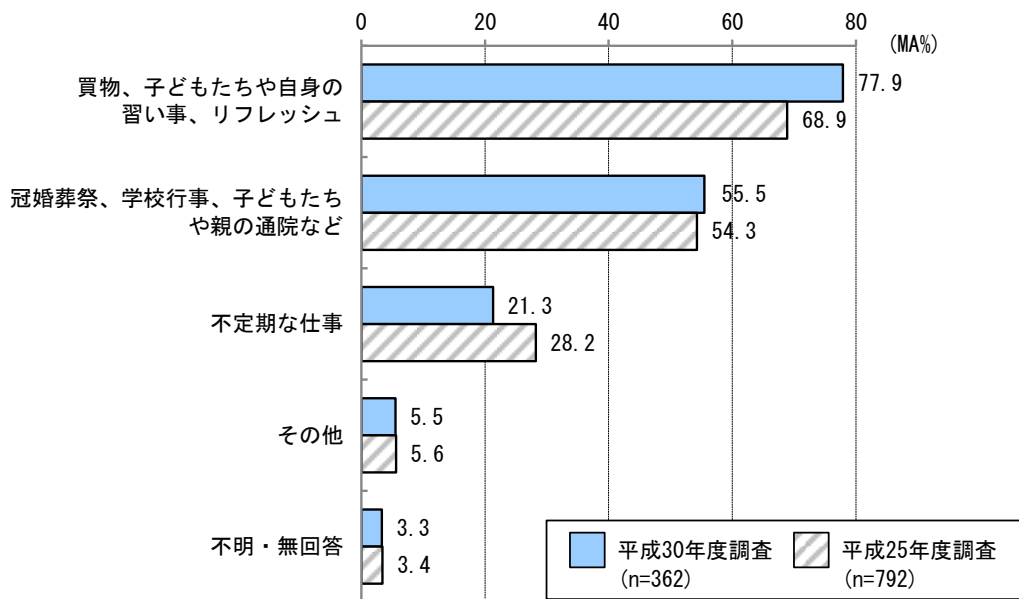
問 私用、ご自身や親の通院、不定期な仕事などを理由として、1年間に何日くらい保育園などで実施されている「一時預かり」を利用する必要があると思いますか。(1つに○) 利用したい場合は、目的ごとに日数と合計日数もお答えください。

【図 11-2 一時預かりの利用意向】



一時預かりの利用意向は、「利用したい」が55.4%、「利用する必要はない」が38.4%となっている。

【図 11-2-1 一時預かりの利用希望理由】



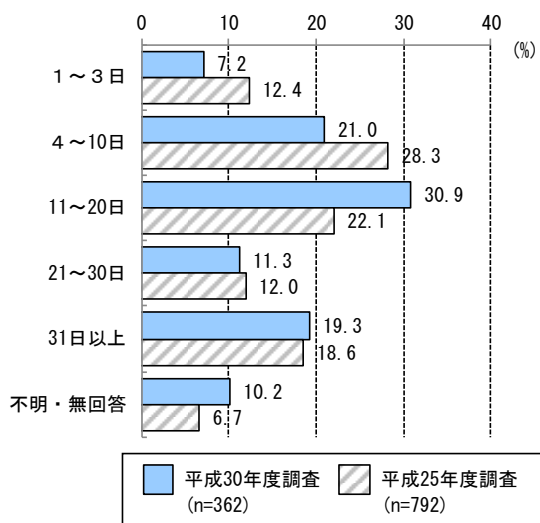
(複数回答)

一時預かりの利用希望理由について、「買物、子どもたちや自身の習い事、リフレッシュ」(77.9%)が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」(55.5%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「買物、子どもたちや自身の習い事、リフレッシュ」の割合が9.0ポイント高くなっている。また「不定期な仕事」の割合は6.9ポイント低くなっている。

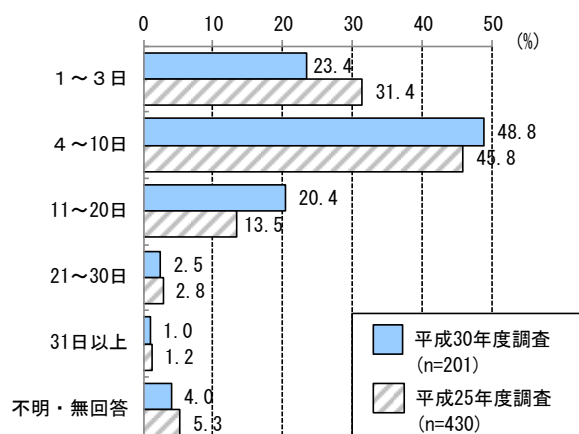
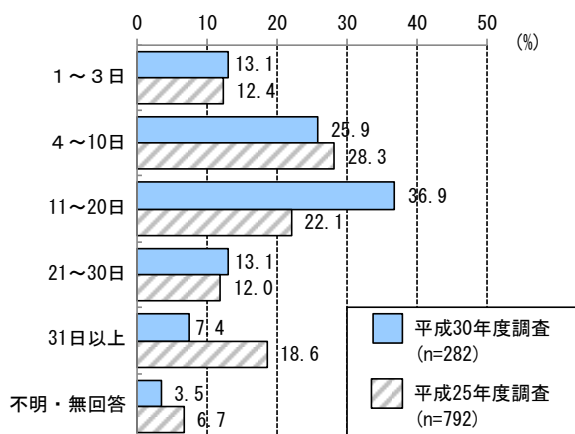
【図 11-2-2 一時預かりの利用希望日数】

■ 合計

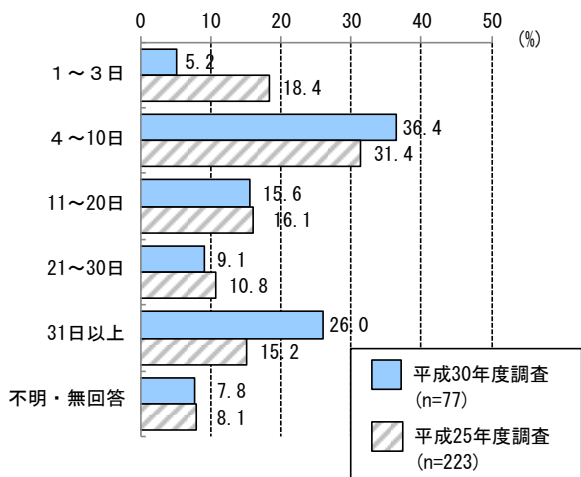


【図 11-2-3 一時預かりの利用目的別の利用希望日数】

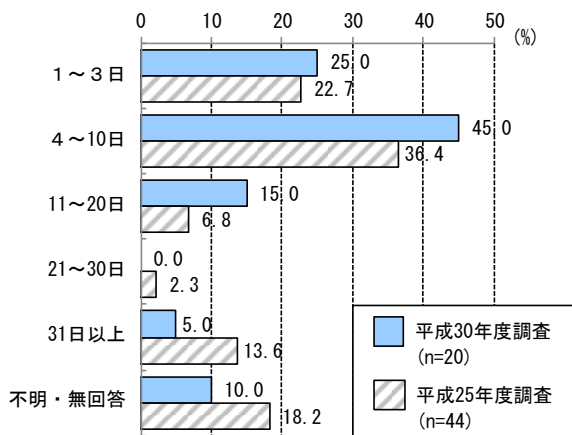
■ 買物、子どもたちや自身の習い事、リフレッシュ ■ 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など



■ 不定期的な仕事



■ その他



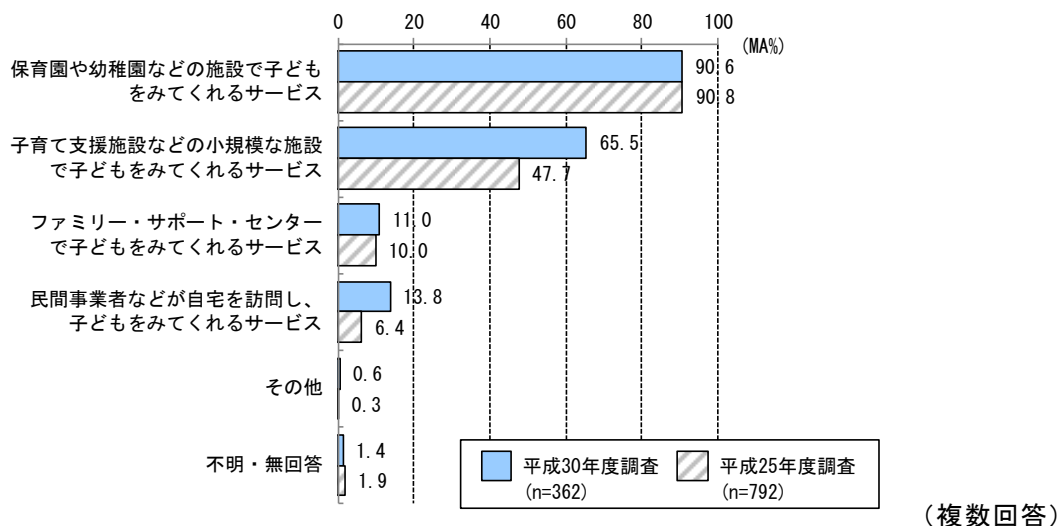
II. 調査結果

(3) 一時預かりで子どもを預ける場合の希望するサービス形態【就学前児童】

[就学前児童…問32-1] 定期的に保育園や幼稚園、認定こども園を利用していない方のみ回答

問 問32の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われませんか。

【図 11-3 一時預かりで望ましい子育て支援サービス】



一時預かりを使って子どもを預ける場合に希望するサービスの形態は、「保育園や幼稚園などの施設で子どもをみてるサービス」(90.6%)が最も多く、次いで「子育て支援施設などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」(65.5%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「子育て支援施設などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」の割合が17.8ポイント高くなっている。

(4) 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験

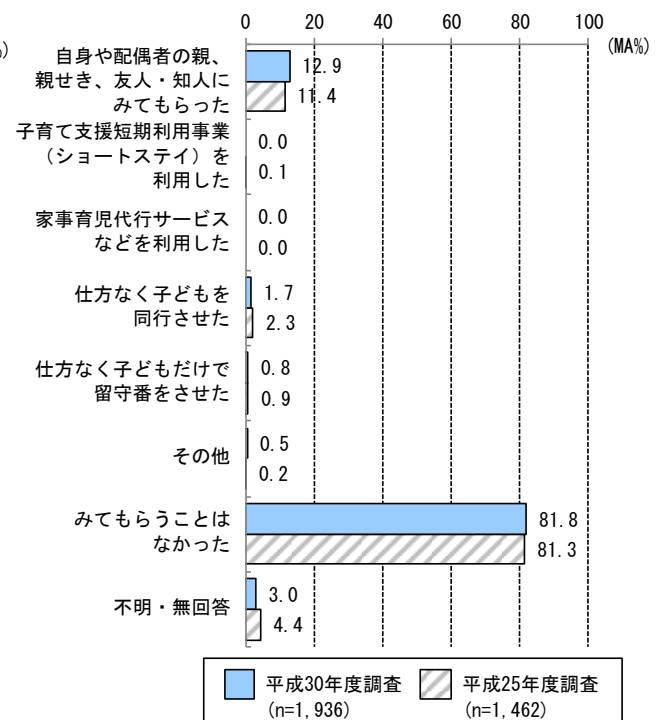
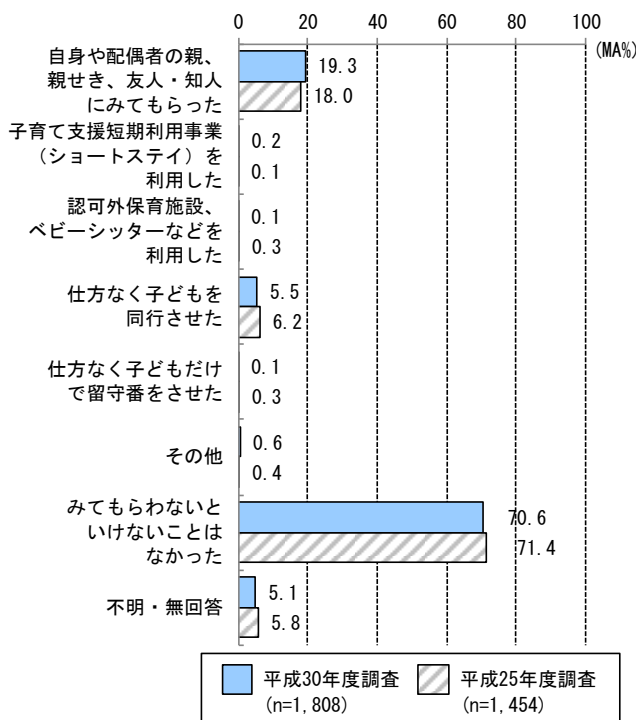
〔就学前児童…問33、就学児童…問21〕

問 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことで対処した方法(すべてに○)と年間合計の泊数をお答えください。

【図 11-4 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験の有無】

【就学前児童】

【就学児童】



(複数回答)

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験について、「みてもらわないといけないことはなかった(みてもらうことはなかった)」(就学前児童：70.6%、就学児童：81.8%)が最も多い。次いで「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」(就学前児童：19.3%、就学児童：12.9%)が続く。

平成25年度調査と比べても、傾向は変わらない。

II. 調査結果

【表 11-4-1 対処方法別の年間泊数】

【就学前児童】

	(%)						
	1 ~ 2 泊	3 ~ 5 泊	6 ~ 1 0 泊	1 ~ 5 2 0 泊	2 ~ 1 5 3 0 泊	3 ~ 1 泊 以 上	不 明 ・ 無 回 答
①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (n=349)	37.2	28.4	17.8	5.7	2.0	4.6	4.3
②子育て支援短期利用事業（ショートステイ）を利用した (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
③認可外保育施設、ベビーシッターなどを利用した (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④仕方なく子どもを同行させた (n=100)	37.0	20.0	5.0	2.0	2.0	0.0	34.0
⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥その他 (n=11)	27.3	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	54.5

就学前児童の子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった年間日数について、『①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった』は「1～2泊」(37.2%)が最も多く、次いで「3～5泊」(28.4%)、「6～10泊」(17.8%)が続く。『④仕方なく子どもを同行させた』は「1～2泊」(37.0%)が最も多く、次いで「3～5泊」(20.0%)が続く。

【就学児童】

	(%)						
	1 ~ 2 泊	3 ~ 5 泊	6 ~ 1 0 泊	1 ~ 5 2 0 泊	2 ~ 1 5 3 0 泊	3 ~ 1 泊 以 上	不 明 ・ 無 回 答
①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (n=250)	42.0	24.8	11.6	2.8	0.4	2.4	16.0
②子育て支援短期利用事業（ショートステイ）を利用した (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
③家事育児代行サービスなどを利用した (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④仕方なく子どもを同行させた (n=33)	60.6	9.1	6.1	0.0	0.0	0.0	24.2
⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n=16)	56.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
⑥その他 (n=9)	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	55.6

就学児童の子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった年間日数について、『①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった』は「1～2泊」(42.0%)が最も多く、次いで「3～5泊」(24.8%)、「6～10泊」(11.6%)が続く。『④仕方なく子どもを同行させた』は「1～2泊」(60.6%)が最も多く、次いで「3～5泊」(9.1%)が続く。

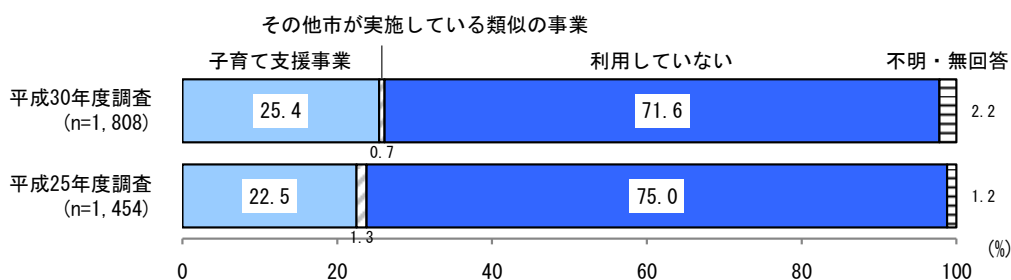
12 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 子育て支援事業の利用状況

[就学前児童…問34]

問 子育て支援事業についておうかがいします。現在、子育て支援事業を利用していますか。おおよその利用回数もお答えください。

【図 12-1 子育て支援事業の利用有無】

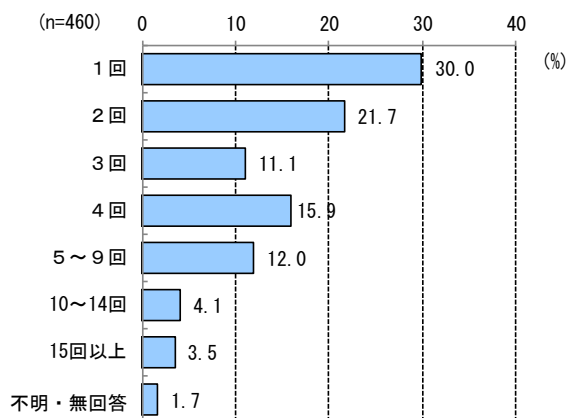


子育て支援事業の利用状況について、「子育て支援事業を利用している」は25.4%、「利用していない」は71.6%となっている。

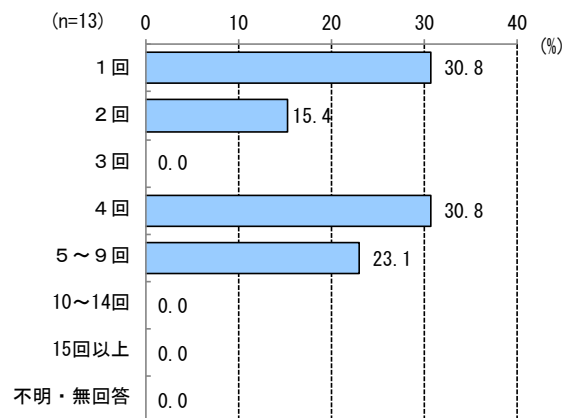
平成25年度調査と比べると、「利用していない」の割合は3.4ポイント低くなっている。

【図 12-1-1 子育て支援事業の1か月あたりの利用回数】

■ 子育て支援事業



■ その他、市が実施している類似の事業



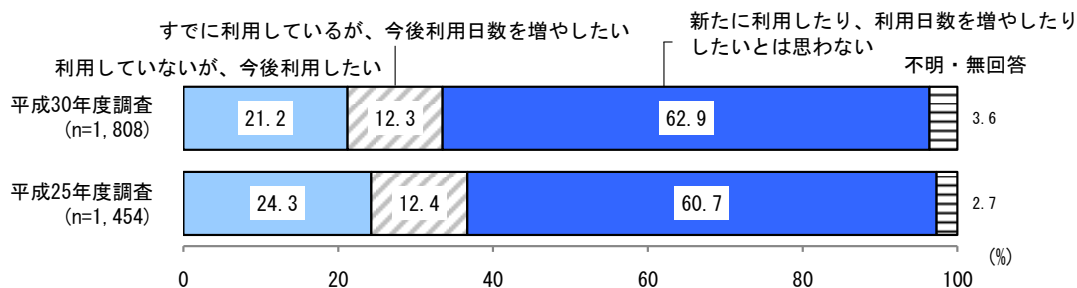
II. 調査結果

(2) 子育て支援事業の今後の利用意向

[就学前児童…問35]

問 子育て支援事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

【図 12-2 子育て支援事業の今後の利用意向】



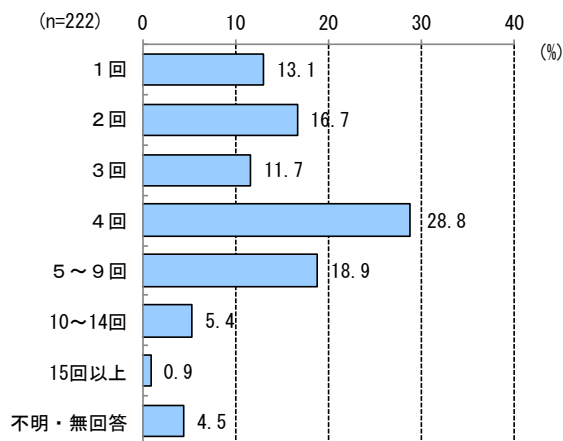
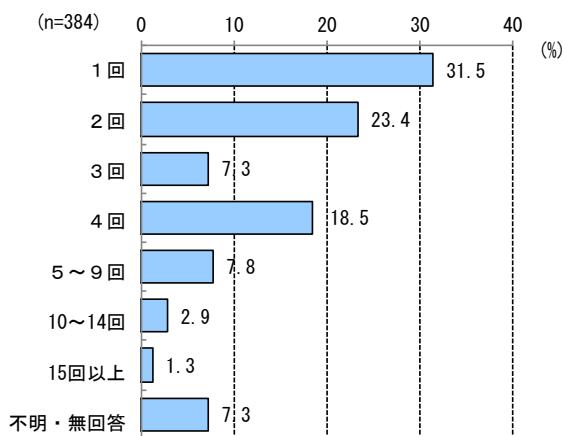
子育て支援事業の利用日数を増やしたいあるいは今後利用したいかについて、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」(62.9%)が最も多い。「利用していないが、今後利用したい」は21.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は12.3%となっている。

平成25年度調査と比べると、傾向は変わらない。

【図 12-2-1 今後利用したいまたは増やしたい1か月あたりの利用日数】

■ 利用していないが今後利用したい日数

■ すでに利用しているが今後増やしたい日数

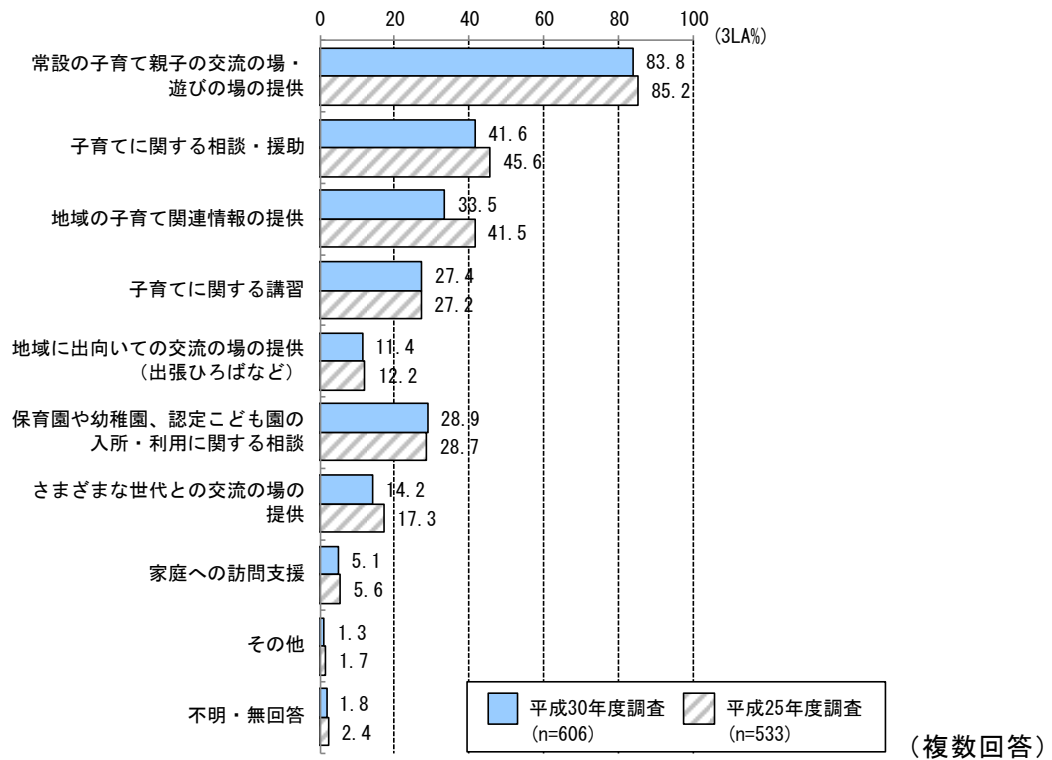


(3) 利用したい子育て支援事業のサービス

[就学前児童…問35-1]

問 子育て支援事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。

【図 12-3 利用したい子育て支援事業のサービス】



子育て支援事業を利用するにあたり、どのようなサービスを希望するかについて、「常設の子育て親子の交流の場、遊びの場の提供」(83.8%)が最も多く、次いで「子育てに関する相談・援助」(41.6%)、「地域の子育て関連情報の提供」(33.5%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「地域の子育て関連情報の提供」の割合が8.0ポイント低くなっている。

II. 調査結果

(4) 子育て支援事業の認知度・利用度・利用希望

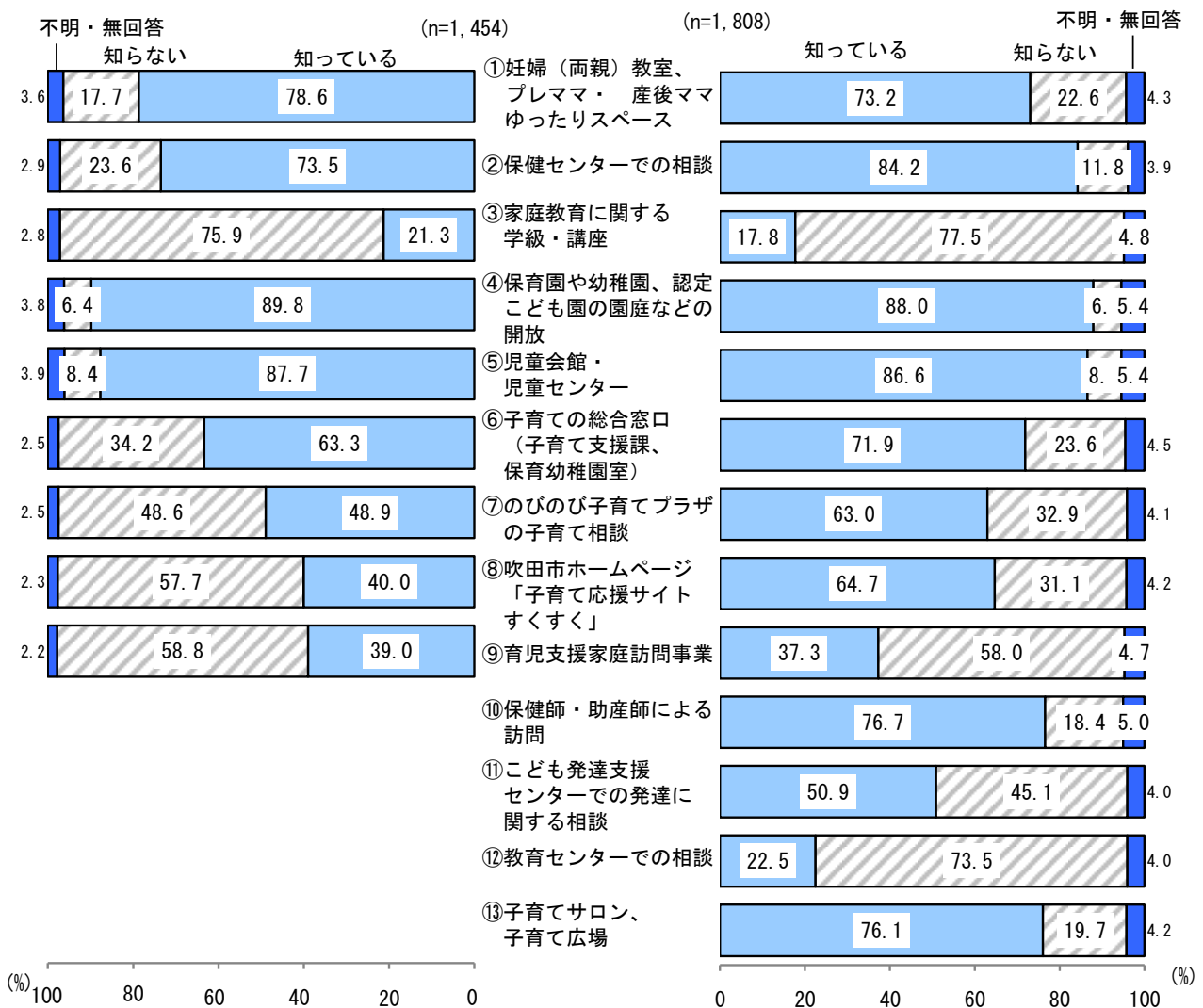
[就学前児童…問36]

問 子育て支援事業の認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものはありますか。(それぞれに○) また、「利用したことがある」の「いいえ」に○をつけた方は、その理由を枠内の選択肢の中から選び、「利用しない理由」に番号をご記入ください。(それぞれに番号は3つまで)

【図 12-4 子育て支援事業の認知度】

【平成 25 年度調査】

【平成 30 年度調査】

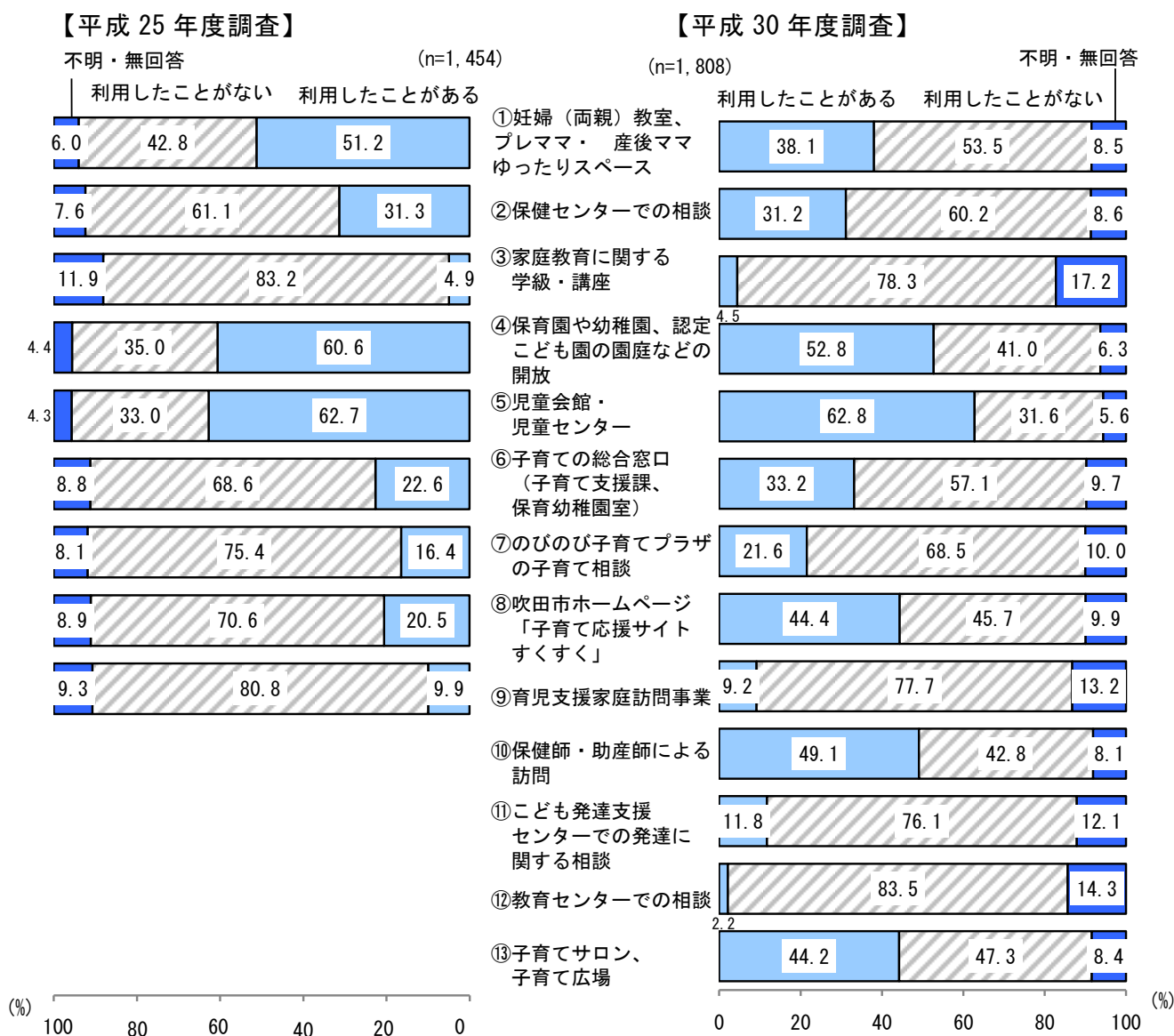


※⑩～⑬は今回新たに追加したサービスや事業

子育て支援事業の認知度について、認知度が高いのは「④保育園や幼稚園、認定こども園の園庭などの開放」(88.0%)、「⑤児童会館・児童センター」(86.6%)、「②保健センターでの相談」(84.2%)となっている。

平成 25 年度調査と比べると、「⑧吹田市ホームページ「子育て応援サイトすくすく」」の割合が 24.7 ポイント、「⑦のびのび子育てプラザの子育て相談」の割合が 14.1 ポイント、「②保健センターでの相談」の割合が 10.7 ポイント高くなっている。

【図 12-4-1 子育て支援事業の利用度】



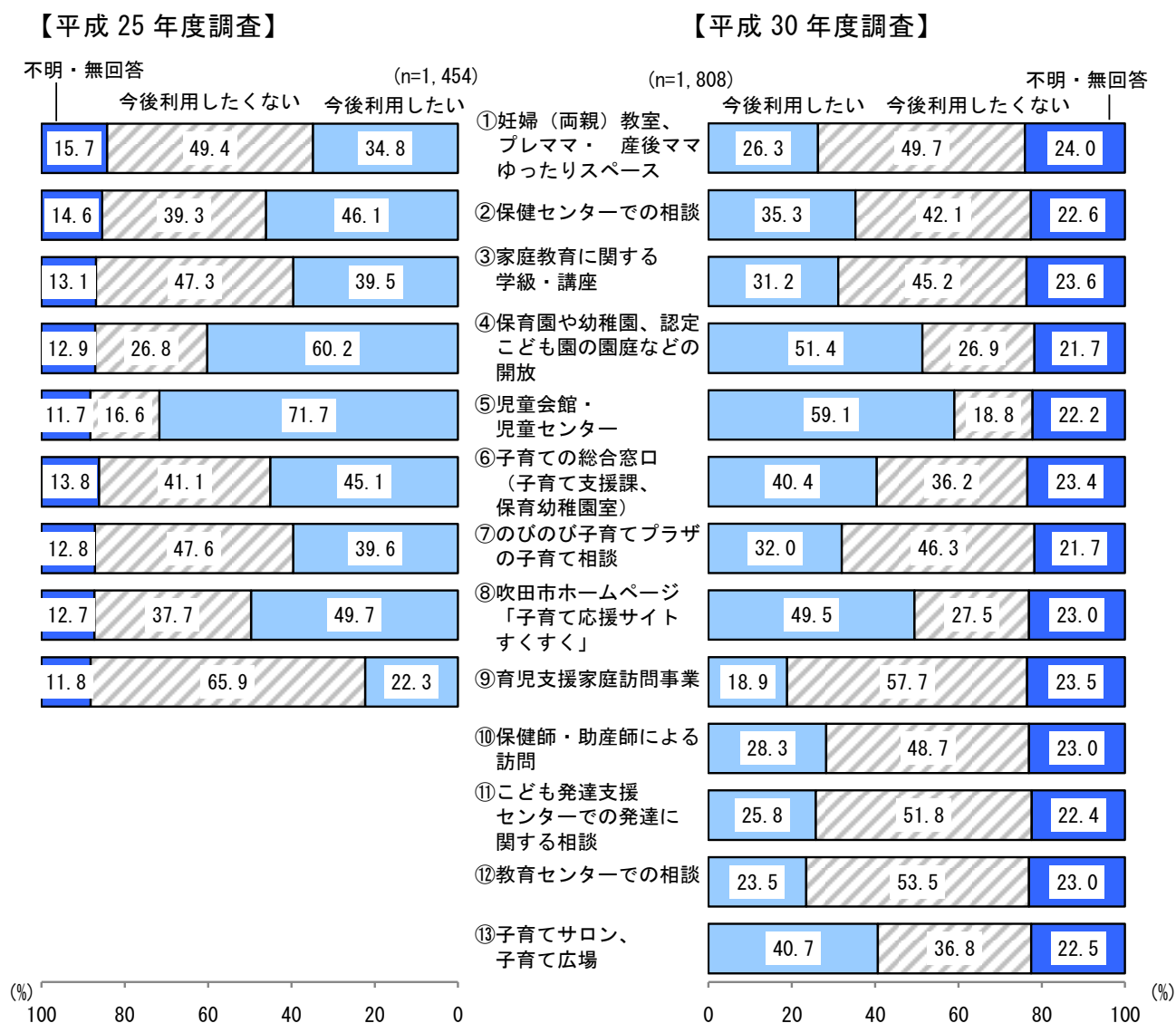
※⑩～⑬は今回新たに追加したサービスや事業

子育て支援事業の利用度について、利用度が高いのは「⑤児童会館・児童センター」(62.8%)、「④保育園や幼稚園、認定こども園の園庭などの開放」(52.8%)、「⑩保健師・助産師による訪問」(49.1%)、「⑧吹田市ホームページ『子育て応援サイトすくすく』」(44.4%)となっている。

平成 25 年度調査と比べると、「⑧吹田市ホームページ「子育て応援サイトすくすく」」の割合が 23.9 ポイント、「⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援課、保育幼稚園室）」の割合が 10.6 ポイント高くなっている。また「①妊婦（両親）教室、プレママ・産後ママゆったりスペース」の割合は 13.1 ポイント低くなっている。

II. 調査結果

【図 12-4-2 子育て支援事業の今後の利用意向】



子育て支援事業の今後の利用意向について、希望が多いのは「⑤児童会館・児童センター」（59.1%）、「④保育園や幼稚園、認定こども園の園庭などの開放」（51.4%）、「⑧吹田市ホームページ「子育て応援サイトすくすく」」（49.5%）となっている。

平成 25 年度調査と比べると、「⑤児童会館・児童センター」の割合が 12.6 ポイント、「②保健センターでの相談」の割合が 10.8 ポイント、「④保育園や幼稚園、認定こども園の園庭などの開放」の割合が 8.8 ポイント低くなっている。

【表 12-4-3 子育て支援事業を利用しない理由】

	悩んだり困っていることがない	サービスを受ける場所が遠い	利用料金がかかる	サービスの情報が来ない	サービスを受けると手続きなどがわからない、面倒だ	サービス内容に興味がなく、面白くない、役立たないなど	親せきや知人の援助は受けるが、行政のサービスは受けたくない	サービスの質に不安がある	時間がない	自身がサービスの対象者になるかどうかかわからない	なんとなく利用したくない	その他	不明・無回答
①妊婦（両親）教室、プレママ・産後ママゆったりスペース (n=967)	29.0	8.9	0.2	3.2	7.5	5.5	0.4	0.9	15.9	6.1	5.1	13.1	19.3
②保健センターでの相談 (n=1,089)	45.5	13.4	0.2	3.8	5.6	1.8	0.8	2.1	9.5	3.8	2.8	2.3	24.5
③家庭教育に関する学級・講座 (n=1,416)	27.7	3.4	0.3	15.6	8.1	4.3	0.6	0.8	9.2	6.0	3.8	3.7	30.8
④保育園や幼稚園、認定こども園の園庭などの開放 (n=741)	15.4	3.8	0.3	5.3	7.4	2.6	0.3	0.7	19.6	4.5	5.1	9.3	37.2
⑤児童会館・児童センター (n=571)	14.4	14.5	0.4	7.7	6.7	3.9	0.7	1.1	14.0	2.5	5.4	5.1	36.8
⑥子育ての総合窓口 (子育て支援課、保育幼稚園室) (n=1,033)	32.9	9.3	0.1	7.8	7.6	1.9	0.7	2.3	7.7	3.8	4.5	3.1	32.1
⑦のびのび子育てプラザの子育て相談 (n=1,238)	31.8	20.4	0.2	6.5	6.4	1.9	0.3	2.3	8.8	3.8	3.3	3.4	26.2
⑧吹田市ホームページ 「子育て応援サイトすくすく」 (n=827)	26.6	2.2	0.2	8.9	7.6	6.0	0.5	1.5	9.6	3.0	3.9	4.1	36.4
⑨育児支援家庭訪問事業 (n=1,404)	41.7	1.1	0.2	7.3	6.3	2.6	1.0	1.9	6.3	9.8	5.3	3.3	23.4
⑩保健師・助産師による訪問 (n=774)	42.1	1.2	0.1	5.7	5.0	3.1	1.2	2.2	6.8	6.1	6.2	6.5	23.5
⑪子ども発達支援センターでの発達に関する相談 (n=1,376)	49.3	2.2	0.1	5.1	4.7	1.5	0.4	0.8	4.9	10.2	2.7	3.1	24.6
⑫教育センターでの相談 (n=1,509)	39.0	2.8	0.1	10.9	6.1	2.2	0.5	1.3	5.6	8.0	3.6	2.8	28.0
⑬子育てサロン、子育て広場 (n=856)	28.3	6.1	0.5	7.9	7.7	4.4	0.5	1.2	13.4	3.9	7.1	3.7	29.1

(複数回答)

子育て支援事業を利用しない理由について、「悩んだり困っていることがない」が一番多い理由になっている。次いで「サービスを受ける場所が遠い」「サービスの情報が来ない」「時間がない」が多くなっている。

13 子どもの生活習慣や普段の過ごし方

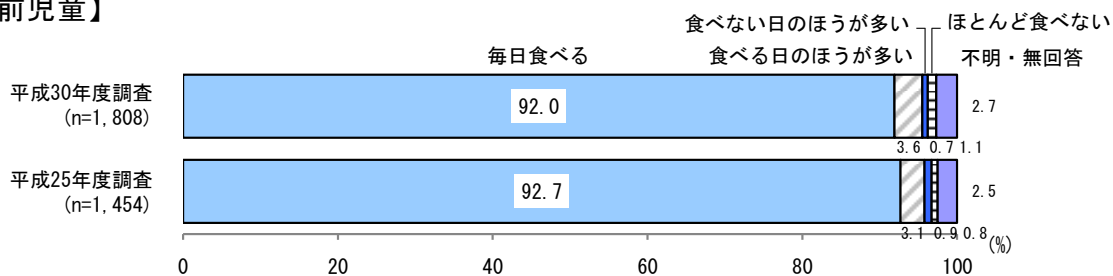
(1) 子どもの朝食習慣

[就学前児童…問38 (1)、就学児童…問26 (1)]

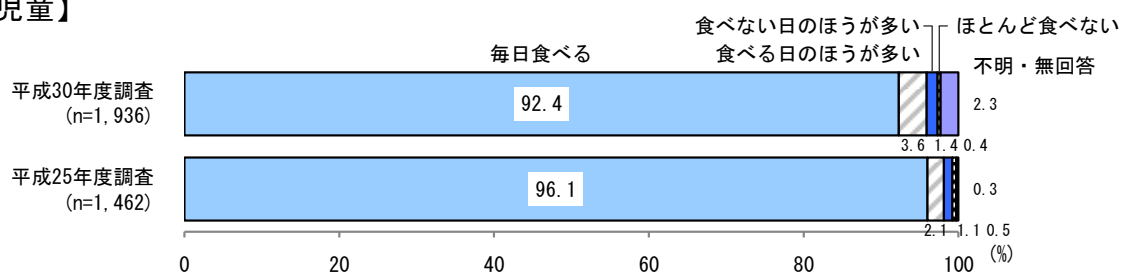
問 朝ごはんを食べますか。

【図 13-1 朝食習慣】

【就学前児童】



【就学児童】



「毎日食べる」(就学前児童：92.0%、就学児童：92.4%)が最も多い。

平成25年度調査と比べると、就学児童は「毎日食べる」割合が3.7ポイント低くなっている。

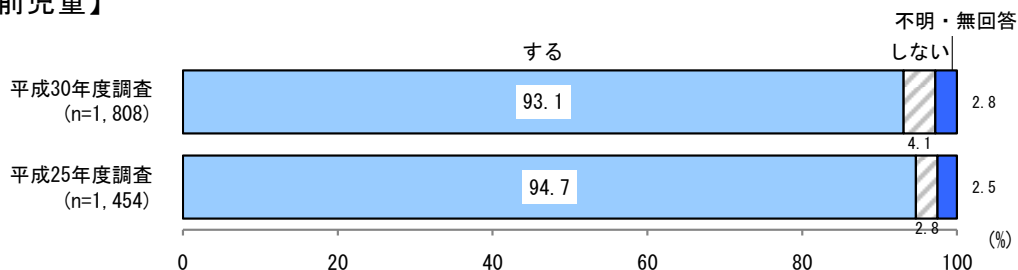
(2) 1日1回以上の家族との共食の有無

[就学前児童…問38(2)、就学児童…問26(2)]

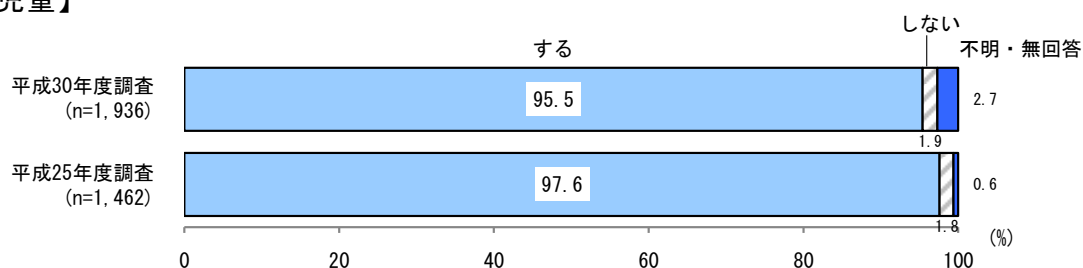
問 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

【図 13-2 1日1回以上の家族との共食の有無】

【就学前児童】



【就学児童】



1日1回は家族と一緒に食事をすることについて、「する」は就学前児童が93.1%、就学児童が95.5%となっている。

平成25年度調査と比べると、「する」の就学前児童の割合は1.6ポイント、就学児童は2.1ポイント低くなっている。

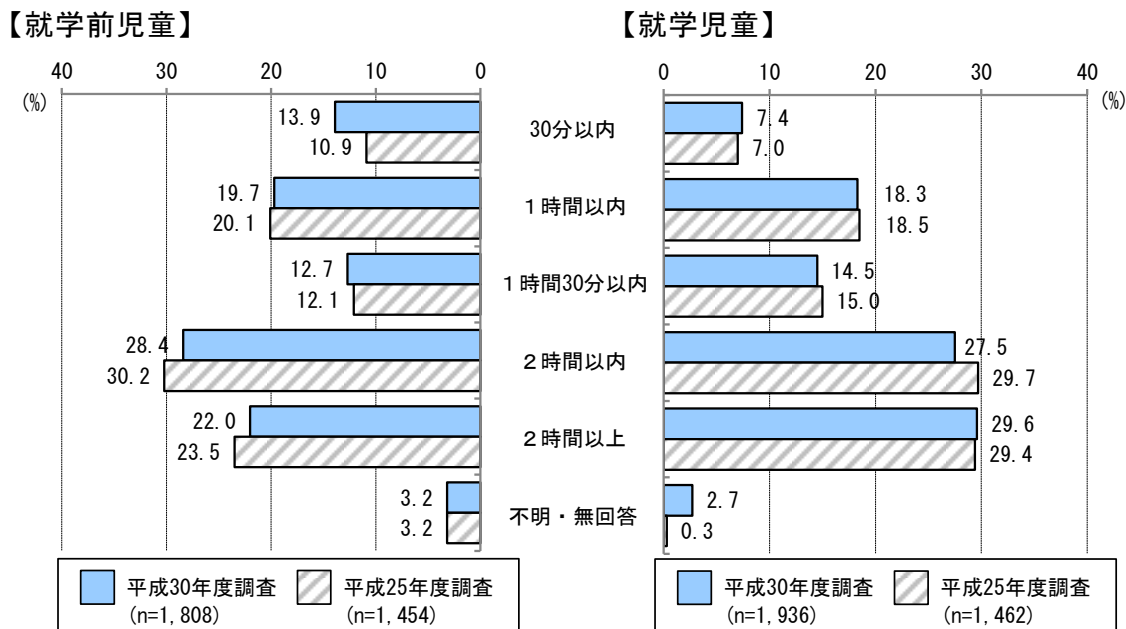
II. 調査結果

(3) 平日のテレビやビデオの1日あたりの平均視聴時間

[就学前児童…問38(3)、就学児童…問26(3)]

問 平日のテレビ・ビデオ(ゲームを含む)の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

【図 13-3 平日のテレビ・ビデオの1日あたりの視聴時間】



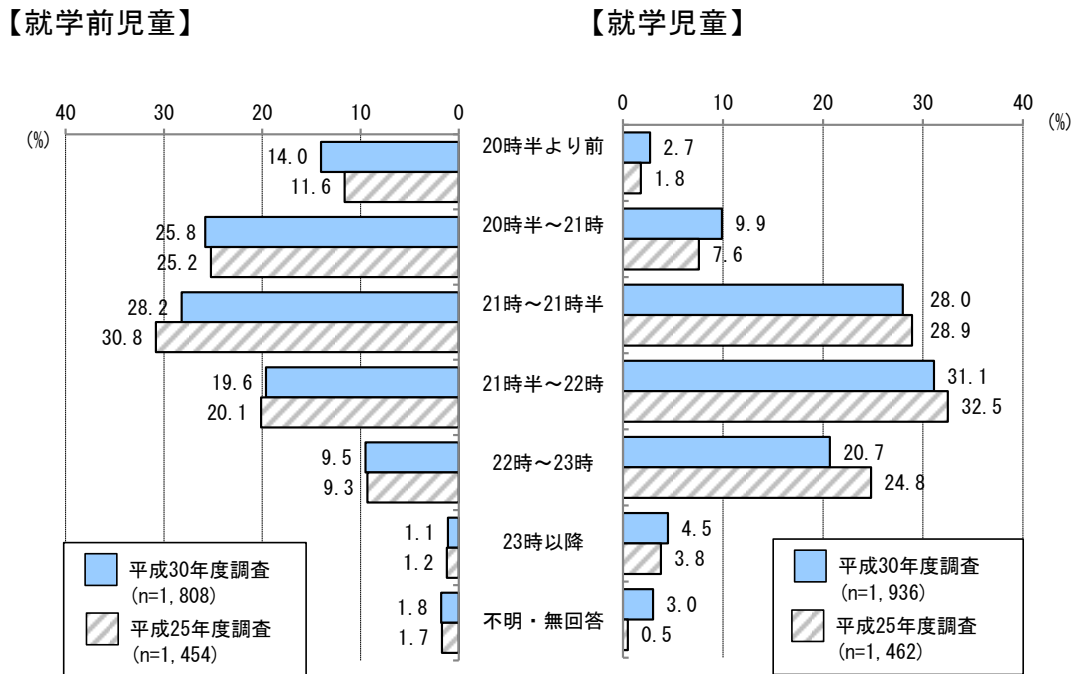
平日のテレビ・ビデオ(ゲームを含む)の1日の平均視聴時間について、就学前児童は「2時間以内」(28.4%)が最も多く、次いで「2時間以上」(22.0%)が続く。就学児童は「2時間以上」(29.6%)が最も多く、次いで「2時間以内」(27.5%)が続く。平成25年度調査と比べると、大きく傾向は変わらない。

(4) 就寝時間

[就学前児童…問38(4)、就学児童…問26(4)]

問 就寝時刻は何時ですか。

【図 13-4 就寝時間】



就寝時刻について、就学前児童は「21時～21時半」が28.2%で最も多く、次いで「20時半～21時」が25.8%、「21時半～22時」が19.6%となっている。就学児童は「21時半～22時」が31.1%で最も多く、次いで「21時～21時半」が28.0%、「22時～23時」が20.7%となっている。

平成25年度調査と比べると、就学前児童は21時までに就寝している人の割合が3.0ポイント高くなっている。就学児童は22時以降に就寝している人の割合が3.4ポイント低くなっている。

II. 調査結果

(5) 子どもの普段の過ごし方【就学児童】

【就学児童…問27】

問 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとにお答えください。

【表 13-5 子どもの普段の過ごし方】

【平成 30 年度調査 n=1,936】

	授業などで学校にいる	留守家庭児童育成室で過ごす	放課後等デイサービスを利用する	太陽の広場(こどもプラザ事業)に参加する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事育児代行サービスなどを利用する	家や公園などで友達と過ごす	児童会館・児童センターなど公共の施設にいる	地域活動・スポーツ活動(子ども会活動)	学習塾や習い事へ行く	家で、ひとりで勉強などをする	その他	不明・無回答
平日14～16時	65.7	10.9	0.6	2.0	4.7	0.0	5.3	0.2	0.0	1.8	2.3	0.6	6.0
平日16～18時	0.8	12.4	1.1	0.6	14.6	0.0	27.1	0.8	0.7	27.5	6.7	2.0	5.5
平日18～20時	0.0	0.1	0.1	0.0	66.6	0.1	0.7	0.0	0.1	17.1	6.1	2.1	7.0
平日20時以降	0.0	0.1	0.0	0.0	82.9	0.1	0.4	0.0	0.0	2.5	3.2	3.9	7.1
休日	0.1	0.1	0.2	0.0	71.2	0.2	6.7	0.4	3.3	5.9	1.2	3.0	7.7

【平成 25 年度調査 n=1,462】

	授業などで学校にいる	留守家庭児童育成室で過ごす	放課後等デイサービスを利用する	太陽の広場(こどもプラザ事業)に参加する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事育児代行サービスなどを利用する	家や公園などで友達と過ごす	児童会館・児童センターなど公共の施設にいる	地域活動・スポーツ活動(子ども会活動)	学習塾や習い事へ行く	家で、ひとりで勉強などをする	その他	不明・無回答
平日14～16時	70.2	7.7	—	1.6	2.7	0.0	8.3	0.1	0.0	1.2	2.3	1.3	4.7
平日16～18時	0.8	9.0	—	1.1	12.2	0.2	35.1	0.8	1.2	26.2	6.1	4.7	2.7
平日18～20時	0.1	0.1	—	0.1	65.7	0.1	0.2	0.0	0.4	15.9	8.8	3.4	5.3
平日20時以降	0.0	0.0	—	0.1	82.5	0.0	0.3	0.0	0.1	2.2	4.5	3.9	6.5
休日	0.1	0.0	—	0.1	68.5	0.1	7.5	0.6	4.6	5.7	1.6	5.1	6.0

※「放課後等デイサービスを利用する」は今回あらたに追加した選択肢

平日の放課後および休日の就学児童の子どもの普段の過ごした方について、『平日 14～16 時』は「授業などで学校にいる」(65.7%) が最も多く、次いで「留守家庭児童育成室で過ごす」(10.9%) が続く。『平日 16～18 時』は「学習塾や習い事へ行く」(27.5%) が最も多く、次いで「家や公園などで友達と過ごす」(27.1%) が続く。『平日 18～20 時』『平日 20 時以降』『休日』は「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」(『平日 18～20 時』:66.6%、『平日 20 時以降』:82.9%、『休日』:71.2%) が続く。

平成 25 年度調査と比べると、「学習塾や習い事へ行く」の割合がすべての時間帯で高くなっている。また「留守家庭児童育成室で過ごす」の割合も『平日 18～20 時』を除いたすべての時間帯で高くなっている。

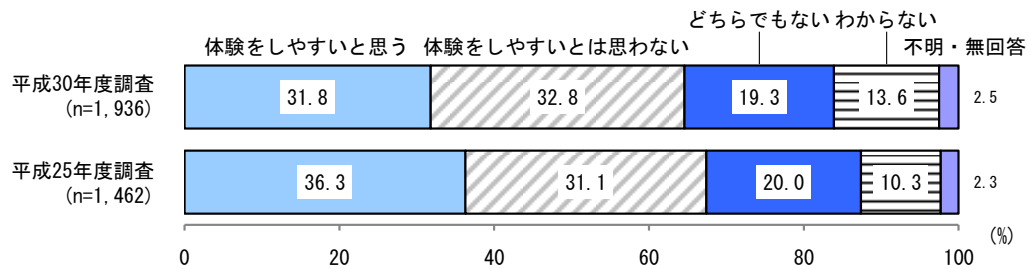
14 地域での自然体験などへの参加について

(1) 子どもにとって自然、社会、文化など体験しやすい環境か

[就学児童…問28]

問 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。(1つに○)

【図 14-1 自然体験などしやすい環境か】



住んでいる地域が、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であるかについて、「体験をしやすいと思う」が 31.8%、「体験をしやすいとは思わない」が 32.8%、「どちらでもない」が 19.3%となっている。

平成 25 年度調査と比べると、「体験をしやすいと思う」の割合が 4.5 ポイント低くなっている。

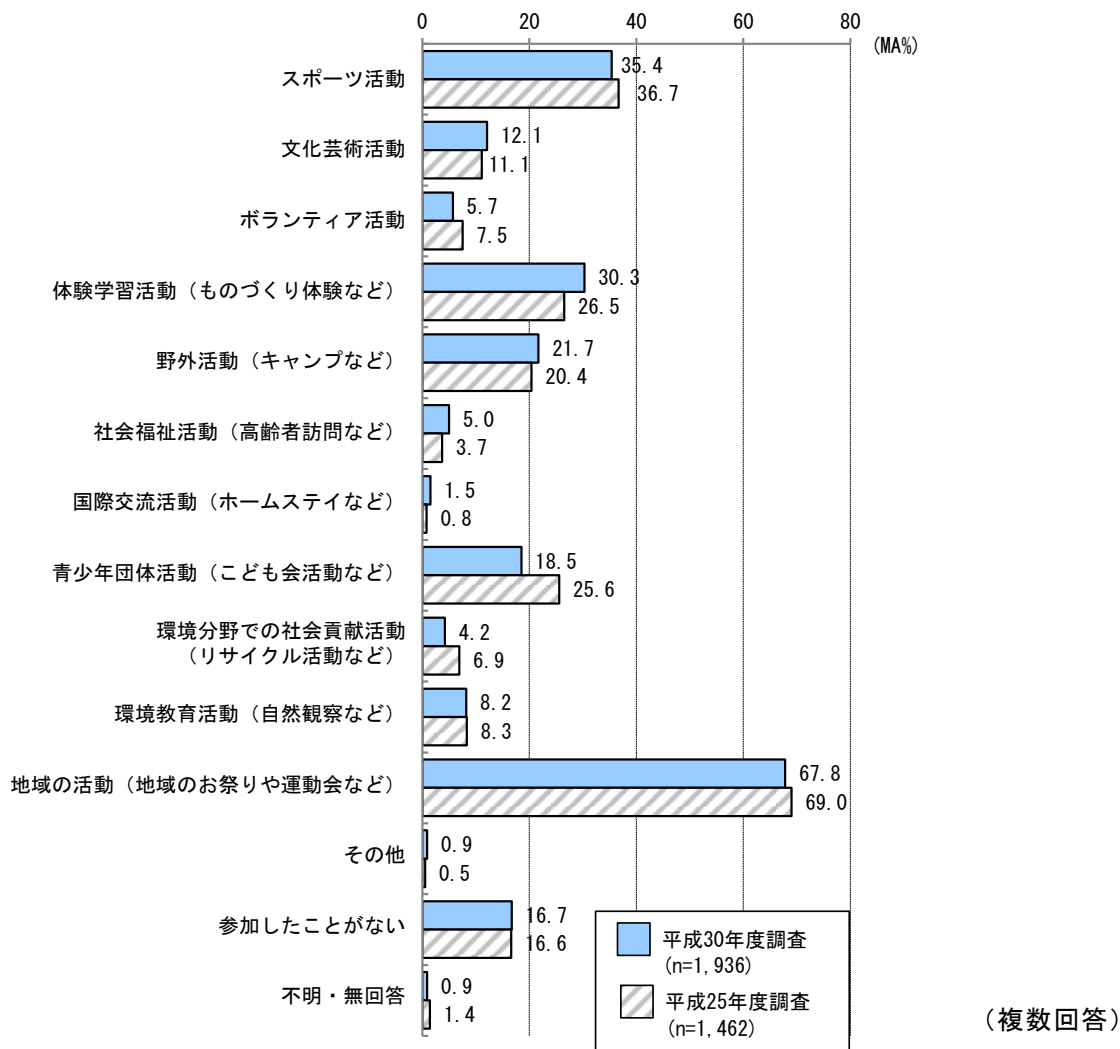
II. 調査結果

(2) 参加経験のある地域活動

[就学児童…問29]

問 お子さんが参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。
(すべてに○)

【図 14-2 参加経験のある地域活動】



参加したことがある地域活動について、「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」（67.8%）が最も多く、次いで「スポーツ活動」（35.4%）、「体験学習活動（ものづくり体験など）」（30.3%）が続く。

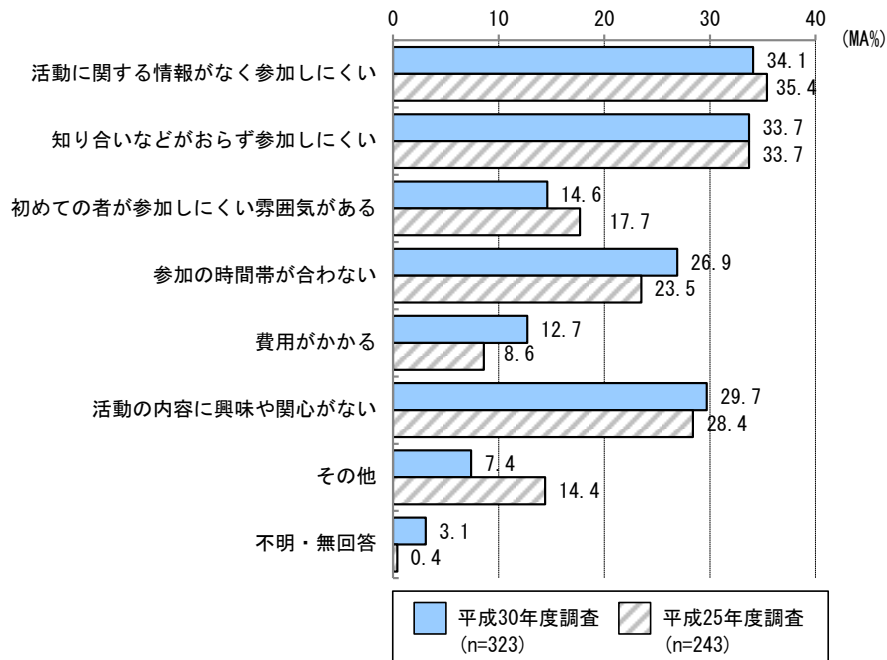
平成25年度調査と比べると、「青少年団体活動（こども会活動など）」の割合が7.1ポイント低くなっている。

(3) 子どもが地域活動に参加していない理由

[就学児童…問29-1]

問 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。(すべてに○)

【図 14-3 地域活動に参加していない理由】



(複数回答)

地域活動に参加していない理由について、「活動に関する情報なくが参加しにくい」(34.1%)が最も多く、次いで「知り合いなどがおらず参加しにくい」(33.7%)、「活動の内容に興味や関心がない」(29.7%)と続く。

平成25年度調査と比べると、「費用がかかる」の割合が4.1ポイント、「参加の時間帯が合わない」の割合が3.4ポイント高くなっている。

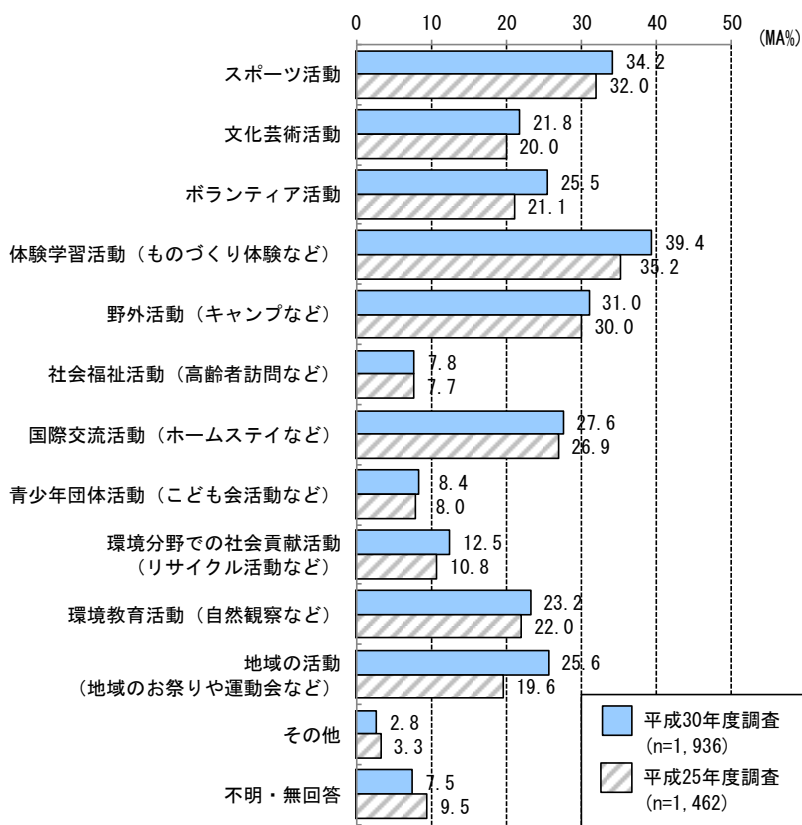
II. 調査結果

(4) 子どもに今後参加させたい地域活動

[就学児童…問30]

問 お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。(すべてに○)

【図 14-4 子どもに今後参加させたい地域活動】



(複数回答)

今後参加させたい地域活動について、「体験学習活動 (ものづくり体験など)」(39.4%)が最も多く、次いで「スポーツ活動」(34.2%)、「野外活動 (キャンプなど)」(31.0%)が続く。

平成 25 年度調査と比べると、「地域の活動 (地域のお祭りや運動会など)」の割合が 6.0 ポイント、「体験学習活動 (ものづくり体験など)」の割合が 4.2 ポイント高くなっている。

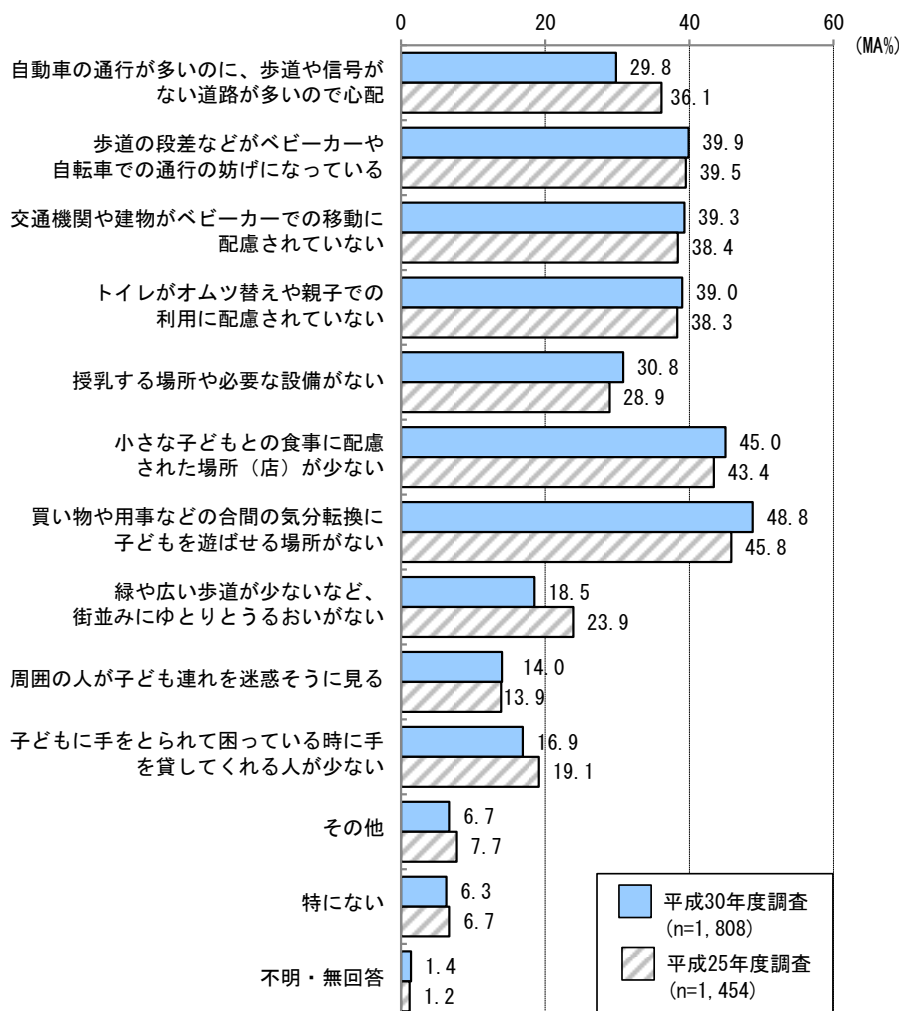
15 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全確保について

(1) 子どもと外出するときに困ること【就学前児童】

[就学前児童…問39]

問 お子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。(すべてに○)

【図 15-1 子どもとの外出時に困ること】



(複数回答)

子どもとの外出時に困ることについて、「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」(48.8%)が最も多く、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所(店)が少ない」(45.0%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「自動車の通行が多いのに、歩道や信号がない道路が多いので心配」の割合が6.3ポイント、「緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりとuringおいがない」の割合が5.4ポイント低くなっている。

II. 調査結果

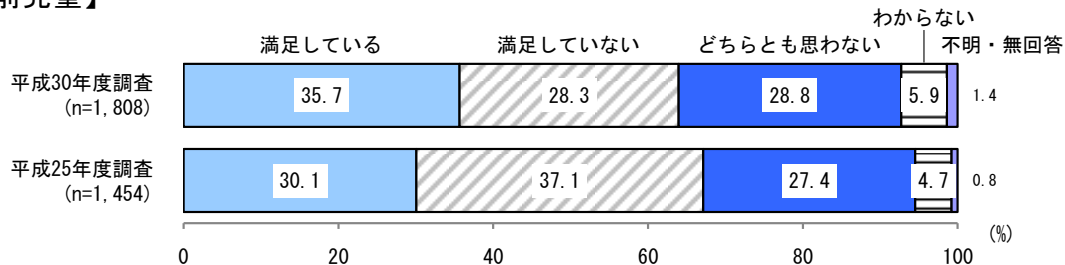
(2) 子どもの遊び場の満足度

[就学前児童…問40、就学児童…問31]

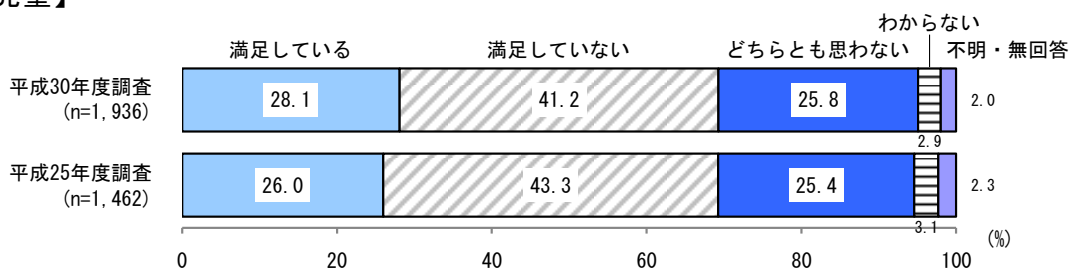
問 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(1つに○)

【図 15-2 子どもの遊び場の満足度】

【就学前児童】



【就学児童】



子どもの遊び場に関する満足度について、就学前児童は「満足している」が35.7%、「満足していない」が28.3%、「どちらとも思わない」が28.8%となっている。就学児童は「満足している」が28.1%、「満足していない」が41.2%、「どちらとも思わない」が25.8%となっている。

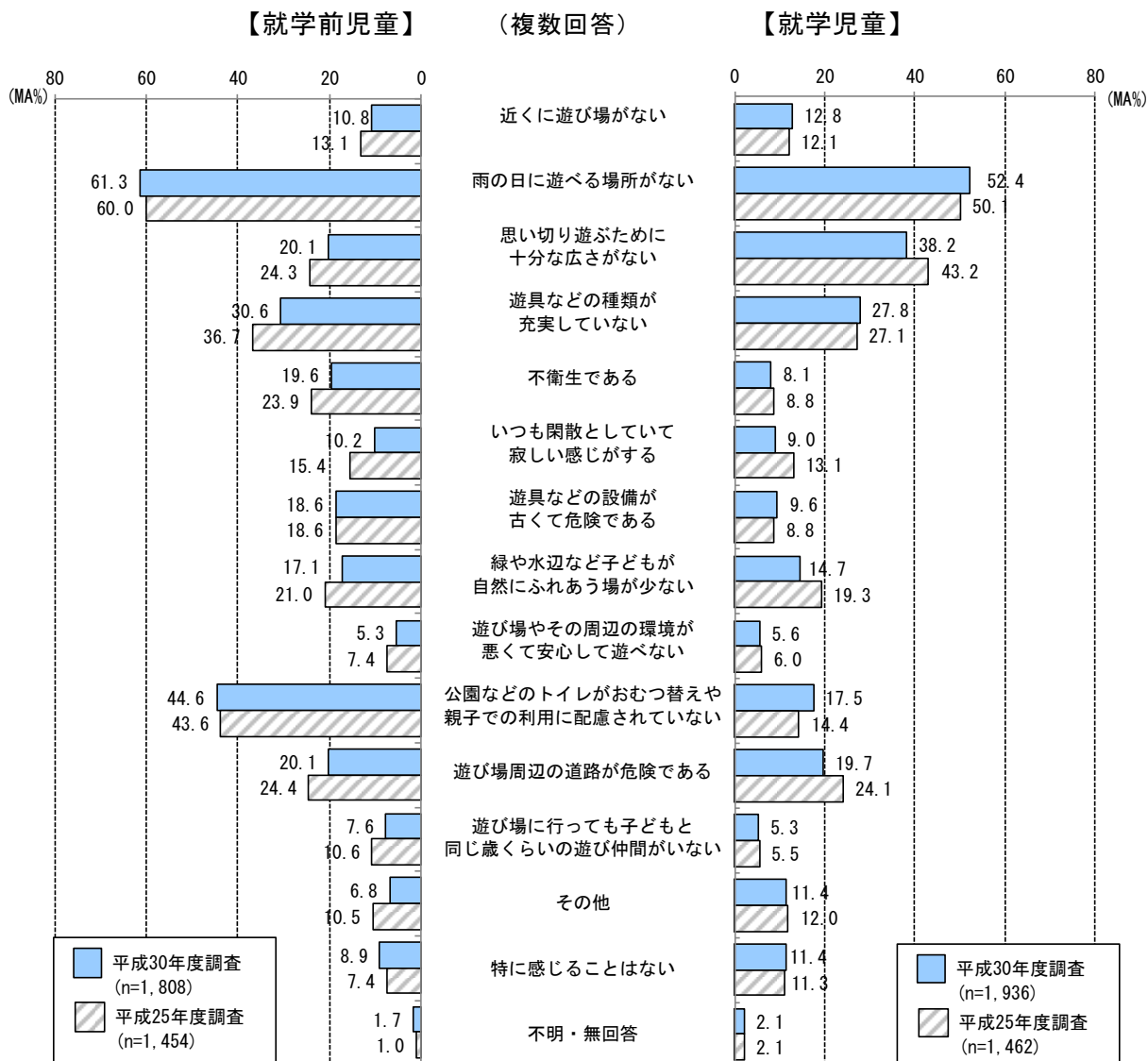
平成25年度調査と比べると、「満足している」の割合が就学前児童は5.6ポイント、就学児童が2.1ポイント高くなっている。

(3) 子どもの遊び場について日ごろ感じること

[就学前児童…問41、就学児童…問32]

問 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。
(すべてに○)

【図 15-3 子どもの遊び場について日ごろ感じること】



地域の子どもの遊び場に関して感じることに、就学前児童、就学児童とも「雨の日に遊べる場所がない」が過半数を占め、最も多い。次いで就学前児童は「公園などのトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」(44.6%)、就学児童は「思い切り遊ぶために十分な広さがない」(38.2%)が続く。

平成25年度調査と比べると、就学前児童は「遊具などの種類が充実していない」の割合が6.1ポイント、就学児童は「思いっきり遊ぶために十分な広さがない」の割合が5.0ポイント低くなっている。

II. 調査結果

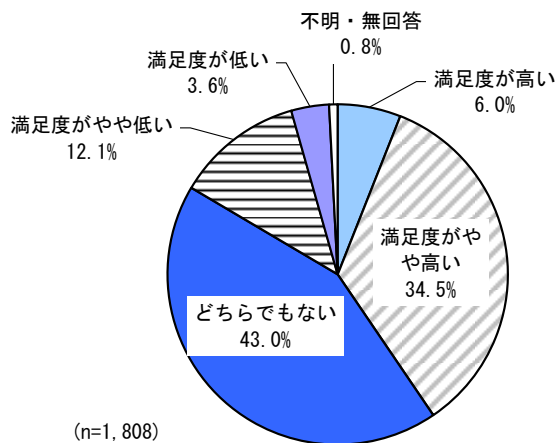
(4) 吹田市における子育て環境や子育て支援への満足度

[就学前児童…問42、就学児童…問33]

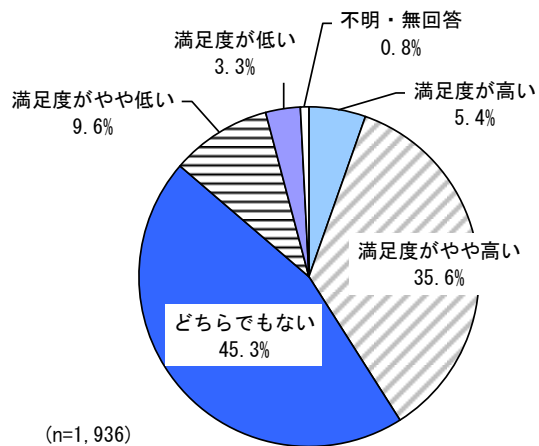
問 吹田市における子育て環境や子育て支援への満足度についておうかがいします。
(1つに○)

【図 15-4 子育て環境や子育て支援への満足度】

【就学前児童】



【就学児童】



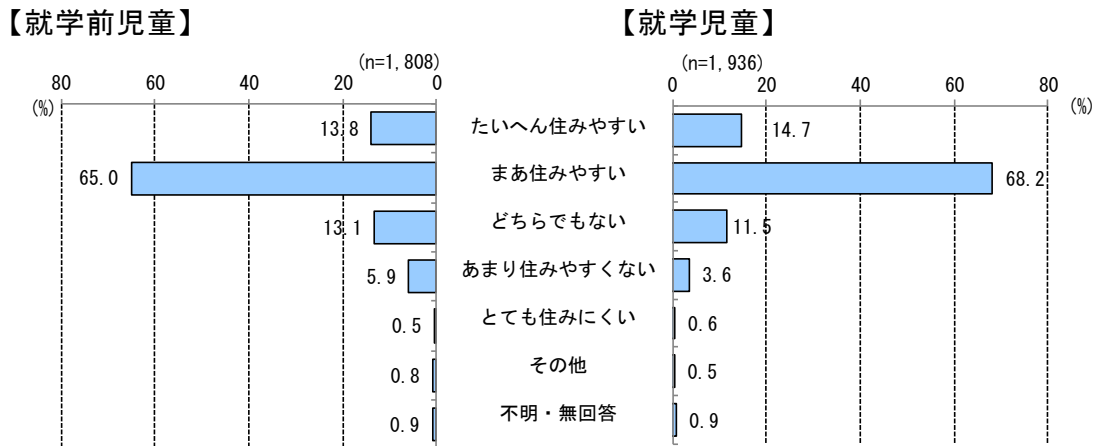
吹田市の子育て環境や子育て支援への満足度について、就学前児童、就学児童とも「どちらでもない」が4割台で最も多い。次いで「満足度がやや高い」が、就学前児童が34.5%、就学児童が35.6%となっている。

(5) 吹田市（家庭・地域・学校など）は子どもにとって住みやすいか

[就学前児童…問43、就学児童…問34]

問 吹田市（家庭・地域・学校など）は子どもにとって住みやすいと感じますか。
（1つに○）

【図 15-5 子どもにとっての住みやすさ】



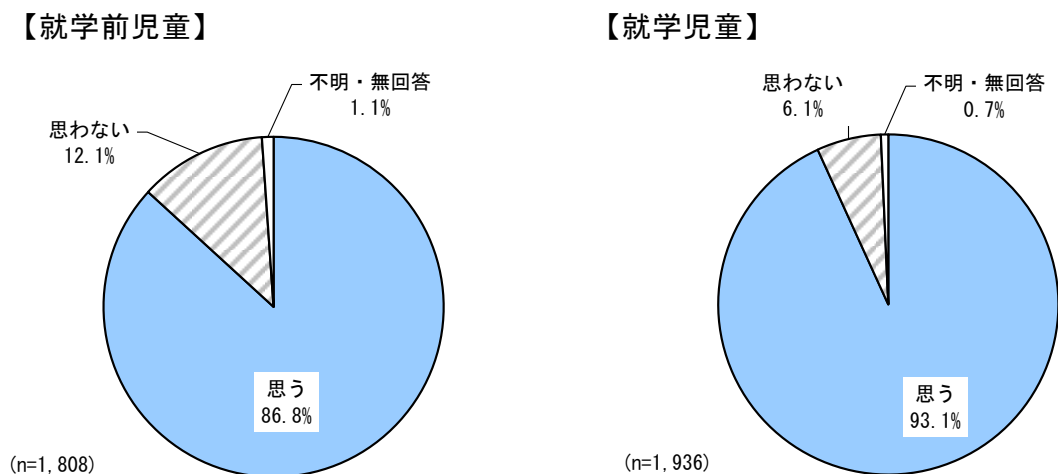
吹田市（家庭・地域・学校など）は子どもにとって住みやすいと感じるかについて、就学前児童、就学児童ともに、「まあ住みやすい」が6割台で最も多く、次いで「たいへん住みやすい」（就学前児童：13.8%、就学児童：14.7%）が続く。

(6) 今後も吹田市で子育てをしたいか

[就学前児童…問44、就学児童…問35]

問 今後も吹田市で子どもを育てたいと思いますか。（1つに○）

【図 15-6 今後の吹田市での子育て意向】



今後も吹田市で子育てしたいかどうかについて、「思う」が、就学前児童が86.8%、就学児童が93.1%となっている。

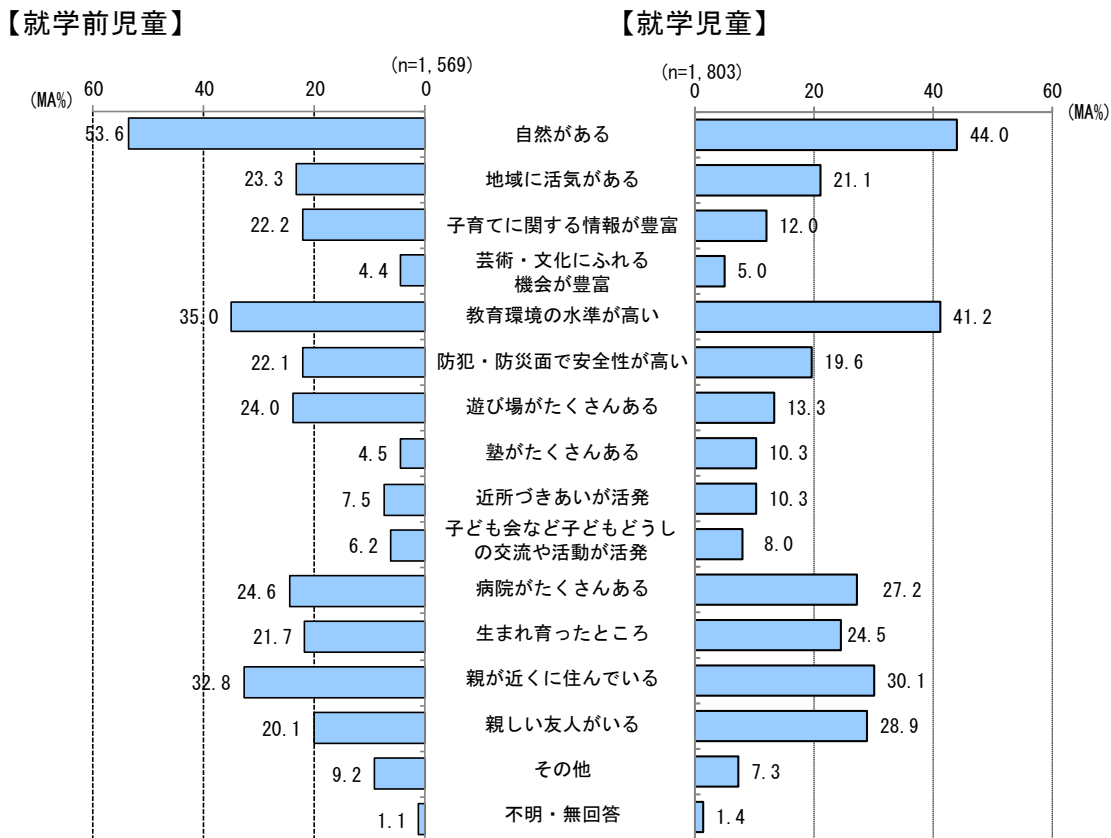
II. 調査結果

(7) 吹田市で育てたい理由

[就学前児童…問44-1、就学児童…問35-1]

問 吹田市で育てたいと思う理由は何ですか。(すべてに○)

【図 15-7 吹田市で育てたい理由】



(複数回答)

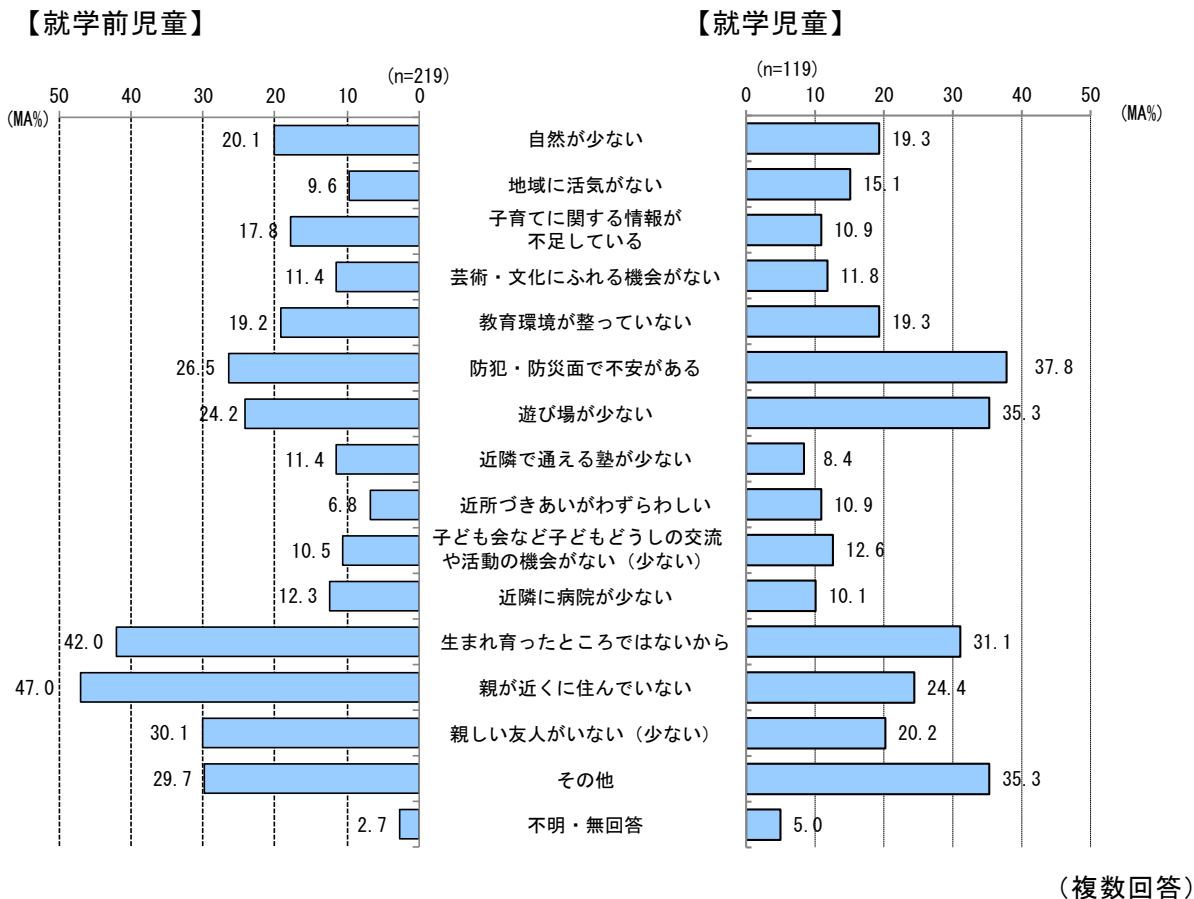
吹田市で子育てしたい理由について、「自然がある」(就学前児童：53.6%、就学児童：44.0%)が最も多い。次いで「教育環境の水準が高い」(就学前児童：35.0%、就学児童：41.2%)、「親が近くに住んでいる」(就学前児童：32.8%、就学児童：30.1%)が続く。

(8) 吹田市で育てたいと思わない理由

[就学前児童…問44-2、就学児童…問35-2]

問 吹田市で育てたいと思わない理由は何ですか。(すべてに○)

【図 15-8 吹田市で育てたいと思わない理由】



吹田市で子育てしたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねたところ、就学前児童は「親が近くに住んでいない」(47.0%)が最も多く、次いで「生まれ育ったところではないから」(42.0%)が続く。就学児童は「防犯、防災面で不安がある」(37.8%)が最も多く、次いで「遊び場が少ない」(35.3%)が続く。

16 子育てに対する意識

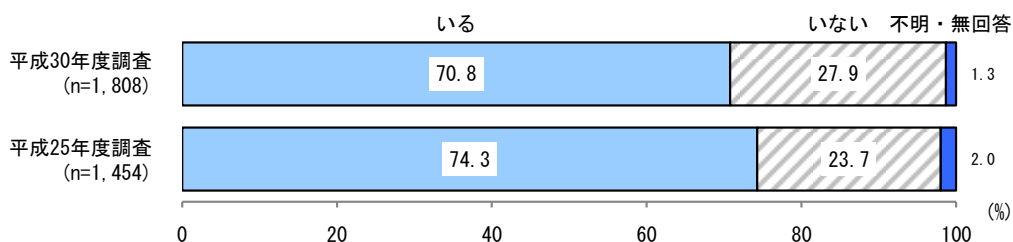
(1) 近所に日常的に子どもの話や世間話をする人がいるか

[就学前児童…問45、就学児童…問36]

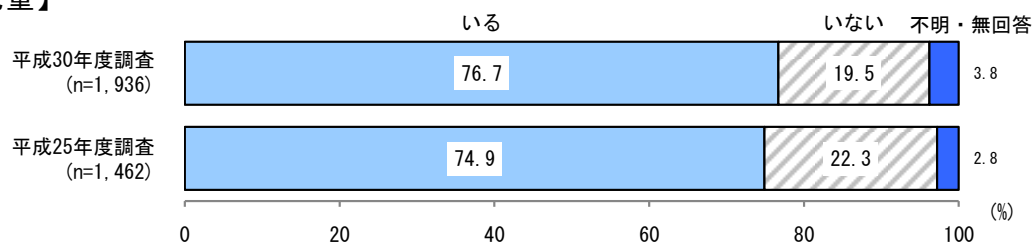
問 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

【図 16-1 近所で日常的に子どもの話や世間話をする相手の有無】

【就学前児童】



【就学児童】



近所に日常的に子どもの話や世間話をする人の有無について、「いる」は就学前児童が70.8%、就学児童が76.7%となっている。「いない」は就学前児童が27.9%、就学児童が19.5%となっている。

平成25年度調査と比べると、就学前児童は「いる」の割合が3.5ポイント低くなっている。

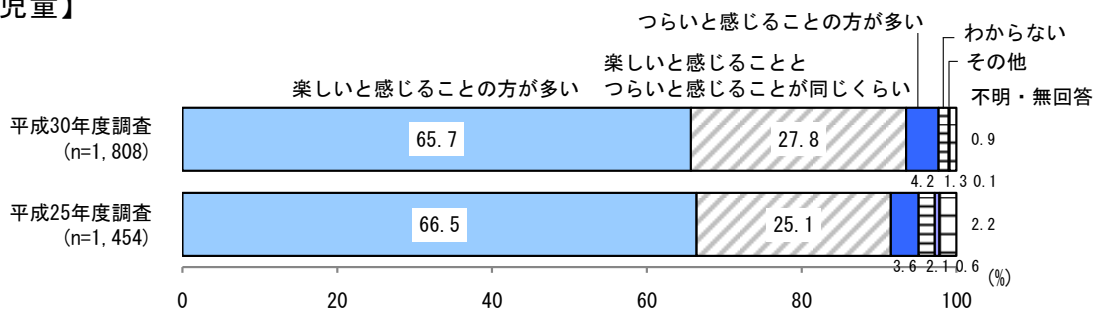
(2) 自身の子育てに感じること

[就学前児童…問46、就学児童…問37]

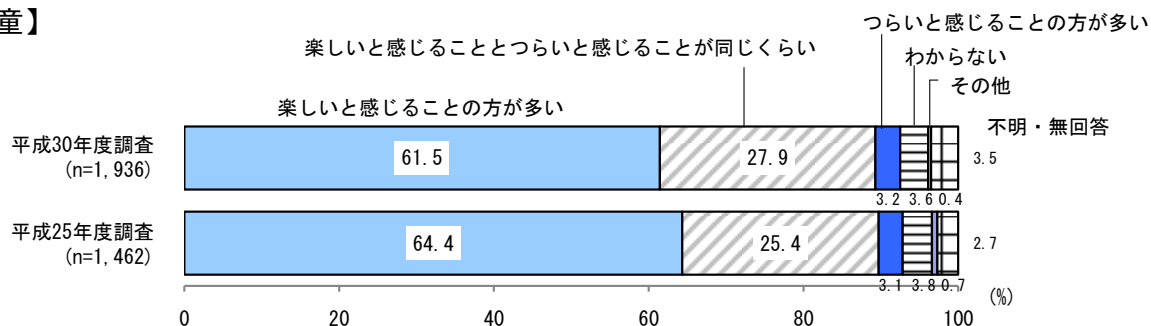
問 ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。(1つに○)

【図 16-2 自身の子育てに感じること】

【就学前児童】



【就学児童】



子育ては楽しいと感じることが多いか、つらいと感じることが多いかについて、就学前児童、就学児童ともに「楽しいと感じることが多い」が6割台で最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」(就学前児童：27.8%、就学児童：27.9%)が続く。

平成25年度調査と比べると、就学児童は「楽しいと感じることが多い」割合が2.9ポイント低くなっている。

II. 調査結果

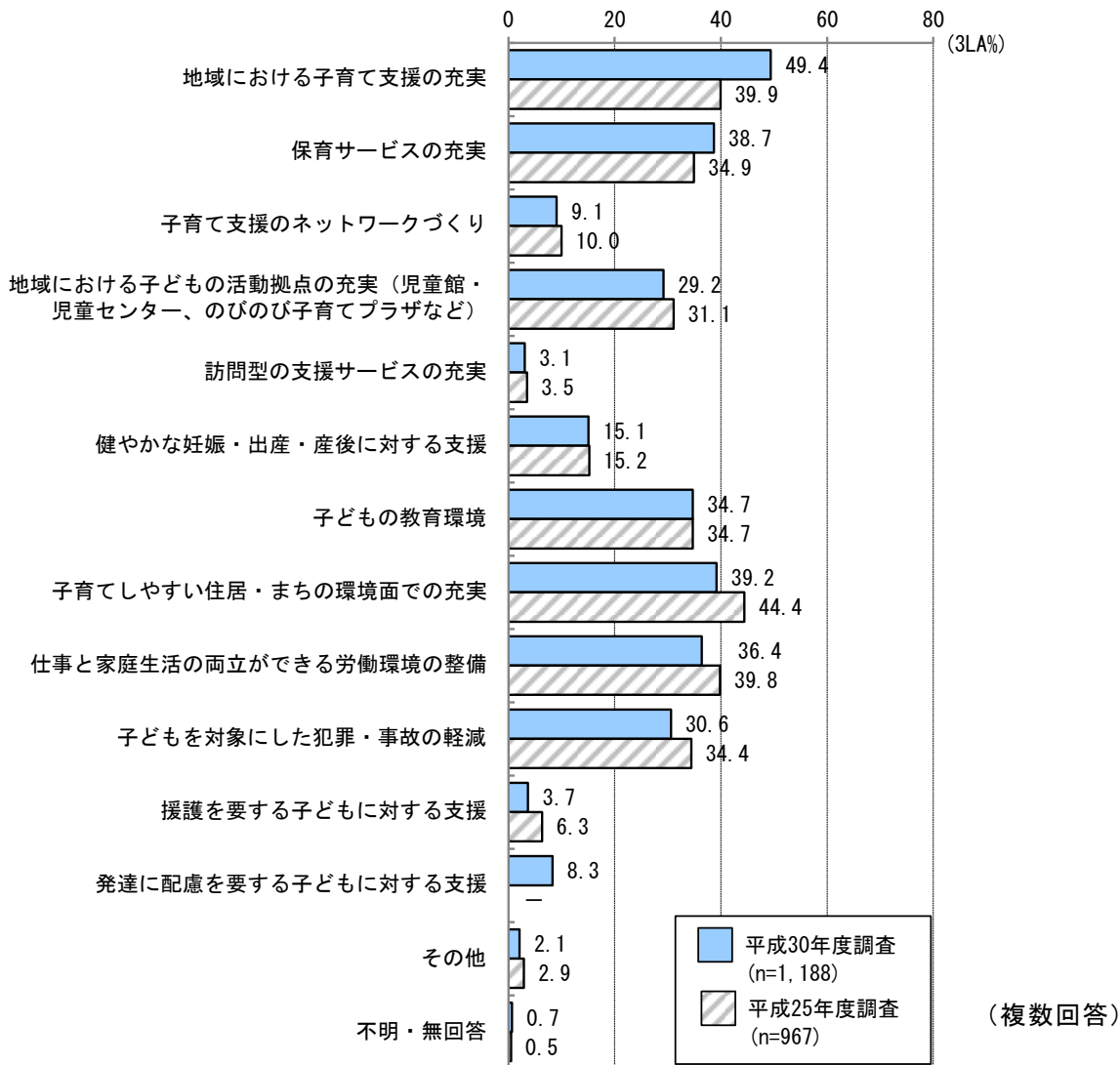
(3) 有効と感じる子育ての支援・対策（子育てを楽しんでいる人）

[就学前児童…問46-1、就学児童…問37-1]

問 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。（3つまで○）

【図 16-3 有効と感じる子育ての支援・対策（就学前児童）】

【就学前児童】



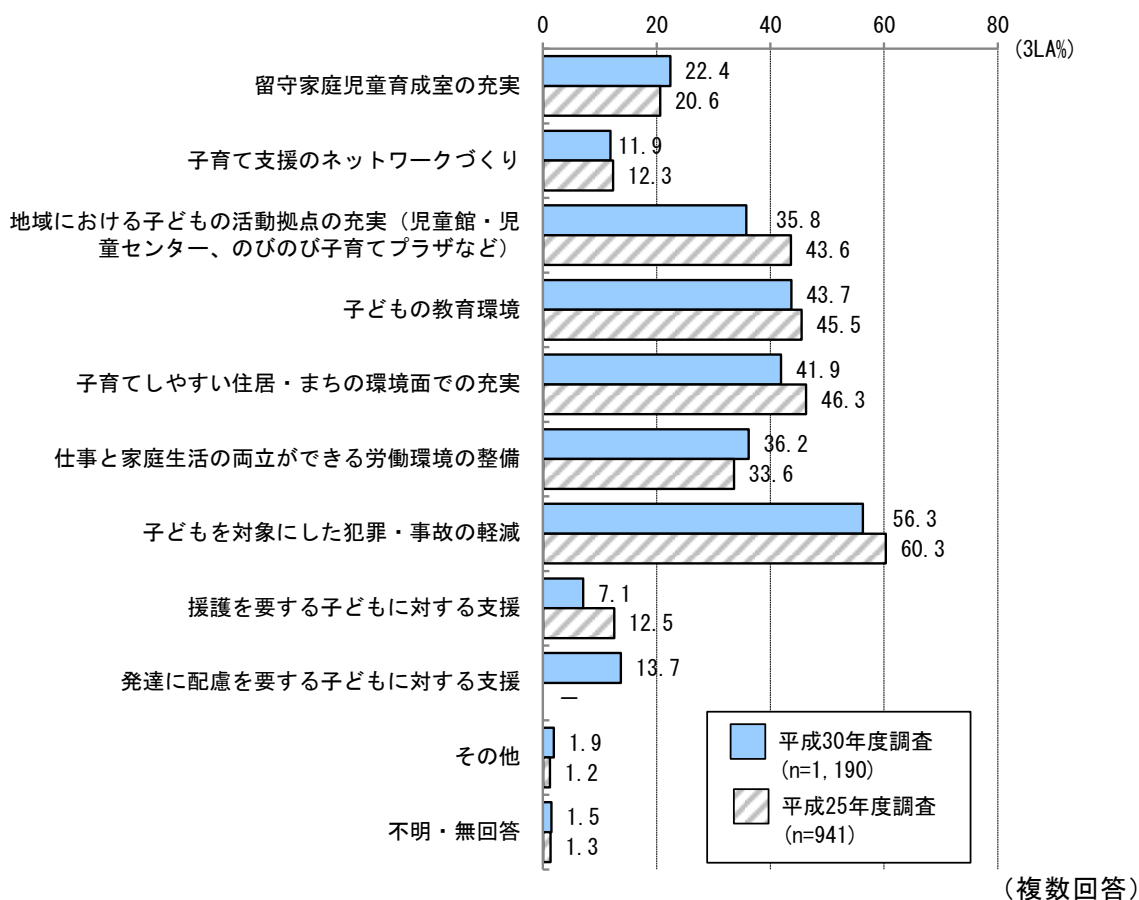
※「発達に配慮を要する子どもに対する支援」は、今回新たに追加した選択肢

就学前児童の保護者で、子育ては楽しいと感じることが多いと回答した人に、子育てに有効な支援・対策をたずねたところ、「地域における子育て支援の充実」（49.4%）が最も多く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」（39.2%）、「保育サービスの充実」（38.7%）が続く。

平成25年度調査と比べると、「地域における子育て支援の充実」の割合が9.5ポイント高くなっている。

【図 16-3-1 有効と感じる子育ての支援・対策（就学児童）】

【就学児童】



※「発達に配慮を要する子どもに対する支援」は、今回新たに追加した選択肢

就学児童の保護者で、子育ては楽しいと感じることが多いと回答した人に、子育てに有効な支援・対策をたずねたところ、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」（56.3%）が最も多く、次いで「子どもの教育環境」（43.7%）、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」（41.9%）が続く。

平成25年度調査と比べると、「地域における子どもの活動拠点の充実」の割合が7.8ポイント低くなっている。

II. 調査結果

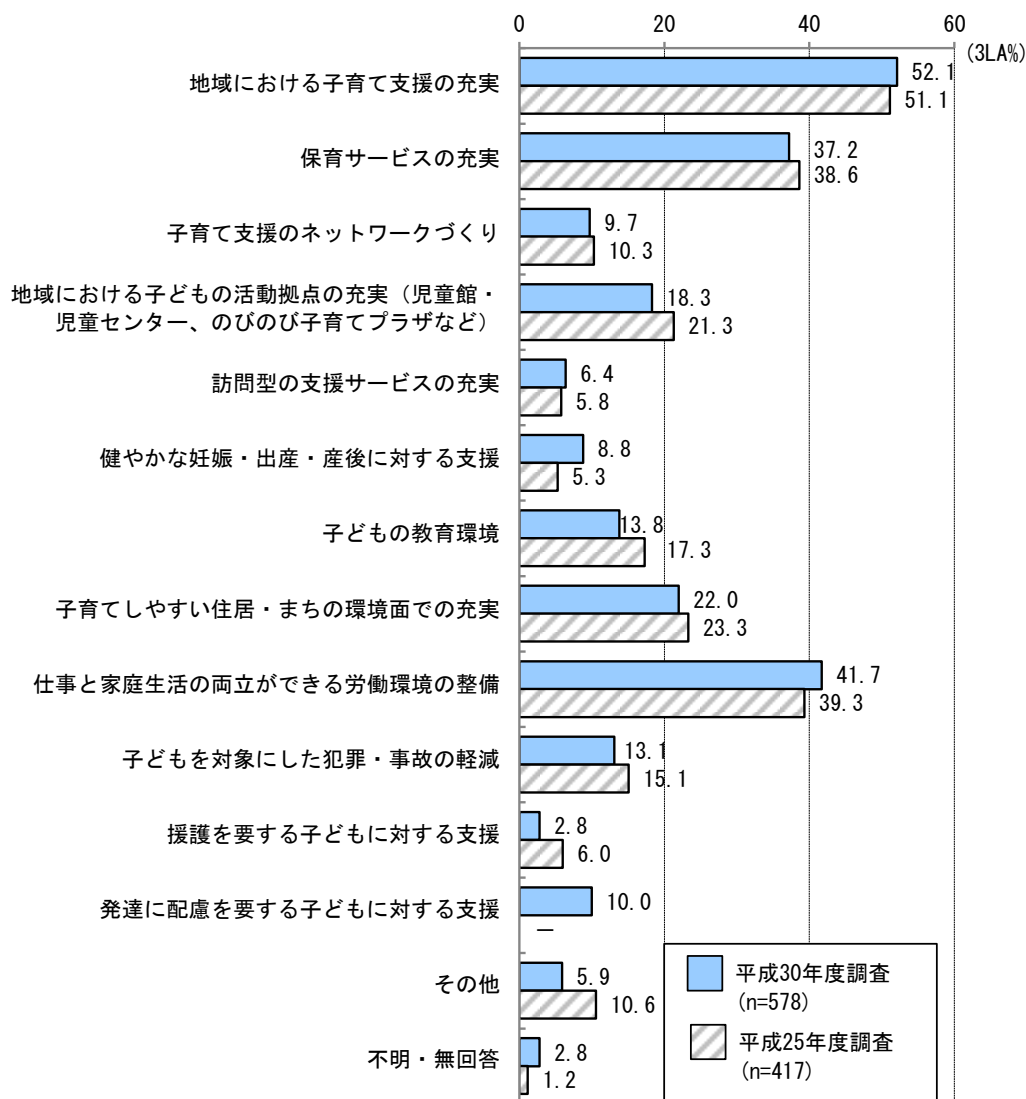
(4) 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策（子育てをづらいと感じる人）

[就学前児童…問46-2、就学児童…問37-2]

問 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。（3つまで○）

【図 16-4 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策（就学前児童）】

【就学前児童】



(複数回答)

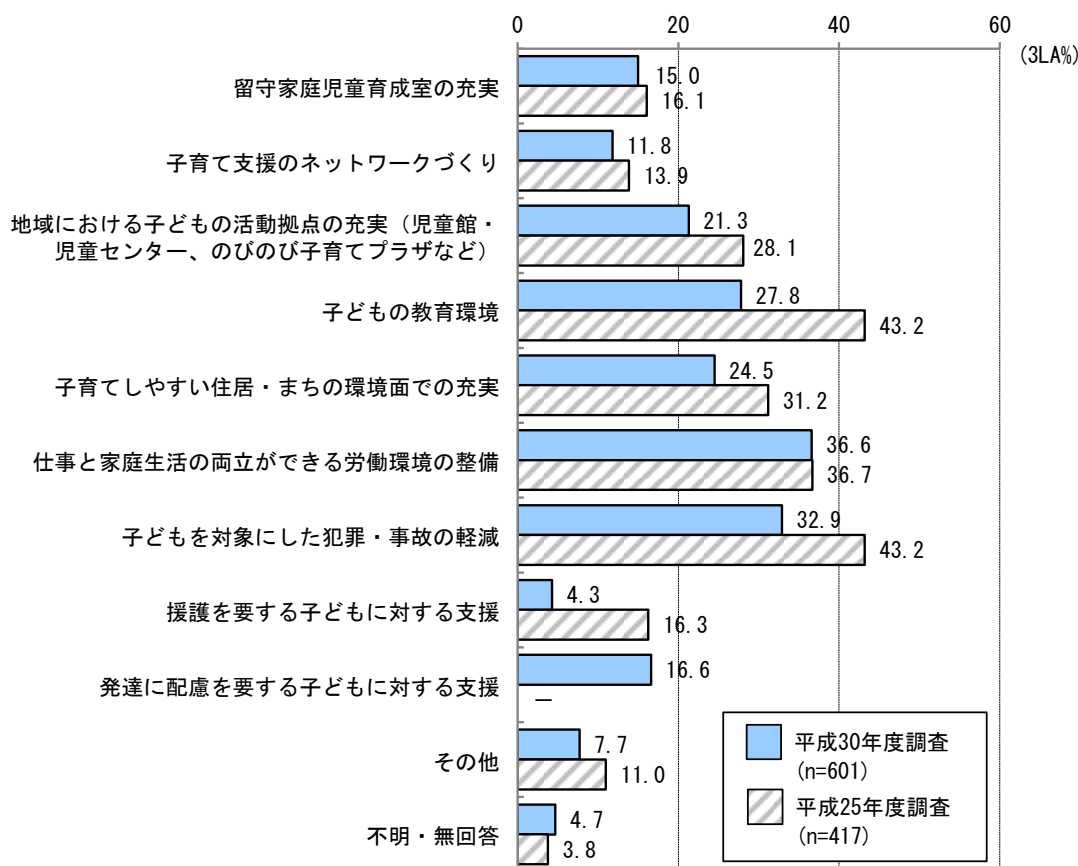
※「発達に配慮を要する子どもに対する支援」は、今回新たに追加した選択肢

就学前児童の保護者で、子育てをづらいと感じることがあると回答した人に、つらさを解消するために必要な支援・対策をたずねたところ、「地域における子育て支援の充実」(52.1%)が最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(41.7%)、「保育サービスの充実」(37.2%)が続く。

平成25年度調査と比べると、傾向は変わらない。

【図 16-4-1 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策（就学児童）】

【就学児童】



(複数回答)

※「発達に配慮を要する子どもに対する支援」は、今回新たに追加した選択肢

就学児童の保護者で、子育てをづらいと感じることがあると回答した人に、つらさを解消するために必要な支援・対策をたずねたところ、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(36.6%)が最も多く、次いで「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(32.9%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「子どもの教育環境」の割合が15.4ポイント、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」の割合が10.3ポイント低くなっている。

II. 調査結果

(5) 子育てに関して日常悩んでいること、気になること

[就学前児童…問47、就学児童…問38]

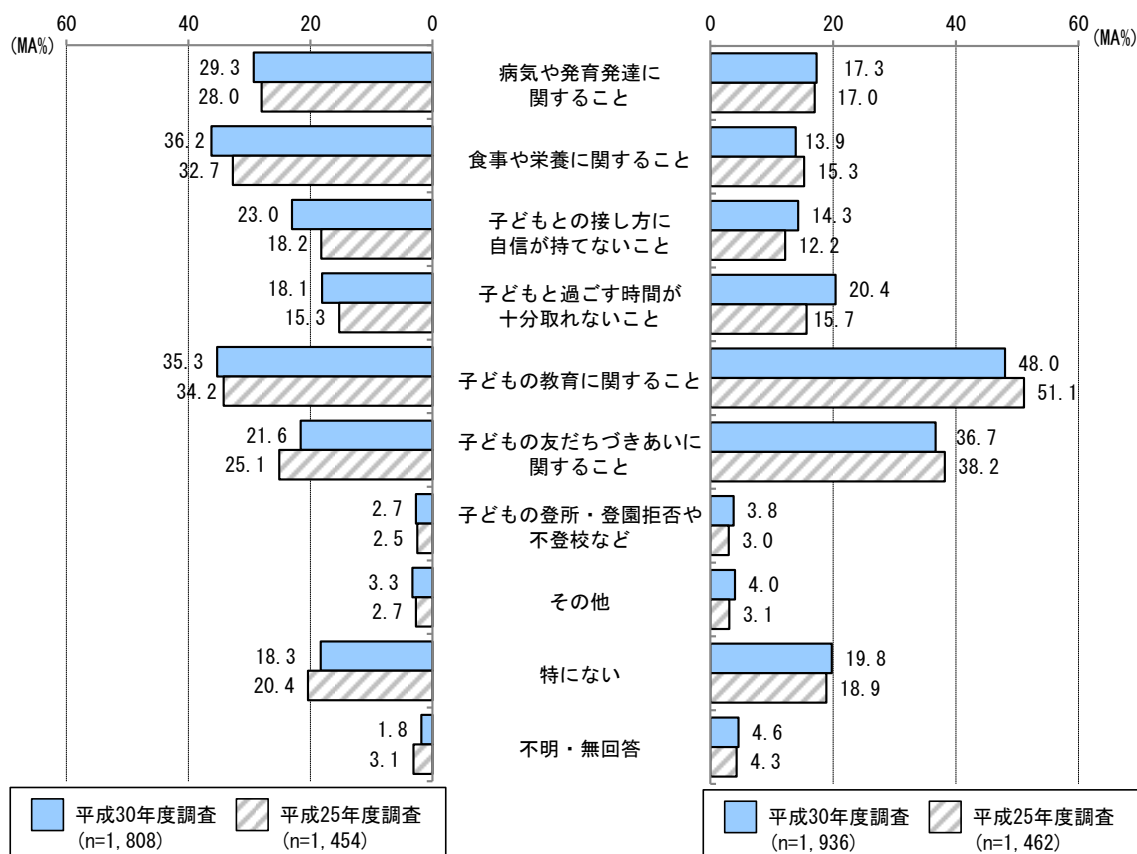
問 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
(すべてに○)

【図 16-5 子育てに関して日常悩んでいること（子どもに関すること）】

(1) 子どもに関すること

【就学前児童】

【就学児童】



(複数回答)

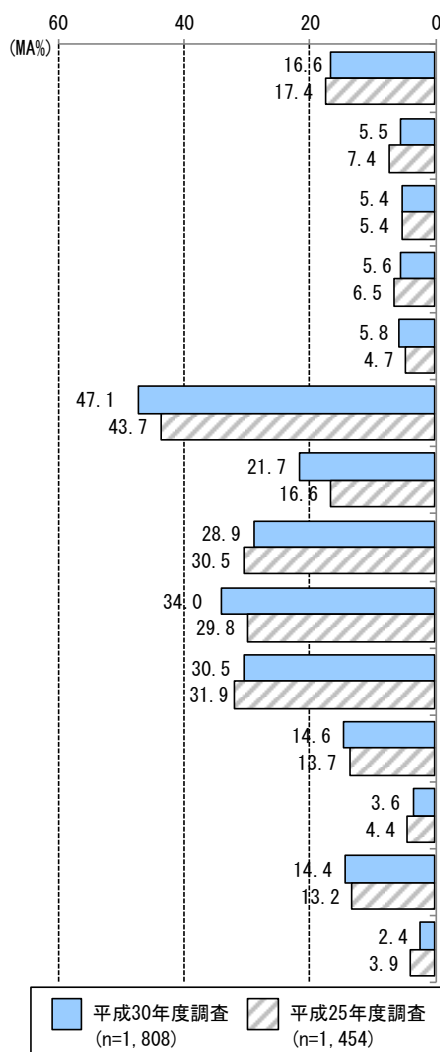
子どもに関する悩みごとについて、就学前児童は「食事や栄養に関すること」(36.2%)が最も多く、次いで「子どもの教育に関すること」(35.3%)、「病気や発育に関すること」(29.3%)が続く。就学児童は「子どもの教育に関すること」(48.0%)が最も多く、次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」(36.7%)、「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」(20.4%)が続く。

平成25年度調査と比べると、就学児童は「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」の割合が4.7ポイント高くなっている。

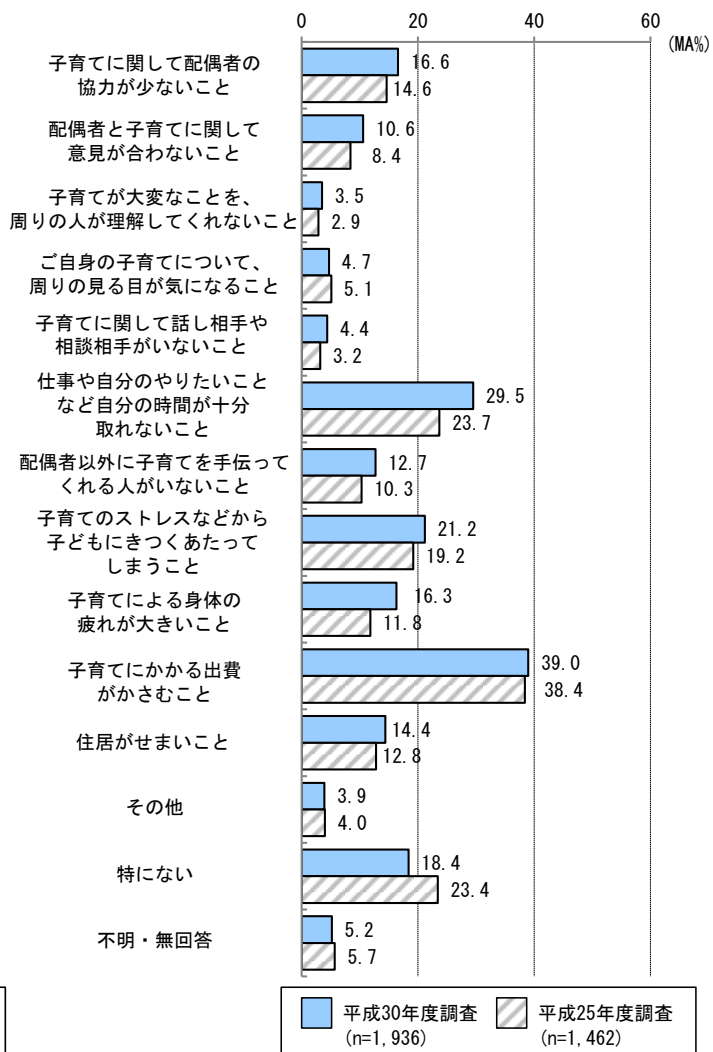
【図 16-5-1 子育てに関して日常悩んでいること（自身に関すること）】

(2) 自身に関すること

【就学前児童】



【就学児童】



(複数回答)

自身に関する悩みごとについて、就学前児童は「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」(47.1%)が最も多く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」(34.0%)、「子育てにかかる出費がかさむこと」(30.5%)が続く。就学児童は「子育てにかかる出費がかさむこと」(39.0%)が最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」(29.5%)、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」(21.2%)が続く。

平成25年度調査と比べると、就学前児童の「配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと」の割合が5.1ポイント、就学児童の「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が5.8ポイント高くなっている。

II. 調査結果

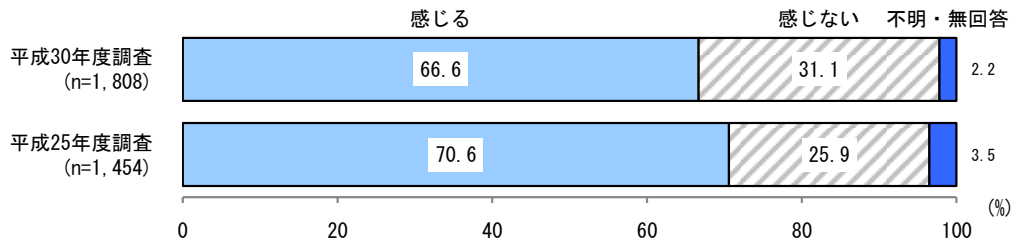
(6) 自身の子育てが地域の人に支えられていると感じるか

[就学前児童…問48、就学児童…問39]

問 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(1つに○)
 また、感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。

【図 16-6 自身の子育てが地域の人に支えられていると感じるか (就学前児童)】

【就学前児童】

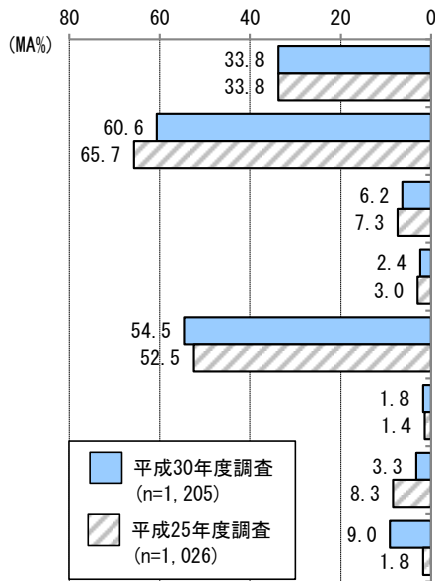


就学前児童の保護者が、自身の子育てが地域の人に支えられていると感じるかについて、「感じる」は66.6%、「感じない」は31.1%となっている。

平成25年度調査と比べると、「感じる」の割合が4.0ポイント低くなっている。

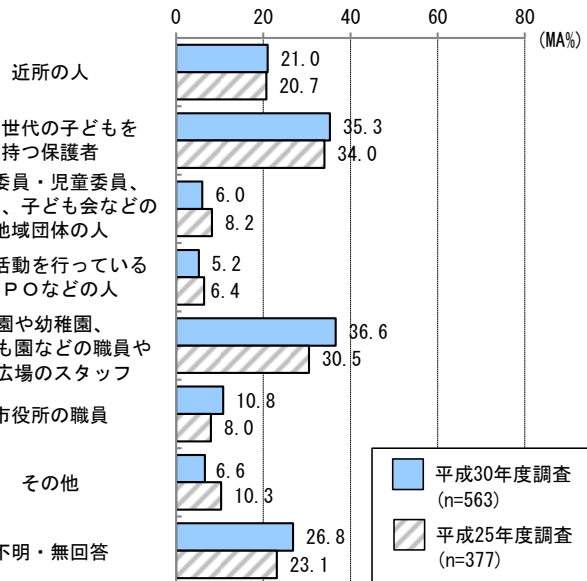
■ 支えられている人

対象：地域の人に支えられていると感じる人



■ 支えて欲しい人

対象：地域の人に支えられていると感じない人



(複数回答)

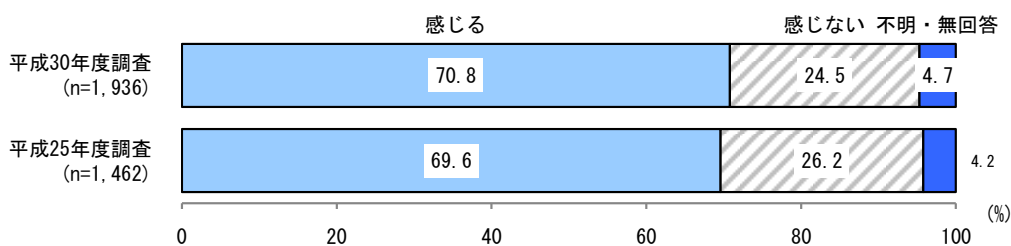
地域の人に支えられていると感じる人に、特に誰から支えられていると感じているかは、「同じ世代の子どもを持つ保護者」(60.6%)が最も多く、次いで「保育園や幼稚園、認定こども園などの職員や子育て広場のスタッフ」(54.5%)、「近所の人」(33.8%)が続く。平成25年度調査と比べると傾向は変わらない。

地域の人に支えられていると感じない人に、特に誰から支えて欲しいかは、「保育園や幼稚園、認定こども園などの職員や子育て広場のスタッフ」(36.6%)が最も多く、次いで「同じ世代の子どもを持つ保護者」(35.3%)、「近所の人」(21.0%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「保育園や幼稚園、認定こども園などの職員や子育て広場のスタッフ」の割合が6.1ポイント高くなっている。

【図 16-6-1 自身の子育てが地域の人に支えられていると感じるか（就学児童）】

【就学児童】



就学児童の保護者が、自身の子育てが地域の人に支えられていると感じるかについて、「感じる」は70.8%、「感じない」は24.5%となっている。

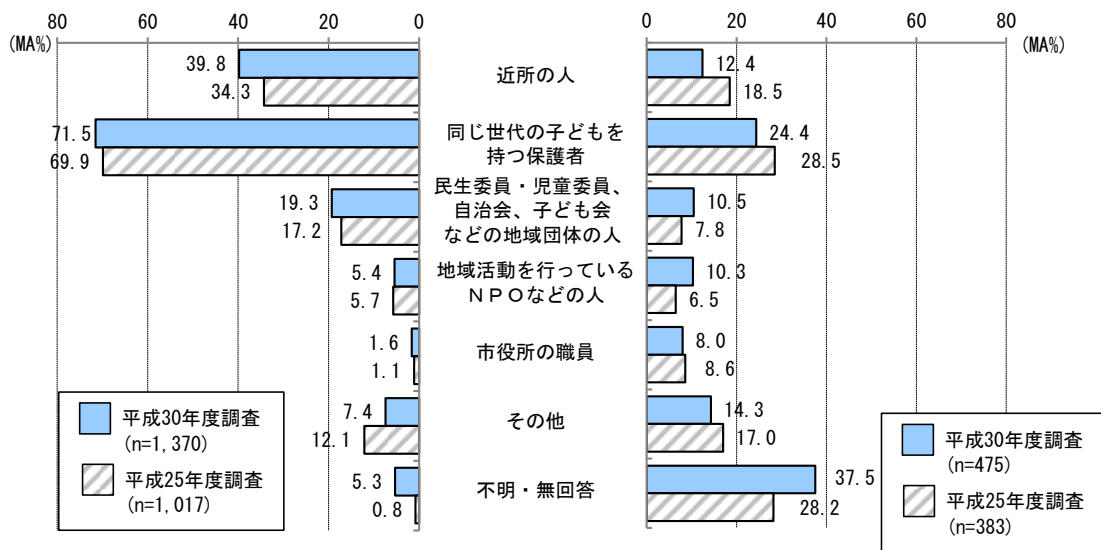
平成25年度調査と比べると、「感じない」の割合が1.7ポイント低くなっている。

■ 支えている人

対象：地域の人に支えられていると感じる人

■ 支えて欲しい人

対象：地域の人に支えられていると感じない人



(複数回答)

地域の人に支えられていると感じる人に、特に誰から支えられていると感じているかは、「同じ世代の子どもを持つ保護者」(71.5%)が最も多く、次いで「近所の人」(39.8%)、「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」(19.3%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「近所の人」の割合が5.5ポイント高くなっている。

地域の人に支えられていると感じない人に、特に誰から支えて欲しいかは、「同じ世代の子どもを持つ保護者」(24.4%)が最も多く、次いで「近所の人」(12.4%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「近所の人」の割合が6.1ポイント低くなっている。

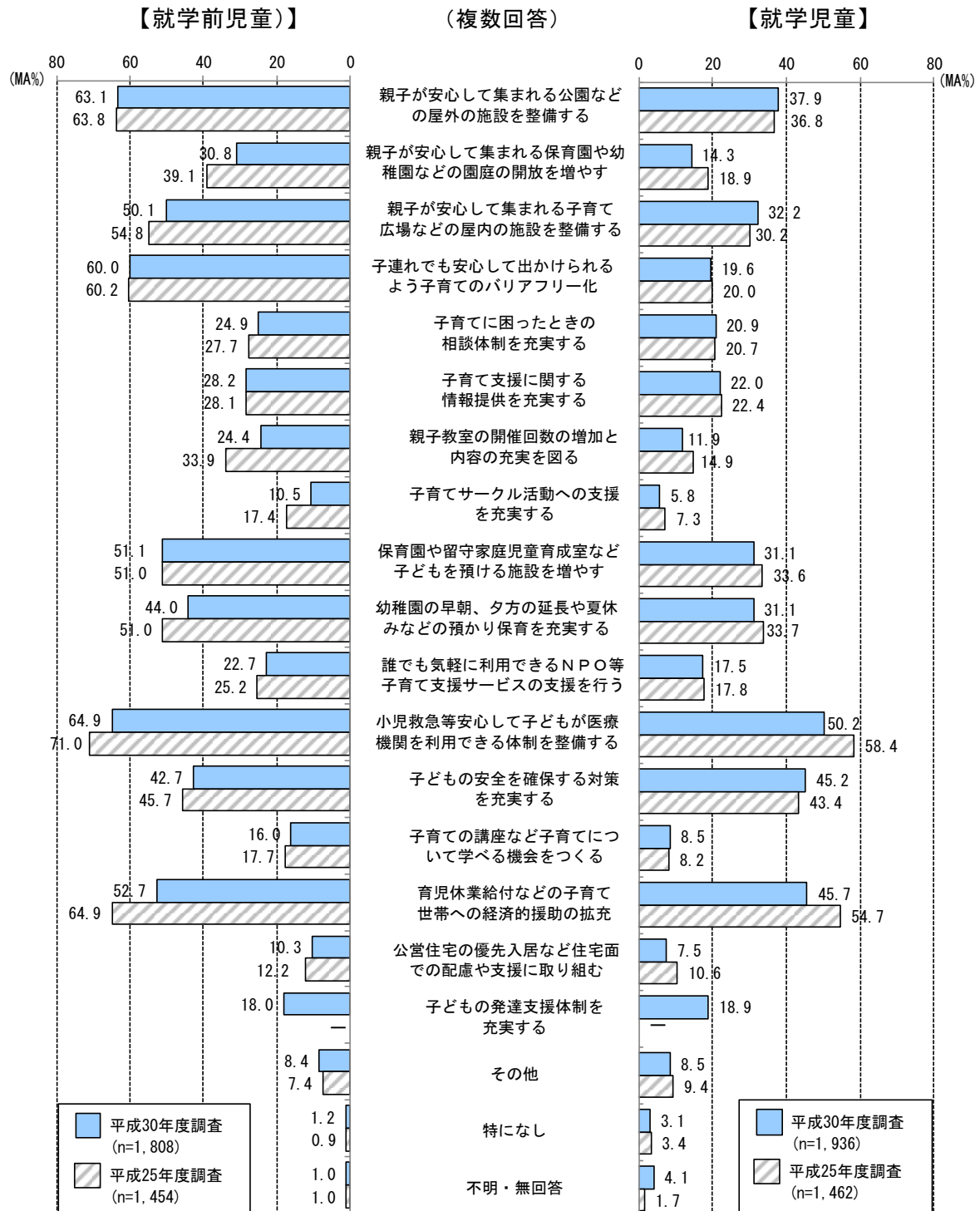
17 子育て支援事業に関する市への要望

(1) 充実してほしいと思う子育て支援事業

[就学前児童…問37、就学児童…問25]

問 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援事業を充実してほしいですか。(すべてに○)

【図 17-1 充実してほしい子育て支援事業】



※「子どもの発達支援体制を充実する」は今回新たに追加した選択肢

充実してほしい子育て支援事業について、「小児救急等安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」（就学前児童：64.9%、就学児童：50.2%）が最も多い。次いで就学前児童は「親子が安心して集まれる公園など屋外の施設を整備する」（63.1%）、「子連れでも安心して出かけられるよう子育てのバリアフリー化」（60.0%）が続く。就学児童は「育児休業給付などの子育て世帯への経済的援助の拡充」（45.7%）、「子どもの安全を確保する対策を充実する」（45.2%）が続く。

平成25年度調査と比べると、就学前児童は「育児休業給付などの子育て世帯への経済的援助の拡充」の割合が12.2ポイント、「親子が安心して集まれる保育園や幼稚園などの園庭の開放を増やす」の割合が8.3ポイント低くなっている。就学児童は「育児休業給付などの子育て世帯への経済的援助の拡充」の割合が9.0ポイント、「小児救急等安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」の割合が8.2ポイント低くなっている。

